

新文化初級日本語

Ⅱ

教師用指導手引き書

317.3

文化外国語専門学校編
BUNKA INSTITUTE OF LANGUAGE

新文化初級日本語

Ⅱ

教師用指導手引き書

目次

教師用指導手引き書について	4
新文化初級日本語 I・II 文型一覽	6
カリキュラム参考例	11
第 19 課	14
第 20 課	23
第 21 課	31
第 22 課	42
第 23 課	52
第 24 課	60
第 25 課	67
第 26 課	75
第 27 課	85
第 28 課	94
第 29 課	103
第 30 課	111
第 31 課	122
第 32 課	131
第 33 課	138
第 34 課	144
第 35 課	151
第 36 課	158
〈資料〉 1. 動詞・形容詞一覽	166
2. 関連文型一覽	171

◆教師用指導手引き書について

この手引き書の主要な目的は、『新文化初級日本語』（以下「新文化初級」）を作成するにあたって、各項目をどのような視点でとらえ、どのような意図で提出したのか、また、授業を行う際にどのような点に留意すればよいのかを紹介することである。

「新文化初級」は、文法を体系的に習得することと、日本の生活で日々直面する場面でのコミュニケーションができることを目指して作成した教科書である。

「新文化初級」の各課は「本文」「文型」「練習」から成っている。

・本文

本文は、学習者が日本の生活で出会うであろうと思われる場面や、興味を持っていると思われる場面の中で文型を提出したものである。学習者が楽しく学習できるように、登場人物やストーリーにも工夫を凝らした。課ごとにトピックを設け、そのトピックに基づいて本文が構成されているが、中には課が進むごとに展開するストーリー（例：第6、17、25、28課など）もあるので、そういった点や、主な登場人物の人間関係にも着目して学習を進めるとよい。

・文型^注

その課で学習する新出文型を取り出して、実際の発話に結びつけられるような例文をいくつか提示したものである。新しい活用などは必要に応じて活用表や図で示した。

本文の中で提示した文型を□に入れて示してある。ただし、一文では文意がわかりにくいものや、学習者が理解しにくいものについては、本文の文と□の文を変えた箇所もある。

※で示した文は、そこで学習した文型と意味が似ている文型や、前の課で学習した文型で復習が必要なものなどである。

・練習

新出の学習項目と発話を結びつけるための短い入れかえ練習である。文型練習を終えてから行うもので、新出の学習項目を学習者が自分の表現として定着させることを目指している。入れかえのためのキューは教科書には3、4しか挙げていないが、学習者に応じて補充するとよい。

この手引き書の構成は以下の通りである。

新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ 文型一覧

「新文化初級」で学習する文型の一覧を載せた。

カリキュラム参考例

各課の進め方の順番と時間配分の一例として、本校での標準的なカリキュラム参考例を載せた。

各課（第19課～第36課）

① 目標

各課で目標とすべきことを挙げた。

② この課で学習する文型

各課で学習する文型の一覧である。

③ 本文

□ その課のストーリーを簡単にまとめた。

【場面】 各本文の場面について説明した。

【使用文型】 本文で使われている文型を示した。

○ 指導の際の留意点を挙げた。

①

【語彙・表現】

Ⅳ 文型

①

→ 練習 a

⇨ 巻末

Ⅴ 練習

その練習がどの
を載せた。

〈資料〉

1. 動詞・形容詞

課ごとの新出動詞と

2. 関連文型一覧

同じ文型で、意味が
語Ⅰ・Ⅱ』から『文

この手引き書は、
る。さらによりよい

注：【文型】とは便宜

関連教材

『新文化

（各

『新文化

（全

本

参

『楽しく

『楽しく

『楽しく

- ⅰ 導入例、準備物、発展例など、授業を行う上で参考となる項目を示した。
【語彙・表現】 教科書の本文を縮小したものを載せ、注意を要する箇所には下線を引き、注釈を加えた。

Ⅳ 文型

- 学習する文型についての説明、指導の際の留意点などについてまとめた。説明文中の「(誤)」は正しくない文、「？」は不自然な文を表す。
- ⅰ 導入例、準備物、練習例、発展例など文型を指導する上で参考となる項目を示した。
- ➡ 練習 a その文型に関連する練習を表す。
 ⇨ 巻末 同じ文型で意味や用法が違うものなどをまとめたページが巻末（「関連文型一覧」）にあることを表す。

Ⅴ 練習

- その練習がどの文法項目と関連しているのかを示し、必要なものには「練習例」や「解答例」を載せた。

〈資料〉

1. 動詞・形容詞一覧

課ごとの新出動詞と新出形容詞をまとめた一覧表である。

2. 関連文型一覧

同じ文型で、意味や用法が違うものなどの提出箇所を50音順にまとめた。『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』から『文化中級日本語Ⅰ』までの関連文型がまとめてある。

この手引き書は、本校で日本語教育に携わってきた教師の意見を参考にしてまとめたものである。さらによりよいものにするために、ご意見をお寄せいただければ幸いである。

2000年3月

『新文化初級日本語教師用指導手引き書』作成委員会

注：「文型」とは便宜上ここに記したもので、「新文化初級」では特別な名称を用いず数字のみで示した。

関連教材

『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ 練習問題集』

(各文型及び本文に対応する練習問題)

『新文化初級日本語 教科書用テープ』

(全ての本文と、文型と練習の一部を収録した。本文は、BGMなどが入っている本文と音声のみのもの両方を収録した。文型と練習の収録箇所は、本書の☐☐参照。)

『楽しく聞こうⅠ・Ⅱ』

『楽しく話そう』

『楽しく聞こう テープ』

『楽しく読もうⅠ・Ⅱ』

『楽しく聞こう 教師用』

◆新文化初級日本語 I・II 文型一覧

生活会話

生活会話

- あいさつ
- コーヒーをください。

数

日本のお金

第1課

- 時間
- | | |
|----|----------|
| A: | 1時ですか。 |
| B: | はい、1時です。 |
| A: | 何時ですか。 |
| B: | 1時です。 |
- テストは9時10分から10時までです。
- 今日のテストは9時10分から10時までです。
- 曜日
- ～月～日
- A: テストはいつですか。
B: 月曜日です。
- A: 休みはいつですか。
B: 土曜日と日曜日です。

第2課

物の名前 (p24)

- A: 何ですか。
B: 教科書です。
- A: 教科書ですか。
B:

はい、教科書です。
いいえ、教科書じゃありません。ノートです。
- A: 誰の教科書ですか。
B: 私の教科書です。/ 私のです。
- | | |
|----|-------------|
| これ | } は私の教科書です。 |
| それ | |
| あれ | |
- それも私のです。

第3課

- | | |
|-----|----------|
| この猫 | } は私のです。 |
| その猫 | |
| あの猫 | |
- その大きい猫は私のです。

- あなたの猫はどれですか。
- A: あなたの猫はどれですか。
B: あの黒いのです。

第4課

い形容詞・な形容詞 (p30~33)

- A: 吉田さんの部屋は広いですか。
B:

はい、広いです。
いいえ、広くありません。
- A: 佐藤さんの部屋は静かですか。
B:

はい、静かです。
いいえ、静かじゃありません。
- このきれいな傘は吉田さんのです。

第5課

場所の言い方 (p36)

- テーブルの上にケーキとコーヒーがあります。
車の後ろに男の子がいます。
- 駅のそばにデパートや病院(など)があります。
- | | | |
|----|-----------|--------|
| A: | テーブルの上に何が | ありますか。 |
| B: | ケーキとコーヒーが | あります。 |
| A: | 電話の横に誰が | いますか。 |
| B: | 田中さんが | います。 |
| A: | 箱の中に何が | いますか。 |
| B: | 猫が | います。 |
- A: デパートはどこにありますか。/ どこですか。
B: デパートはここにいます。/ ここです。
- A: この階にお手洗いはありますか。
B:

はい、あります。	あそこです。
いいえ、ありません。	3階にあります。

第6課

動詞 (p46, 47)

- コーヒーを飲みます。
- 学校へ行きます。
- 学校で勉強します。
- 7時半に起きます。
朝、新聞を読みます。
- A: たばこを吸いますか。
B: いいえ、吸いません。
- うちでは食べません。外で食べます。

- ビールか日本酒
- A: よく本を読

- | | |
|------|--------|
| B: | } はい、よ |
| いいえ、 | |
| いいえ、 | |

- 私はロックが好き
- A: どんな音楽
B: クラシック
- 動詞の辞書形の

第7課

- 行き

}	ました。
	ませんでした。
- 郵便局へ行きま
行ききました。
- A: 何か買いま
B:

はい、切
いいえ、

 A: どこかへ行
B:

はい、池
いいえ、

 A: 財布はど
B:

はい、う
いいえ、
- 部屋の中を捜し
ませんでした。
- 時の言い方 1
- | | |
|----|------|
| A: | どんな財 |
| B: | 赤くて小 |
| A: | どんな店 |
| B: | 静かでき |
- お金だけです。
- 小野さんの財布

第8課

- A: 何日間/ど
B: 1週間です。
- A: どうでした
B: 楽し

}	かつ、
	くあ
- 大変

}	でした。
	じゃあり
- いい天気

}	でし
	じゃ

7. ビールか日本酒を飲みます。
8. A: よく本を読みますか。
 B: { はい、よく読みます。
 いいえ、あまり読みません。
 いいえ、ぜんぜん読みません。
9. 私はロックが好きです。
10. A: どんな音楽が好きですか。
 B: クラシック音楽が好きです。
11. 動詞の辞書形の作り方

第7課

1. 行き { ました。
ませんでした。
2. 郵便局へ行きました。それから、デパートへ行きました。
3. A: 何か買いましたか。
 B: { はい、切手を買いました。
 いいえ、何も買いませんでした。
 A: どこかへ行きましたか。
 B: { はい、池袋へ行きました。
 いいえ、どこへも行きませんでした。
 A: 財布は (どこかに) ありましたか。
 B: { はい、うちにありました。
 いいえ、どこにもありませんでした。
4. 部屋の中を捜しました。でも、どこにもありませんでした。
5. 時の言い方1
6. { A: どんな財布ですか。
 B: 赤くて小さい財布です。
 { A: どんな店ですか。
 B: 静かできれいな店です。
7. お金だけです。
8. 小野さんの財布 じゃありませんか。

第8課

1. A: 何日間 / どのくらいですか。
 B: 1週間です。
2. A: どうでしたか。
 B: 楽し { かったです。
くありませんでした。
3. 大変 { でした。
じゃありませんでした。
4. いい天気 { でした。
じゃありませんでした。

5. 楽しかったですが、疲れました。
6. 昼はちょっと暑かったですが、朝と夜はあまり暑くありませんでした。
7. パイナップルは安くておいしかったです。
8. 魚も新鮮でおいしかったです。

第9課

1. 動詞 て形
2. ロビーへ来てください。
3. 手伝いましょうか。
4. 朝、お風呂に入ってもいいですか。
5. 遅れてはいけません。
6. 10時までに帰って来てください。
7. きれいにそうじをしてください。
8. コインランドリーの使い方を教えてください。
9. ふたをして、お金を入れてください。
10. 時の言い方2

第10課

1. 2時21分
2. 新宿で電車に乗ります。
3. 広田さんは、今、電話をしています。
4. 新館の部屋は洋室で、旧館の部屋は和室です。

第11課

1. 家族の呼び方
2. 横浜に住んでいます。
3. 高校を卒業してから会社に勤めていました。
4. ファッションの勉強をします。
5. 日本へファッションの勉強をしに来ました。
6. ファッションショーに行きます。
7. 洋服を作るのが好きです。
8. A: 誰とファッションショーに行きますか。
 B: 友達と行きます。
9. デザインの勉強をしたいです。
10. A: もう学校を決めましたか。
 B: { はい、もう決めました。
 いいえ、まだ決めていません。

第12課

1. 料理のことば
2. もっと大きく切つてください。
3. なべで炒めます。
4. たまねぎを薄く切ります。

- 固くなります。
- 薄切りの牛肉を長く煮ると、固くなります。
- 動詞基本体（現在）

第13課

- い形容詞・な形容詞・名詞 基本体（現在）
- 日本での生活は楽しいですか。
- アルンさんは大学院で経済学の勉強をしている学生です。
- A: 東京の生活環境をどう思いますか。
B: いいと思います。
- A: どうしていいと思いますか。
B: 安全だからです。
- いろいろな学校があるし、大きい本屋も多いし、とても便利です。
- どんな講義がわかりにくいですか。
- 今はもう慣れましたから、楽しいです。
- 講義がよくわからない時は、友達に聞きます。

第14課

- 基本体（過去）
- 休憩時間が短かったので、私はバスを降りなかった。
- 花のスケッチをしたり、植物園の人にいろいろ質問したりした。

第15課

- A: 中野と東中野とどちらのほうが近いですか。
B: 東中野のほうが（中野より）近いです。
- A: 中野と東中野とどちらのほうがにぎやかですか。
B: 中野のほうがずっとにぎやかです。
- A: 中野と東中野とどちらのほうが近いですか。
B: どちらも同じくらいです。
- 関東バスも西武バスも通ります。
- 遠すぎます。
- A: 東中野と三鷹と池袋の部屋の中で、どれがいちばん静かですか。
B: 東中野の部屋が いちばん静かです。
- この部屋は台所が広いです。
- この部屋は三鷹の部屋より駅から近いです。

- この部屋はみっつの部屋の中で いちばん新しいです。
- 部屋を見に行きましょう。

第16課

- ひざを打ったんです。
- A: まだ痛いんですか。
B: いいえ、もう痛くありません。
- もう少しかかるかもしれません。
- お風呂に入らないでください。
- 治るまでお風呂に入らないでください。
- (1) 寝る前に、はりかえてください。
(2) ごはんを食べた後(で)、飲んでください。
- わからないことはありませんか。

第17課

- 沖縄、九州地方は雨でしょう。
- A: いっしょに行きませんか。
B: いいですね。
- 新しい車を買ったんですが、ドライブに行きませんか。
- A: 明日のお天気はどうでしょう。
B: たぶん晴れるだろうとおもいます。
- 弟は野球を見に行くと 言ってました。
- 天気予報によると、明日は晴れときどきくもりだそうです。

第18課

- 朝ごはんを食べないのは体によくありません。
- 最近、朝ごはんを食べない人が増えてきた。
- 最近、朝ごはんを食べない人が増えてきた。
- 夜中にお菓子などを食べながらテレビを見たり、音楽を聞いたりする。

第19課

- 服装のことは
- ちょっと見てみます。
- 子供がいなくなってまいました。
- (1) 試着している間、ここで待っていてください。
(2) 試着している間に、子供がいなくなってまったんです。
- この近くにいるはずです。
- 赤いTシャツを着ています。

- A: 三越デパート
B: { はい、知
いいえ、
- ここをまつまぐまいます。

第20課

- 経営学の勉強を
- 東都大学を受け
- いるかどうかわ
- いつあるかわか
- 筆記試験を受け

第21課

- 電話をしないで
- 花や生鮮食品は、す。
- 嫌いなものは無
- ちょっとお待ち
- これは母が作った

第22課

- ピアノが弾けま
- A: 結婚式場で
B: { はい、あ
いいえ、
- ピアノなら弾け
- 練習すれば、弾け
- A: 1週間にと
B: 3日ぐらい
- アルバイトの方
ここでたばこを

第23課

- 涼し { そうです。
くなさそう
- 便利 { そうです。
じゃなさそう
- 雨が降りそうです。
- あんなワンピースす。
- ワンピースがほ
- 何か見たい物は

の部屋の中で いちばん新し

しよう。

す。

か。

痛くありません。

もしれません。

てください。

入らないでください。

りかえてください。

た後(で)、飲んでください。

ありませんか。

雨でしょう。

きませんか。

んですが、ドライブに行き

はどうでしょうか。

だろうと思います。

くと 言ってました。

明日は晴れときどきくも

のは体によくありません。

食べない人が増えてきた。

食べない人が増えてきた。

を食べながらテレビを見た

りする。

7. A: 三越デパートを知っていますか。

B: { はい、知っています。
いいえ、知りません。

8. ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがご
ざいます。

第20課

1. 経営学の勉強をしようと思っています。
2. 東都大学を受けるつもりです。
3. いるかどうかわかりません。
4. いつあるかわかりません。
5. 筆記試験を受けなくてはいけません。

第21課

1. 電話をしないで訪問してはいけません。
2. 花や生鮮食品は、玄関で渡したほうがいいで
す。
3. 嫌いなものは無理に食べなくてもいいです。
4. ちょっとお待ちください。
5. これは母が作ったお菓子です。

第22課

1. ピアノが 弾けます。
2. A: 結婚式場で仕事をしたことがありますか。
B: { はい、あります。
いいえ、ありません。
3. ピアノなら弾けます。
4. 練習すれば、弾けます。
5. A: 1週間にとどのぐらい来られますか。
B: 3日ぐらいいです。
6. アルバイトの方も使うことができます。
ここでたばこを吸うことはできません。

第23課

1. 涼し { そうです。
くなさそうです。
2. 便利 { そうです。
じゃなさそうです。/ではなさそうで
す。
3. 雨が降りそうです。
4. あんなワンピースがほしいと思っていたんで
す。
5. ワンピースが ほしいと思っていたんです。
6. 何か見たい物はありますか。

7. ワンさんはブローチを ほしがってました。

8. ワンさんは日本料理を 習いたがってました。

第24課

1. 輸送機関が発達したので、生鮮食品も送れる
ようになりました。
2. 最近、お中元やお歳暮を自分で持って行か
なくなりました。
3. 私はアルンさんにチョコレートをあげました。
4. 私はおおぜいの人にお中元を もらいました。

第25課

1. 親しい友達との会話1
2. 親しい友達との会話2
3. 親しい友達との会話3
4. 友達が(私に)プールの招待券を くれました。
5. 行きたいけど、明日はアルバイトがあるの。

第26課

▶ 自動詞と他動詞 (p74~77)

1. 電源を入れても つかないんです。
2. 故障したんじゃなくて、/のではなくて、電
池がなくなったんです。
3. 電池の方向を間違えると、こわれることがあ
ります。

第27課

1. 壁が汚れて います。
2. 段ボール箱を集めて おきます。
3. 食器は、割れないように、新聞紙で包んで お
きます。
4. 中身を入れた まま運ぶと危ないです。
5. 重く て持てません。

第28課

1. 母: 誰がこの写真を撮って くれたの?
武: 京子さんが撮って くれたんだ。
2. 母: 誰に送って もらったの?
良子: 武さんに送って もらったの。
3. (1) うちを 出る時、私は母に今日は遅くな
ると言いました。
(2) 武さんのうちへ 行った時、CDを借り
ました。
4. 武さんにセーターを編んで あげるつもりです。

5. マフラーしか編めません。
6. (1) 良子：明日、銀河亭で待ち合わせをしましょう。
京子：その店はどこにあるんですか。
(2) 良子：明日、新宿駅の東口で待ち合わせをしましょう。
京子：あそこは人が多すぎるから、別の所にしましょう。

第29課

1. 西田先生が(私に)花をくださいました。(私は)西田先生に花をいただきました。
2. 先生の奥さんが洗濯をしてくださいました。先生の奥さんに洗濯をしていただきました。
3. 今、終わったところです。
4. いろいろな人と日本語で話すようにしています。

第30課

1. A：由美さんはいらっしゃいますか。
B：いいえ、由美は今おりませんが。
2. A：由美さんはいらっしゃいますか。
B：いいえ、由美は今おりませんが。
3. すみませんが、ナブキンを取っただけませんか。

第31課

1. 安く確実に行くならモノレールに乗るといいです。
2. タクシーで行くことにします。
3. 空港に着いたら、すぐにチェックインしてください。
4. 大きい荷物は預けることになっています。
5. まるで、おもちゃ $\left\{ \begin{array}{l} \text{のよう}{\text{です。}} \\ \text{みたい}{\text{です。}} \end{array} \right.$
6. 音を大きくすることができます。
7. 景色が見えます。
音が聞こえます。

第32課

1. この雑誌にいろいろ書いてあります。
2. 最近忙しい $\left\{ \begin{array}{l} \text{よう}{\text{です。}} \\ \text{みたい}{\text{です。}} \end{array} \right.$

3. せっかく誘ってもらったのに、行けませんでした。
4. 後ろの人に押されました。
5. 駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

第33課

1. インスタントラーメンは1958年に日本で初めて作られました。
2. 紙 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のよう}{\text{に}} \\ \text{みたい}{\text{に}} \end{array} \right.$ 薄いです。
3. 穴が開いていないかどうか検査をしているところです。
4. 検査は機械が自動的に行います。
5. 安全なカップを作るために、社員が研究しています。

第34課

1. 毎日練習ばかりしていました。
2. 広美に家の手伝いを させました。
3. 進路が決まらなくて心配しました。
4. 就職したらどうですか。

第35課

1. 読めそうです。
読めそうにありません。
2. 講演会はもう始まっていますか。
3. ちょうど今始まるところです。
4. 今日の講演を録音させていただきたいんですか…。
5. いくら読んでもわかりません。
6. もう読んでしまいました。
7. いつでもいいです。
8. 忙しくなければ行きます。

第36課

1. 新入生は、先輩にいろいろなことをさせられます。
2. 日本にいるうちにいろいろな経験をしてみたらどうですか。
3. 注文してあります。

◆カリキュラ

各課の授業全体の流

1. 『新文化初級』
2. (聴解、会話)
3. 『新文化初級』
4. 評価

以下に紹介する「第19課 50分」という設定

『新文化初級日本』

下の「第19課 文型1、2、練習a

●第19課 [7時

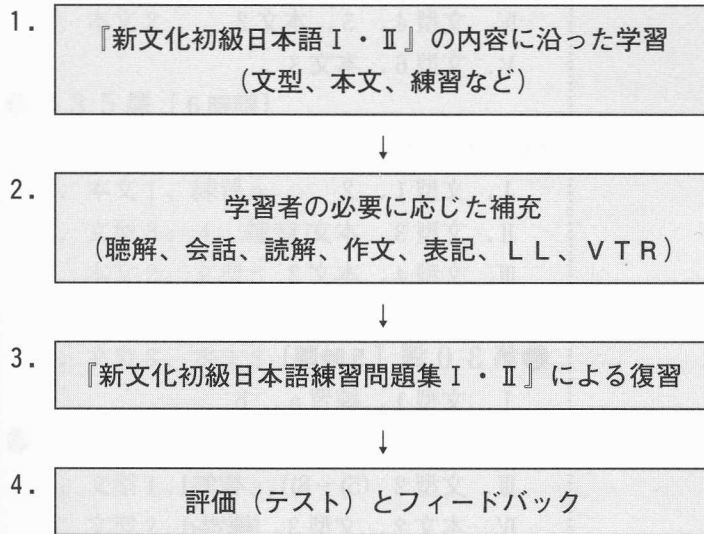
- I. 文型1、2、
II. 文型3、練習
III. 文型5、本文
IV. 文型6、練習
V. 本文2、文型
VI. 文型8、練習
VII. 本文3、練習

●第20課 [5時

- I. 文型1
II. 文型2、練習
III. 文型3、4、
IV. 文型5、練習
V. 本文2、3、

◆カリキュラム参考例

各課の授業全体の流れは、原則として以下の通りである。



以下に紹介するカリキュラム参考例は上記の1. についてのみ記したものである。「1時限＝50分」という設定で、学習順序と配分の参考例を示した。

『新文化初級日本語Ⅱ』カリキュラム参考例

下の「第19課 [7時限]」は第19課を7時限に分けて学習することを示す。また、「Ⅰ. 文型1、2、練習a」は第19課の1時限目の学習内容が文型1、2と練習aであることを示す。

●第19課 [7時限]

- Ⅰ. 文型1、2、練習a
- Ⅱ. 文型3、練習b、文型4
- Ⅲ. 文型5、本文1、練習c
- Ⅳ. 文型6、練習d
- Ⅴ. 本文2、文型7、練習e
- Ⅵ. 文型8、練習f
- Ⅶ. 本文3、練習f発展

●第20課 [5時限]

- Ⅰ. 文型1
- Ⅱ. 文型2、練習a、本文1
- Ⅲ. 文型3、4、練習c
- Ⅳ. 文型5、練習e
- Ⅴ. 本文2、3、練習b、d

●第21課 [5時限]

- Ⅰ. 文型1、2
- Ⅱ. 文型3、練習a、参考
- Ⅲ. 本文1
- Ⅳ. 文型4、5
- Ⅴ. 本文2

●第22課 [5時限]

- Ⅰ. 文型1、本文1
- Ⅱ. 文型2、3
- Ⅲ. 文型4、練習a
- Ⅳ. 文型5、練習b、本文2
- Ⅴ. 文型6、本文3

●第23課 [6時限]

- I. 文型1、2
- II. 文型3、練習a
- III. 文型4、5、本文1、練習b
- IV. 文型6、練習c、d
- V. 文型7、8
- VI. 本文2、3、練習e

●第24課 [4時限]

- I. 文型1、2
- II. 本文1
- III. 文型3、4
- IV. 本文2、3

●第25課 [5時限]

- I. 文型1、3、練習a、b
- II. 文型2、練習c、d
- III. 文型4、第24課文型3、4復習、
參考
- IV. 本文1、練習e
- V. 文型5、練習f、本文2

●第26課 [5時限]

- I. 自動詞他動詞概念導入、
▶自動詞と他動詞
- II. 本文1 会話1、2、練習a
- III. 本文1 会話3~6、練習b、c
- IV. 文型1、3
- V. 文型2、練習d、本文2

●第27課 [6時限]

- I. 文型1、練習c
- II. 本文1、練習a、b
- III. 文型2、練習d、文型3
- IV. 本文2
- V. 文型4、5、練習e
- VI. 本文3

●第28課 [5時限]

- I. 文型1、練習a
- II. 文型2、練習b
- III. 文型3、本文1
- IV. 文型4、5、本文2
- V. 文型6、本文3

●第29課 [3時限]

- I. 文型1、2
- II. 文型3、本文1
- III. 文型4、本文2

●第30課 [5時限]

- I. 文型1、練習a、b
- II. 文型2 (1~4)、練習c
- III. 文型2 (5~8)、本文1
- IV. 本文2、文型3、練習d
- V. 本文3、4、p121

●第31課 [5時限]

- I. 文型1、練習a、
本文1 (最初~14行目)
- II. 文型2、3、練習b
- III. 本文1 (15行目~最後)、文型4
- IV. 本文2、文型5、
本文3 (最初~12行目)
- V. 文型6、7、本文3 (13行目~最後)

●第32課 [4時限]

- I. 文型1、2
- II. 本文1、文型3
- III. 文型4、練習a
- IV. 文型5、本文2

●第33課 [4時限]

- I. 文型1、本文1 (p140)
- II. 文型2、本文1 (p141)
- III. 文型3、4
- IV. 文型5、本文2

●第34課 [4時限]

- I. 文型2、練習a
- II. 文型1、本文1
- III. 文型3、4
- IV. 本文2

●第35課 [6時限]

- I. 文型1、2
- II. 本文1、練習a
- III. 文型3、4
- IV. 本文2、文型5
- V. 文型6、7
- VI. 文型8、本文3

●第36課 [3時限]

- I. 文型1、練習a
- II. 文型2、本文1
- III. 文型3、練習b

●第34課 [4時限]

- I. 文型2、練習a
- II. 文型1、本文1
- III. 文型3、4
- IV. 本文2

●第35課 [6時限]

- I. 文型1、2
- II. 本文1、練習a
- III. 文型3、4、練習b
- IV. 本文2、文型5
- V. 文型6、7
- VI. 文型8、本文3

●第36課 [3時限]

- I. 文型1、練習a
- II. 文型2、本文1
- III. 文型3、練習b、本文2

文2

、b

、練習c

、本文1

、練習d

21

14行目)

習b

目～最後)、文型4

12行目)

文3 (13行目～最後)

(p140)

(p141)

第19課

迷子

[語彙・表現]

Ⅰ この課の目標

- ・人の服装について簡単に述べることができる。
- ・自分の不注意で起こってしまったことの説明と謝罪ができる。
- ・目的地への行き方の説明をしたり、説明を聞いて目的地への行き方を理解したりできる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 服装のことば
2. ちょっと見てみます。
3. 子供がいなくなってしまいました。
4. (1) 試着している間、ここで待っていてください。
(2) 試着している間に、子供がいなくなってしまったんです。
5. この近くにいるはずです。
6. 赤いTシャツを着ています。
7. A: 三越デパートを知っていますか。
B: $\left\{ \begin{array}{l} \text{はい、知っています。} \\ \text{いいえ、知りません。} \end{array} \right.$
8. ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがございます。

Ⅲ 本文

子供を連れてデパートに買い物に来た母親が試着をしている間に子供が迷子になる。店員に店内放送をしてもらい、無事子供が見つかる。

●本文1 子供がいなくなってしまったんです。📺

[場面]

デパートの婦人服売場で母親が試着をしている間に子供がいなくなってしまう。

[使用文型]

文型1、2、3、4、5

①すみません、
色を表す形容詞

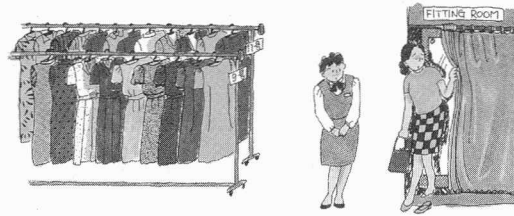
い形容詞
白い 青い
黄色い 茶
～い+名

- (デパート)
- ① 客
- ② 店員A
- ③ 店員A
客
- ④ ⑤ 店員A
客
- ⑥
- ⑦ 子供
- ⑧ 客
- ⑨ 店員A
客
- ⑩ 店員A
客
- ⑪ 店員A

【語彙・表現】

(デパートで)

- ① 客：すみません、これの赤はありますか。
- ② 店員A：赤ですか。少々お待ちください。
ちょっと見てみます。
- ③ 店員A：お客様、ありました。どうぞ。
客：すみません。
あの、これ、着てみてもいいですか。
- ④ ⑤ 店員A：はい、どうぞ。試着室はあちらでございます。
客：はい。伸ちゃん、お母さんが試着している間、
ここで待っていてね。
- ⑦ 子供：うん。
- ⑧ 客：伸ちゃん、お待たせ。伸ちゃん。伸ちゃん。
- ⑨ 店員A：どうかなさいましたか。
客：あ、あの、子供がいなくなっちゃったんです。この辺に
3歳ぐらいの男の子がいませんでしたか。
- ⑩ 店員A：3歳ぐらいの男のお子さんですか。
客：ええ。私が試着している間に、いなくなっちゃったんです。
- ⑪ ほんの2、3分の間に、どこかへ行ってしまったんです。
店員A：じゃ、まだこの近くにいるはずですね。捜してみましよう。



が迷子になる。店員に

①すみません、これの赤はありますか。

色を表す形容詞は既習であるが、名詞は初出である。

い形容詞	名詞
白い 青い 黒い	白 青 黒
黄色い 茶色い	黄色 茶(色)
	紺
～い+名詞	～の+名詞

② 少々お待ちください。

敬語は第30課で学習する。ここでは聞いて意味がわかればよい。

③ お客様、ありました。

店員が客に対して呼びかける際に使う言葉である。「(誤)私はおお客様です。」のように使わないように指導する。

④ 試着室はあちらでございます。

方向を示す丁寧な言い方「そちら」は第16課本文1で既出である。ここでは「あちら」、本文3では「こちら」を学習する。

⑤ 試着室はあちらでございます。

敬語は第30課で学習する。ここでは聞いて意味がわかればよい。

⑥ 伸ちゃん、お母さんが試着している間、ここで待っていてね。

「待っていてくださいね」が変化した形で、家族や友達同士などの間で、その場で待つように頼む時に使う表現である。目上の人に対して使わないように指導する。親しい友達との会話は第25課で学習する。

⑦ うん。

⑥と同様に家族や友達同士などで使う表現なので、目上の人に対しては「はい」を使うように指導する。親しい友達との会話は第25課で学習する。

⑧ 伸ちゃん、お待たせ。

相手を待たせた時に使う表現である。⑥と同様に家族や友達同士などで使う表現なので、目上の相手には「お待たせしました。」を使うように指導する。

⑨ どうかなさいましたか。

敬語は第30課で学習する。ここでは「どうしたんですか。」と同じ意味だとわかればよい。

⑩ 3歳ぐらいの男のお子さんですか。

自分の子供については「私の子(供)」と言うのに対して、相手の子供については「～さんのお子さん」となる。

⑪ ほんの2、3分の間に、どこかへ行ってしまったんです。

話者の基準においてとても短い、小さい、少ないなどと感じた場合に使う表現である。ここでは意味がわかればよい。

● 本文2 どんな

【場面】

子供が見つか

【使用文型】

文型1、6

○店内放送の部

現が多い。だ

【語彙・表現】

店員A
客

店員A
客

店員A
客

店員A
客

店員A
客

店員A

ご



①

ほうそう
放送：お

●本文2 どんな服を着ていますか。📺

【場面】

子供が見つからないため、店員が母親に子供の服装を確認し、店内放送をする。

【使用文型】

文型1、6

○店内放送の部分は実際にデパートで使われている表現にかなり近いものなので、難しい表現が多い。だいたいの意味がわかればよい。

【語彙・表現】

店員A：見つかりましたか。

客：いいえ。

店員A：じゃ、放送してみましよう。

客：すみません。お願いします。

店員A：お子さんのお名前は？

客：山崎伸です。

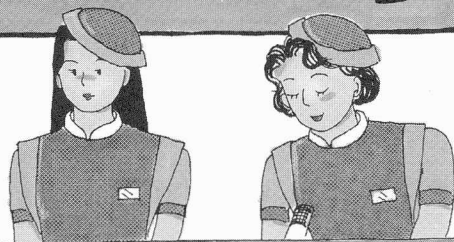
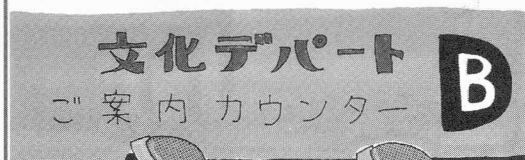
店員A：どんな服を着ていますか。

客：ええと、赤いTシャツを着て、紺の半ズボンをはいて、
白い帽子をかぶっています。

店員A：靴は？

客：白い靴をはいています。

店員A：わかりました。少々お待ちください。



INFORMATION

- ① 放送：お客様にお願いいたします。山崎伸ちゃんという3歳の男のお子さんが、迷子になりました。赤いTシャツを着て、紺の半ズボンをはいて、白い帽子をかぶっている3歳ぐらいの男のお子さんをお見かけのお客様、恐れ入りますが、最寄りの売場までご連絡ください。

①山崎伸ちゃんという3歳の男のお子さんが、迷子になりました。

「毎日朝ごはんを食べますか」という質問」は第18課本文2で学習した。ここでの用法は、相手が知らないと思われる名前などにつけて使う表現である。練習eで練習する。

●本文3 まっすぐ行くと、エスカレーターがあります。📞

[場面]

子供が帽子売場で見つかる。母親は店員に帽子売場への行き方を教えてもらい、迎えに行く。

[使用文型]

文型7、8

[語彙・表現]



① 店員A：はい、^{ふじんふくうりば}婦人服売場です。
店員B：もしもし、^{ぼうしうりば}帽子売場の古谷ですが、
^{まいご}迷子のお子さんをこちらで^{あず}預かっています。
^{やまざきしん}山崎伸ちゃんです。迎えに来てください。
店員A：はい、わかりました。どうも。
^{きゃくさま}お客様、見つかったそうです。
② ③ ^{きゃく}客：本当ですか。ああ、よかった。
店員A：^{ぼうしうりば}帽子売場へ^{むか}迎えにいらっしゃってください。
④ ^{ぼうしうりば}帽子売場を^しご存じですか。
^{きゃく}客：いいえ、知らないんですが…。
店員A：ここをまっすぐ行くと、
④ エスカレーターが^まございます。
エスカレーターの所を右に^ま曲がって、まっすぐ行くと、
^{ひだりがわ}左側にごございます。
^{きゃく}客：本当にどうもありがとうございました。

①もしもし、帽子売場の古谷ですが、迷子のお子さんをこちらで預かっています。
電話で使う表現である。電話での会話は第25課本文1、2、第30課本文1で学習する。

②本当ですか。
驚いた時などに使う表現である。

③ああ、よかった。
心配事が解消され、
自分に対して言い

④帽子売場をご存
ここをまっすぐ
敬語は第30課で

Ⅳ 文型

1. 服装のことは

- ・服装に関する名
- ・この課の本文と
のような服装は
ツを着ている。

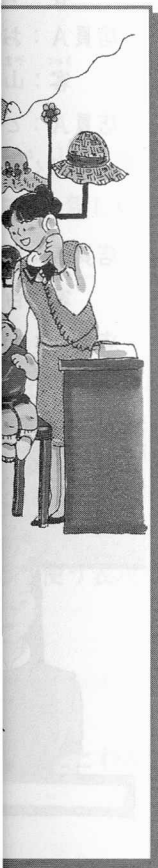
①学習者に応じて必
➔練習d

2. ちょっと見てみ

- ・何かを試す意味
- ・文型1で学習し
る練習をする。
- ・例文2)のような
➔練習a

た。
した。ここでの用法は、
で練習する。

教えてもらい、迎えに行



で預かっています。
課本文1で学習する。

③ ああ、よかった。

心配事が解消されたり、安心した時に使う表現である。相手に対して言っているのではなく、自分に対して言い聞かせるような表現なので、基本体を使っている。

④ 帽子売場をご存じですか。

ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがございます。

敬語は第30課で学習する。ここでは意味がわかればよい。

Ⅳ 文型

1. 服装のことば

- ・服装に関する名詞と動詞を学習する。
- ・この課の本文と文型の学習を助けるために、ここでは「帽子をかぶる。」「スーツを着る。」のような服装に関する名詞と動詞の組み合わせを覚える。「帽子をかぶっている。」「スーツを着ている。」のような形は文型6で学習するので、ここでは練習しない。

① 学習者に応じて必要な服装のことばをここで紹介するとよい。

➡ 練習 d

2. ちょっと見てみます。

- ・何かを試す意味を表す「～てみる」を学習する。
- ・文型1で学習した動詞と名詞を使って例文1)のように「～てもいいですか。」と尋ねる練習をする。
- ・例文2)のような用法に関しては「聞く」「探す」などの動詞を中心に練習する。

➡ 練習 a

3. 子供がいなくなっていました。

- ・意図しなかったことが起こり、それを説明する表現「～てしまう」を学習する。
- ・ここでの用法は自分の不注意から起こったことを説明するものなので、後悔をしたり残念に思ったりする気持ちを含んでいる。
- ・例文1)のように状況を説明する場面と、例文2)のように謝る場面を練習する。
- ・完了の意味を表す「～てしまう」は第35課文型6で学習する。

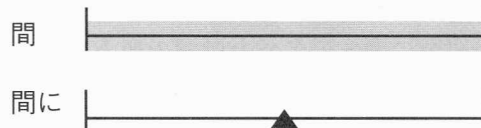
➡ 練習b 練習c

⇨ 巻末「～てしまう」参照

4. (1) 試着している間、ここで待っていてください。
 (2) 試着している間に、子供がいなくなってしまったんです。

- ・期間を表す表現「間」「間に」を学習する。

- ・「間」は期間全体を表し、
「間に」は期間内の特定の時間を表す。



「間」は主文に「いる」「待っている」「買い物をしている」のように継続性がある事柄を表す動詞や、名詞、形容詞などが来る。「間に」は「子供がいなくなる」「財布を落とす」のような瞬間性を持った動詞が来る。

- ・上記の(1)は試着しているのが「私(母)」で待つのが「子供」であり、(2)も同様に試着しているのが「私(母)」で、いなくなったのが「子供」である。このように主文と従属節の動作主が異なる文は、それぞれの動作主を確認する。動作主を文に明示すると、例文1)「僕はお母さんが買い物をしている間、ずっとおもちゃを見ていました。」のように従属節内の動作主は「が」で表される。また、主文の動作主が文頭に来る場合は、例文1)のように「は」が使われる。学習者が「(誤)お母さんは買い物をしている間、ずっとおもちゃを見ていました。」のような間違いをしないように注意する。このような助詞の使い分けは学習者が「間」「間に」の違いを十分理解してから確認するとよい。

➡ 練習c

5. この近くにいるはずです。

- ・事実や予定等から推測したり予想したりして自分の判断を述べる表現を学習する。
- ・この表現は次のような特徴がある。
 - (1)発話者はその判断の拠り所となる理由を持っている。
 - (2)そのため、発話者は判断にかなりの確信を持っている。

(3)しかし、半
 例えば例文2)の
 ことが「この
 るかどうか」は
 ・ここで取り上
 「～ている」な
 り上げていない
 ⇨ 巻末「～はず

6. 赤いTシャツを

- ・服装を表す「～
- ・文型1で学習し
- ・一人の人の服
- ではなく「紺の

➡ 練習d

⇨ 巻末「～てい

7. A: 三越デパー
 B: { はい、知
 { いいえ、

- ・動詞「知る」の
- ➡ 練習e

8. ここをまっすぐ

- ・道を説明する
- ・「まっすぐ行
- 方を導入して
- ・例文2)のよう
- る。」という文
- のため「(誤)
- 出やすくなる

(3)しかし、判断した事柄が事実かどうかははっきりと確認されていない。

例えば例文2)のように「この辺にあるはずですね。」と言った場合、「今ここで落とした」ことが「この辺にある」という判断の根拠になっている。しかし「コンタクトレンズがあるかどうか」はまだ確認されていない。

- ・ここで取り上げた「はず」の前の形は、動詞の基本体現在に限っている。他に過去形、「～ている」などの形、品詞ではい形容詞、な形容詞、名詞があるが、この教科書では取り上げていない。

⇒ 巻末「～はず」参照

6. 赤いTシャツを着ています。

- ・服装を表す「～ている」を学習する。
- ・文型1で学習した動詞と名詞を使って練習する。
- ・一人の人の服装について述べる場合、「紺のスーツを着ていて、めがねをかけています。」ではなく「紺のスーツを着て、めがねをかけています。」と言うように指導する。

⇒ 練習d

⇒ 巻末「～ている」参照

7. A: 三越デパートを知っていますか。

B: { はい、知っています。
いいえ、知りません。

- ・動詞「知る」の使い方を学習する。

⇒ 練習e

8. ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがございます。

- ・道を説明する時の慣用句的な用法「～と～」を学習する。
- ・「まっすぐ行く」「右（左）に曲がる」「右側（左側）にある」「突き当たり」などの言い方を導入してから、文型を学習する。
- ・例文2)のように「まっすぐ行くと、右側にあります。」という文の前に「ここを右に曲がる。」という文が付加されると、「ここを右に曲がって」と、て形を使って接続される。そのため「(誤) ここを右に曲がって、まっすぐ行って、右側にあります。」のような誤用が出やすくなるので注意する。

- ・例文3)の「どうも」は目上の人に使うと失礼になるので注意する。
- ⇒ 巻末「～と」参照

V 練習

● 練習 a

- ・文型2で学習した表現を使って練習する。
 - ・婦人服の「～号」、靴の「～センチ」など、サイズを表す言葉を確認してから練習する。
- ⇒ 教科書巻末「助数詞表」参照

● 練習 b

- ・文型3で学習した表現を使って練習する。
- ・謝罪の表現のひとつとして練習する。

● 練習 c

- ・文型3、4で学習した表現を使って練習する。
- ・例)の会話の場合、客の「男の子」という言葉を店員が「男のお子さん」と言いかえているが、1、2では、このような言いかえをするところはない。

● 練習 d

- ・文型1、6で学習した表現を使って練習する。
- ・「佐藤さんはスーツを着ています。」のように短い文で練習した後、文型6の例文1)、2)のような文で練習する。

● 練習 e

- ・文型7で学習した表現を使って練習する。

● 練習 f

- ・文型8で学習した表現を使って練習する。
- ❶ 店員の発話が「エスカレーターがございます。」となっているので「あります」に置きかえて練習してもよい。

【発展例】 架空の地図を用意したり、学校のそばの地図を用いて、道聞きの練習をさせてもよい。

第20課

I この課の目標

- ・意志の表現を
- ・卒業後の進路
- ・留学生の受験

II この課で学習

1. 経営学の免
2. 東都大学を
3. いるかど
4. いつあるか
5. 筆記試験を

III 本文

日本語学校で学
ている。

● 本文 1 経営

【場面】

韓国からの留
日本の大学に

【使用文型】

文型1、2

- 「大学を受
- てから本文の

第20課

もう進路を決めましたか。

① この課の目標

- ・意志の表現を使って将来の計画を述べることができる。
- ・卒業後の進路について質問に答えたり、説明したりできる。
- ・留学生の受験に関して基本的な知識を得る。

② この課で学習する文型

1. 経営学の勉強をしようと思っています。
2. 東都大学を受けるつもりです。
3. いるかどうかわかりません。
4. いつあるかわかりません。
5. 筆記試験を受けなくてはいけません。

③ 本文

日本語学校で学んでいる3人の留学生がそれぞれ学校の先生と卒業後の進路について面談している。

● 本文1 経営学の勉強をしようと思っています。🗣️

【場面】

韓国からの留学生キムが卒業後の進路について日本語学校の先生と面談している。キムは日本の大学に進学を希望している。

【使用文型】

文型1、2

- 「大学を受ける」「受験勉強」「面接」「小論文」など、進路に関する用語の意味を確認してから本文の学習に入る。

【語彙・表現】

- 先生：キムさんは、卒業した後、
 ① 何の勉強をするつもりですか。
 キム：経営学の勉強をしようと思っています。
 先生：日本で勉強するつもりですか。
 ② ③ キム：はい。ぜひ日本の大学に行きたい
 と思っています。
 ④ 先生：どこを受けるんですか。
 キム：東都大学を受けるつもりです。
 ⑤ 先生：受験勉強は進んでいますか。
 キム：ええ…。英語はだいじょうぶだと思いましたが、
 日本語はまだ自信がありません。特に面接が…。
 ⑥ 先生：これから授業で面接や小論文の書き方を練習しますから、
 ⑦ がんばってください。
 キム：はい。がんばります。



①キムさんは、卒業した後、何の勉強をするつもりですか。

教師と学生のようにはっきりとした上下関係のもとでは、学生の進路に関する事柄を「つもり」を使って質問することができるが、普段の生活の中ではあまり使われない。使用できる場面が限られていることに注意する。[文型1、2参照]

②ぜひ日本の大学に行きたいと思っています。

ここでは、「～たい」「～てください」と組み合わせて覚えるように指導する。

例1) 夏休みにぜひ北海道へ行きたいです。

例2) 今度ぜひ私のうちへ遊びに来てください。

③ぜひ日本の大学に行きたいと思っています。

これまで「に」と「へ」は、場所を表す「へ」(「銀行へ行く。」第6課文型2)、行く目的を表す「に」(「コンサートに行く。」第11課文型6)のように区別して学習してきた。ここでは単に大学がある場所へ行くのではなく、進学することを表すので「～に行く」とした。

④どこを受けるん

ここでは場所を問

⑤受験勉強は進ん

現在の進行状況を

⑥これから授業で

「授業の時に」の

例1) 来週授業

例2) 仕事で

⑦これから授業で

相手を思いやっ

の人に対しては

●本文2 留学生

【場面】

台湾からの留

観光の専門学

【使用文型】

文型3、4

○「試験」「募集

④どこを受けるんですか。

ここでは場所を聞いているのではなく、学校の名前を聞いていることを確認する。

⑤受験勉強は進んでいますか。

現在の進行状況を尋ねる表現である。

⑥これから授業で面接や小論文の書き方の練習をしますから、がんばってください。

「授業の時に」の意味である。いくつか例を挙げて練習する。

例1) 来週授業で日本の映画を見ます。

例2) 仕事でコンピューターを使います。

⑦これから授業で面接や小論文の書き方の練習をしますから、がんばってください。

相手を思いやって、励ます表現である。目上の人に使うと失礼になることがあるので、目上の人に対しては使わないように指導する。

●本文2 留学生がいるかどうかわかりません。📺

【場面】

台湾からの留学生コウが日本語学校の先生と卒業後の進路について面談している。コウは観光の専門学校に進学することを希望している。

【使用文型】

文型3、4

○「試験」「募集要項」などの進路関係の語彙を確認してから本文の学習に入る。

各に関する事など、教
が、普段の生活の中
。[文型1、2参照]

導する。

課文型2)、行く目的を
て学習してきた。ここ
「~に行く」とした。

[語彙・表現]

先生：コウさんは来年どうしますか。
 コウ：観光の専門学校に行きたいと思っています。
 先生：もう学校を決めましたか。
 コウ：はい。文化観光専門学校という学校を受けようと思っています。
 ① 先生：その学校には留学生がいますか。
 コウ：さあ…。いるかどうかわかりません。
 先生：そうですか。試験はありますか。
 コウ：はい、面接があります。
 先生：いつありますか。
 コウ：いつあるかわかりません。
 先生：一度その学校へ行行って、いろいろ聞いてみてください。
 ② コウ：はい。来週、父が日本へ来る予定ですから、
 っしょに見に行こうと思っています。
 ③ 先生：じゃ、その時、募集要項をもらって来てください。
 コウ：はい。



① その学校には留学生がいますか。

文脈指示の「その」は第28課文型6で学習する。ここでは「その学校」の示す内容がわかればよい。

② 来週、父が日本へ来る予定ですから、っしょに見に行こうと思っています。

「つもり」「意志形」が個人の意志を表すのに対し、「予定」は個人の意志を越えて、すでに決定されていることに用いる。

③ じゃ、その時、「もらう」は第... 確認できればよ

● 本文3 筆記

[場面]

香港からの留
日本の美術大

[使用文型]

文型5

○ 「私立大学」
学習に入る。

■ 本文1、2、3

[語彙・表現]

先生：

ワン：

先生：

①

ワン：

先生：

ワン：

先生：

②

先生：

ワン：

③ ②

先生：

ワン：

先生：

ワン：

③じゃ、その時、募集要項をもらって来てください。

「もらう」は第2 4 課文型4で学習する。ここではコウが募集要項を入手するという内容が確認できればよい。

●本文3 筆記試験も受けなくてははいけません。📺

【場面】

香港からの留学生ワンが日本語学校の先生と卒業後の進路について面談している。ワンは日本の美術大学に進学を希望している。

【使用文型】

文型5

○「私立大学」「実技試験」「筆記試験」など進路に関する用語の意味を確認してから本文の学習に入る。

📌本文1、2、3を学習した後で、実際に学習者の進路について質問するとよい。

【語彙・表現】

先生：ワンさんは、もう進路を決めましたか。

ワン：はい。私は美術大学で油絵の勉強をするつもりです。

先生：どんな大学があるか調べましたか。

① ワン：はい、調べました。私立大学を2、3校受験するつもりです。

先生：実技試験の準備はしていますか。

ワン：ええ。来月から、放課後、
デッサンの学校に通うつもりです。

先生：毎日行くんですか。

② ワン：いいえ。本当は毎日行きたいんですが、
日本語の勉強も大変なので、
③ ② 週3回行こうと思っています。

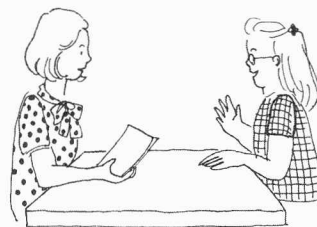
先生：日本語の面接もありますか。

ワン：はい、あります。

それに筆記試験も受けなくてははいけないんです。

先生：じゃあ、がんばって勉強しなくてははいけませんね。

ワン：はい、がんばります。



①私立大学を2、3校受験するつもりです。

回、年など学習者にとって使い慣れた助数詞を用いて「1、2回」「3、4年」などを紹介するとよい。

②本当は毎日行きたいんですが、日本語の勉強も大変なので、週3回行こうと思っています。

「たい」は個人の願望を表現し、実行不可能なことや可能性の低いことでも表現できるのに対し、「意志形+思っている」は実行する意志があり、実現の可能性が高いことが条件となっている。

③本当は毎日行きたいんですが、日本語の勉強も大変なので、週3回行こうと思っています。

他にも「月1回」「年2回」「1日3回」などを紹介する。

Ⅳ 文型

1. 経営学の勉強をしようと思っています。

- ・意志形を学習する。
- ・意志形を用いた表現には、「意志形+思っている」と「意志形+と思う」と二つの言い方があるが、この教科書では使用頻度の高い「意志形+思っている」に統一した。
- ・相手の意志を尋ねる場合、この課の本文の教師と学生のようなはっきりとした上下関係のもとで目上の人（教師）が使う以外は意志形を使って質問すると詮索的で失礼な印象を与えることがあるので、学習者が意志形を使って質問をしないように指導する。
- ・否定の意志を表す表現「～ないつもり」は文型2で学習する。

➡練習 a 練習 b 練習 d

⇨巻末「意志形」参照

2. 東都大学を受けるつもりです。

- ・自分の意志を表す表現「～つもり」を学習する。
- ・「～つもり」は「勉強するつもり」「勉強しないつもり」のように、肯定の意志と否定の意志を表すことができる。
- ・「勉強するつもりです。」という肯定の意志を表す表現は「勉強しようと思っています。」（文型1）と同じ意味として扱った。

- ・文型1と同様う以外は「つもり」が「つもり」
- ・実際はそうで金する。）」は

➡練習 a

⇨巻末「～つもり」

3. いるかどうか

- ・「するかしないか」を学習する。
- ・文型4との使用例（3）、4)のような

➡練習 c

4. いつあるかわか

- ・「いつあるかわか」を学習する。
- ・文型3と使用例のような用法を練習する。

➡練習 c

5. 筆記試験を受け

- ・何かをする必要はない。
- ・「～なくてはならない」を参照
- ・例文3)のような二手に対してどのように指導する。

- ・文型1と同様に相手の意志を尋ねる場合、はっきりとした上下関係のもとで目上の人を使う以外は「つもり」を使って質問すると詮索的で失礼な印象を与えることがあるので学習者が「つもり」を使って質問をしないように指導する。[本文1①参照]
- ・実際はそうではないのにそうした気持ちになることを表した用法（「旅行したつもりで貯金する。」）はこの教科書では取り上げていない。

➡練習a

⇨巻末「～つもり」参照

3. いるかどうかわかりません。

- ・「するかしないか」「あるかないか」などはっきりしない事柄を表す「～かどうか～」を学習する。
- ・文型4との使い分けに重点を置き、「～かどうかわかりません。」の形が定着してから例文3)、4)のような用法を練習する。

➡練習c

4. いつあるかわかりません。

- ・「いつあるか」「いつしたか」などはっきりしないことを疑問詞を使って表す「疑問詞～か～」を学習する。
- ・文型3と使い分けることに重点を置き、「～かわかりません。」が定着してから例文4)のような用法を練習する。

➡練習c

5. 筆記試験を受けなくてはなりません。

- ・何かをする必要や義務があることを表す「～なくてはならない」を学習する。
- ・「～なくてはならない」と「～てはいけない」の違いに注意して指導する。[第21課参考参照]
- ・例文3)のようにこの文型を用いて質問する場合、イントネーションによっては、詰問しているようなニュアンスを含むことがある。また、この文型を用いた質問を多用すると、相手に対して何か不満があるような印象を与えることもあるので、学習者には多用しないように指導する。

第21課

・「～でもいい」は第9課文型4で学習したが、例文3)の「名詞+でもいい」の形はここで初出である。

①「～なくてもいい」は第21課文型3で学習するが、必要に応じてここで紹介してもよい。

※学校を退学する時は学生証を学校に返さなければなりません。

「なければならない」は「なくてはいけない」とほぼ同義であるが、個人の行為ではなく規則やルール等を表す際に用いられることが多い。しかし、ここではその違いを説明する必要はなく、同じ意味の表現として紹介する。

→ 練習 e

V 練習

● 練習 a

・文型1、2で学習した表現を使って練習する。

● 練習 b

・文型1で学習した表現を使って練習する。
・予定を聞く表現「どうですか。」(本文2)にも着目させる。

● 練習 c

・文型3、4で学習した表現を使って練習する。

● 練習 d

・文型1で学習した表現を使って練習する。
・「意志形+と思っている」(文型1)と「～たい」(第11課文型9)の違いを確認してから練習する。[本文3②参照]

● 練習 e

・文型5で学習した表現を使って練習する。
・相手の誘いを断る場面のひとつとして練習する。

Ⅰ この課の目標

- ・日本で人を訪
- ・訪問の際によ

Ⅱ この課で学習

1. 電話をしな
2. 花や生鮮食
3. 嫌いなもの
4. ちょっとお
5. これは母が

Ⅲ 本文

訪問のマナーにつ
ちを訪問し、帰る

● 本文1 訪問の [場面]

人を訪問する

[使用文型]

文型1、2、

○訪問の際によ

①人を訪問する時
について質問し

第21課 訪問

Ⅰ この課の目標

- ・日本で人を訪問する時のマナーを知る。
- ・訪問の際によく使われる表現を使うことができる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 電話をしないで訪問してはいけません。
2. 花や生鮮食品は、玄関で渡したほうがいいです。
3. 嫌いなものは無理に食べなくてもいいです。
4. ちょっとお待ちください。
5. これは母が作ったお菓子です。

Ⅲ 本文

訪問のマナーについて書かれている雑誌の記事と、吉田良子が高校時代の恩師高木先生のうちを訪問し、帰るまでの様子が本文になっている。

● 本文 1 訪問のマナー

【場面】

人を訪問する時のマナーについて書かれた雑誌の記事である。

【使用文型】

文型 1、2、3

○訪問の際によく使われる表現は動作を交えて練習し、覚えて正しく使えるようにする。

❶ 人を訪問する時、学習者の国ではどのような習慣があるか、日本人の家を訪問したことがあるかなどについて質問して話題を導入するとよい。

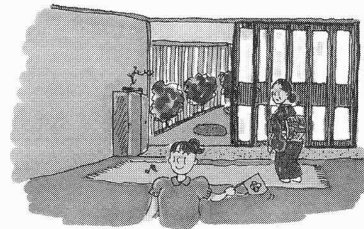
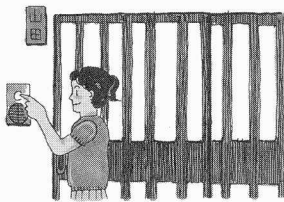
[語彙・表現]

① 人を訪問する時



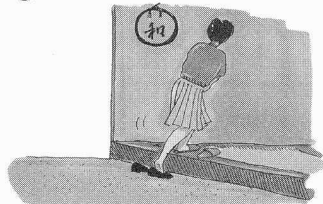
- ① あらかじめ電話で日時を約束します。約束した時間より早く行っては
電話をしないで訪問してはいけません。いけません。約束の時間に行きます。

② 玄関に入る時



- ② ベルやチャイムを鳴らします。勝手に 玄関の戸を閉めないで
③ ドアや戸を開けてはいけません。上がってはいけません。

③ うちに上がる時



- 靴を脱ぎます。
上がってから靴をそろえます。
そろえないで部屋に入ってはいけません。

④ ⑤
④
④
⑤

④

て手み
でも
わた
渡

⑤

嫌
食

⑥



行っては
間に行きます。

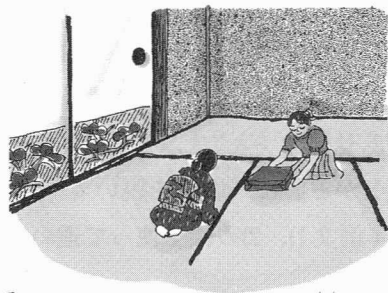


いで
せん。



す。
はいけません。

④ 手みやげを渡す時



④ ⑤
④
④
⑤
手みやげは部屋に入ってから渡します。
でも、花や生鮮食品は玄関で
渡したほうがいいです。



「どうぞお使いください。」とか、
「お口に合わないかもしれませんが、
召し上がってください。」
などと言います。

⑤ ごはんを食べる時



嫌いな物は無理に
食べなくてもいいです。

⑥ 帰る時

「今日は本当にありがとうございました。
した。」とお礼を言います。お礼を
言わないで帰ってはいけません。

⑦ 次に会った時

⑥
必ず「先日はどうもありがとう
ございました。」とお礼を言います。



① あらかじめ電話で日時を約束します。

その場に臨む以前に何かを行うという意味の副詞である。

② 勝手にドアや戸を開けてはいけません。

相手や周囲の許可を得ずに自分の考えだけで何かを行うという意味の副詞である。

③ 玄関の戸を閉めないで上がってはいけません。

「上がる」と「入る」の違いに注意する。「上がる」は、履物を脱いで一段高くなっていると
ころに移動する場合に使う。第2 1 課文型 4 例文 1)、2)の絵を使って違いを説明する。

④ 「どうぞお使いください。」

「お口に合わないかもしれませんが、召し上がってください。」

手みやげや贈り物などを渡す時の慣用表現である。ここではあいさつの決まり文句として意
味を理解し、言えるようにする。この他にも「つまらないものですが、どうぞ。」なども紹
介してもよい。

⑤ 「どうぞお使いください。」 とか、「お口に合わないかもしれませんが、召し上
がってください。」 などと言います。

この表現は例を挙げる表現として理解できればよい。

⑥ 「先日はどうもありがとうございました。」

「先月」「先週」などが、話している時点の直前の月、週を表すのに対し、「先日」は「この
間」と同様、主観的に「しばらく前」と捕らえられる時を表す。また「前日」は「テストの
前日」のようにある特定の日の一日前を表す。ここで紹介して意味を確認する。

● 本文 2 どうぞお上がりください。 

[場面]

良子が手みやげを持って恩師のうちを訪問する。

[使用文型]

文型 4、5

○良子の部分の言葉と動作を覚えて正しく使えるようにする。

たかぎ
(高木先生)

①

先生の奥

奥

②

げんかん
(玄関で)

奥さん

良子

奥さん

③

たかぎ
高木先生

良子

④

⑤

先生

⑥

良子

(部屋で)

良子:

⑦

奥さん:

先生:

⑧

奥さん:

良子:

[語彙・表現]

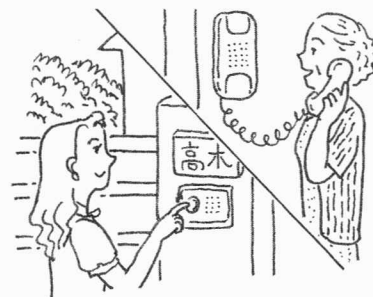
(高木先生のうちのドアの前で)

(ピンポン)

① 先生の奥さん：はい、どちらさまですか。

良子：吉田です。

奥さん：あ、良子さん。今開けますから、
ちょっとお待ちください。



(玄関で)

② 奥さん：いらっしゃい。

良子：こんにちは。

奥さん：こんにちは。

どうぞ、お上がりください。



③ 高木先生：やあ、いらっしゃい。

④ 良子：先生、お久しぶりです。

⑤ 先生：さあ、どうぞ。

⑥ 良子：おじゃまします。

(部屋で)

良子：あのう、これは母が作ったお菓子なんです。

お口に合わないかもしれませんが、

どうぞ召し上がってください。

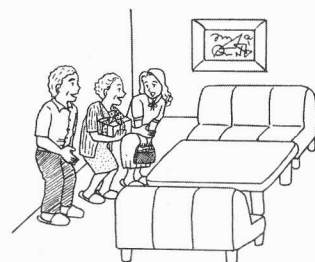


⑦ 奥さん：まあ、すみません。

先生：ありがとう。

⑧ 奥さん：どうぞそちらへ。

良子：失礼します。



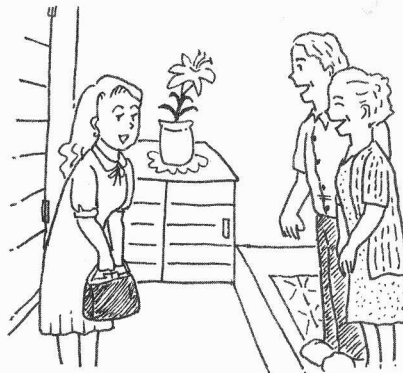


(帰る時)

- ⑨ 良子：あのう、今日はそろそろ失礼します。
- ⑩ 先生：もう少しゆっくりしてってください。
- ⑪ 良子：ありがとうございます。でも…。
- 先生：そうですか。

(玄関で)

- 良子：今日は本当に楽しかったです。
どうもありがとうございました。
- ⑫ 奥さん：またいつでもいらっしゃってください。
- 良子：ありがとうございます。
- ⑬ 先生：おうちみなさんにもよろしくお伝えください。
- ⑭ 良子：はい。じゃ、失礼します。
- 奥さん：お気をつけて。



①はい、どちらさ
「誰ですか。」の
になる。

②いらっしゃい。
ここでの「いら
と失礼になるの

③やあ、いらっし
軽いあいさつの

④先生、お久しぶ
長い間会わなか
は、状況に合わ

⑤さあ、どうぞ。
相手を促したり

⑥おじゃまします
「おじゃましま
で親しい感じが

⑦まあ、すみませ
女性が軽い驚き

⑧どうぞそちらへ
「お座りくださ

⑨あのう、今日
客が帰ることを

⑩もう少しゆっ
客を引き止める
はないので、学

① はい、どちらさまですか。

「誰ですか。」の丁寧な表現である。「誰ですか。」は、直接相手に向かって言うと非常に失礼になる。

② いらっしやい。

ここでの「いらっしやい。」は個人的な来客を迎える時に言う表現である。目上の人に使うと失礼になるので注意する。「いらっしやいませ。」は店の人が客に言う言葉である。

③ やあ、いらっしやい。

軽いあいさつの言葉として男性が使う表現である。

④ 先生、お久しぶりです。

長い間会わなかった人にするあいさつである。本文を学習した後、役割練習などをする時には、状況に合わせて「こんにちは。」などに代える。

⑤ さあ、どうぞ。

相手を促したり誘ったりする時に使う表現である。

⑥ おじゃまします。

「おじゃまします。」とほぼ同義の表現に「失礼します。」があるが、前者の方がより個人的で親しい感じがする。

⑦ まあ、すみません。

女性が軽い驚きを表すのに使う表現である。

⑧ どうぞそちらへ。

「お座りください。」が省略されている。

⑨ あもう、今日はそろそろ失礼します。

客が帰ることを相手に伝える表現である。

⑩ もう少しゆっくりしてってください。

客を引き止める時に言う決まり文句である。「いって」はどこか別の所へ行くという意味ではないので、学習者が間違えて理解しないように注意する。

⑪ ありがとうございます。でも…。

引き止められて断る時に言う表現である。日本語では「でも、もう私は帰らなくてはいけません。」のようにはっきり言わないことを理解させる。

⑫ またいつでもいらっしゃってください。

訪問客に対して別れ際に言うあいさつの言葉である。

⑬ おうちのみなさんにもよろしくお伝えください。

良子が家族と住んでいて、話者とも多少の接点があるという前提がなければ使えない表現である。本文を学習した後、役割練習などをする時には、状況に合わせて「元気でがんばってください。」などに代えてもよい。

⑭ 良子：じゃ、失礼します。

奥さん：お気をつけて。

「さようなら。」は通常の大人同士の別れにはあまり使わない。

Ⅳ 文型

1. 電話をしないで訪問してはいけません。

- ・「砂糖を入れないでコーヒーを飲んだ。」のように後件の動作の付帯状況を前件が表す用法を学習する。
- ・「～しないで～する。」には「今朝コーヒーを飲まないでジュースを飲んだ。」のように、前件と後件を対立させて述べる用法もあるが、この教科書では取り上げていない。

① 「～て」と対比させて、「砂糖を入れてコーヒーを飲みますか、入れないで飲みますか。」「あなたの国では靴を脱いでうちに入りますか、脱がないで入りますか。」のようにどちらかを選択する状況を作るとわかりやすい。

2. 花や生鮮食品は、玄関で渡したほうがいいです。

- ・アドバイスの表現「～たほうがいいです。」を学習する。
- ・「～たほうがいいです。」は強制を避け、当事者に判断を任せる言い方であるが、その事柄についてよく知っている人から知らない人に言ってあげるといったニュアンスがあるので目上の人に向かって使うと失礼になることが多い。例えば学生が教師に「黒板に書いたほうがいいです。」のように言うのは不適切である。ただし、目上の人からアドバイスを求め

ている場合、
「セーターを

・「渡したほう
いうよりは比

否定形の場合

・会話練習をす

① 学習者に応じて

例) A: 明日は

B: ええ、

➡ 練習 a

3. 嫌いなものは

・何かを無理に
る必要や義務

・「嫌いなもの

に使うと、相

するように指

・例文4) 「水曜

いう意味であ

➡ 練習 a

4. ちょっとお待ち

・第9課文型2
る。なお、敬

※どうぞ召し上

「召し上がる

「お召し上が

5. これは母が作

・第13課、第

・この課で学習

ている場合、例えば自分の国へ近々旅行をする教師にアドバイスを求められた学習者が「セーターを持って行ったほうがいいですよ。」のように言うことはできる。

・「渡したほうがいい」の他に「渡すほうがいい」という形もあるが、これはアドバイスというよりは比較に近いので、この教科書では「～たほうがいい」を取り上げた。ただし、否定形の場合は例文3)のように「～ないほうがいい」になる。

・会話練習をする時は、例文1)～3)のように「よ」つけて練習する。

①学習者に応じて「名詞+のほうがいい」も紹介するとよい。

例) A: 明日は入学式なんですが、スーツのほうがいいでしょうか。

B: ええ、そのほうがいいと思いますよ。

➡ 練習 a

3. 嫌いなものは無理に食べなくてもいいです。

・何かを無理にする必要はないという意味を表す「～なくてもいい」を学習する。何かをする必要や義務があることを表す「～なくてはいけない」は第20課文型5で学習した。

・「嫌いなものは無理に食べなくてもいいですか。」のように「～なくてもいい」を質問文に使うと、相手に悪い印象を与えることがあるので、教科書にあるような形を使って質問するように指導する。

・例文4)「水曜日までに札幌に送りたいんですが、」は水曜日までに着くように送りたいという意味であることを確認する。

➡ 練習 a

4. ちょっとお待ちください。

・第9課文型2で学習した「～てください。」のより丁寧な表現「お～ください。」を学習する。なお、敬語については第30課で学習する。

※どうぞ召し上がってください。

「召し上がる」はすでに「食べる」「飲む」の敬語であるため二重敬語にならないように「お召し上がりください。」ではなくこの形で提出した。

5. これは母が作ったお菓子です。

・第13課、第18課に続き名詞修飾を学習する。

・この課で学習する名詞修飾は次ページの通りである。

①文構造

名詞修飾節が述部に来るもの

「これは母が作ったお菓子です。」

名詞修飾節が主部に来るもの

「私が明日訪問するお宅は、三鷹駅のそばです。」

その他

「ファッションの専門学校の文化祭で、学生が作った服を買いました。」

「どこでお茶を飲みましょうか。」「先週行ったお店へ行きませんか。」

②名詞に接続する形

「母が作ったお菓子」

「私たちが泊まるホテル」(未来)

「私が今勉強している学校」

③被修飾名詞

あらゆるもの

・ここで取り上げた例文についてまとめると以下ようになる。

〈名詞に接続する形〉	〈被修飾語と修飾動詞の関係〉	〈文構造〉
例文 1) 私が <u>かいた</u> 絵	私が <u>絵を</u> かいた	述部
例文 2) 私たちが <u>泊まる</u> ホテル(未来)	私たちが <u>ホテルに</u> 泊まる	述部
例文 3) 私が <u>勉強している</u> 学校	私が <u>学校で</u> 勉強している	述部
私が <u>行った</u> 博物館	私が <u>博物館へ</u> 行った	述部
例文 4) マリーさんが <u>作った</u> サラダ	マリーさんが <u>サラダを</u> 作った	主部
例文 5) 私が <u>訪問する</u> お宅(未来)	私が <u>お宅を</u> 訪問する	主部
例文 6) 学生が <u>作った</u> 服	学生が <u>服を</u> 作った	主文のヲ格
例文 7) 私たちが <u>行った</u> お店	私たちが <u>お店へ</u> 行った	主文のへ格

・被修飾語と修飾動詞の関係は教師が整理して知っておく必要はあるものの、学習者にとっては余分な情報となることもある。特にもとの文から名詞修飾節への語順の入れかえ練習(「母がお菓子を作った」→「母が作ったお菓子」など)は練習の目的が学習者にはわかりにくく、母語の語順が日本語と全く違う学習者を混乱させることもある。それよりもむしろ「お菓子」という被修飾語に、「おいしいお菓子」「日本のお菓子」のように情報が付加されていくのと同様に「母が作った」という情報が付加されることを理解させる。

・名詞修飾節内では、助詞は「は」は使わず「が」をとる。また、「の」をとることもあるが、「私がハワイで食べたパイナップルは安くておいしかったです。」のように「私」と「食べた」の間に他の言葉が入ると「?私のハワイで食べたパイナップル」のように不自然になるので、この教科書では取り上げていない。

⇒ 巻末「名詞修飾」参照

Ⅴ 練習

● 練習 a

- ・ 文型 2、3 で学習した表現を使って練習する。

● 参考 (p37)

- ・ ここで取り上げた四つの表現は学習者にとって紛らわしいものである。四つの表現の違いが整理できるようにこのページを設けた。

関係) 〈文構造〉

述部

述部

述部

述部

った 主部

主部

主文のヲ格

主文のへ格

ものの、学習者にとつ

の語順の入れかえ練習

的が学習者にはわかり

ある。それよりもむし

」のように情報が付加

を理解させる。

の」をとることもある

。」のように「私」と

ップル」のように不自

第22課 アルバイト

Ⅰ この課の目標

- ・可能形を使って、能力や状況について説明したり、尋ねたりできる。
- ・ある事柄について自分の経験の有無が話せる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. ピアノが弾けます。
2. A: 結婚式場で仕事をしたことがありますか。
B:

{	はい、あります。
	いいえ、ありません。
3. ピアノなら弾けます。
4. 練習すれば、弾けます。
5. A: 1週間にどのぐらい来られますか。
B: 3日ぐらいです。
6. アルバイトの方も使うことができます。
ここでたばこを吸うことはできません。

Ⅲ 本文

アルバイト募集の雑誌の記事と、アルバイトを探している小野京子（音楽大学の学生）が雑誌の記事を見て、求人先の結婚式場に電話で問い合わせしている様子、採用が決まりアルバイト先の社員に職場を案内される様子が本文になっている。

● 本文 1 アルバイト募集

[場面]

アルバイト専門の求人雑誌の記事である。

[使用文型]

文型 1

- ① 「私は日本語が話せます。」「あなたは英語が話せますか。」のように、自分や相手の能力を直接的に述べたり尋ねたりすることはまれであり、また、そのような表現は失礼になりがちである。そこで、ここでは可能形が自然に使われる場面として、アルバイトを探している学生が、求人雑誌を見たり、電話で問い合わせをしたりするという設定で本文を構成した。まず、アルバイト募集の雑誌や新聞広告などを見せて、時給、日給など必要な語句や日本のアルバイト事情などを簡単に紹介し導入するとよい。

①

① 2時間で2,
単位となる時間

② 中国人で日本
この「で」は、
で初出である。

③ 週3日以上で
「週3回」の言

【語彙・表現】

翻訳アシスタント
募集

- 英字新聞が読める方
 - パソコンができる方歓迎
 - 好きな時間が選べます。
- ① 10:00a.m.～12:00p.m.
② 1:00p.m.～3:00p.m.
③ 3:00p.m.～5:00p.m.
- 2時間で2,500円



千代田区神田神保町1-7
☎ 3239-70XX

ニイハオ学院

文京区本郷6-7

☎ 3817-20XX

中国語会話教室
アシスタント

- *中国人で日本語が話せる方
- *週3日以上できる方
- *時給1,500円

①

②

③

プール監視員



- ☆クロールで1,000メートル以上泳げる方
- ☆時給1,000円

東京カッパプール

中野区中央5-2

☎ 3319-28XX

① 2時間で2,500円

単位となる時間や期間などを表す助詞「で」はここが初出である。

② 中国人で日本語が話せる方

この「で」は、一人の人やひとつの事柄について「AであってしかもB」という意味でここで初出である。

③ 週3日以上できる方

「週3回」の言い方は第20課本文3で学習した。文型5で「1週間に3日」を学習する。

楽大学の学生)が雑
採用が決まりアルバイ

相手の能力を直接的に述
びがちである。そこで、ここ
求人雑誌を見たり、電話
募集の雑誌や新聞広告な
に紹介し導入するとよい。

[場面]

京子が求人広告

[使用文型]

文型2、3、

[語彙・表現]

パソコンが覚えられます!

◆事務スタッフ

◆1:00 p.m. ~ 5:00 p.m.

◆時給 1,000円



文化データサービス

新宿区西新宿6-2-303

電話: 3304-59XX

引っ越し作業スタッフ 募集!

- 車の運転ができる方
- 来週から始められる方
- 日給 8,000~13,000円



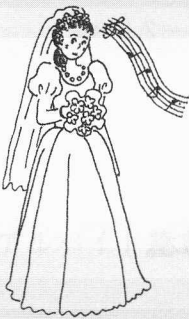
世田谷区用賀3-11

TEL: 3429-94XX

楽しく働けます

演奏者募集

- ピアノ、エレクトーンが弾ける方
- 土、日に来られる方
- 時給 2,000円



結婚式場 寿会館

品川区西品川8-15

☎ 3888-88XX

④

①

②

③

①

④

⑤

京子: も
社員: は
京子: お
内
社員: そ
弾
京子: は
社員: そ
し
京子: い
社員: エ
京子: い
社員: そ
少
京子: 仕
社員: い
京子: お
社員: 1
京子: え
社員: 社
面
京子: は
社員: え
京子: 小
社員: 小
て
京子: 小

④土、日に来られる方

他に「月、水、金」などの言い方も紹介する。

●本文2 結婚式場でアルバイトをしたことがありますか。📞

【場面】

京子が求人広告を見ながら電話で詳しい内容を聞いている。

【使用文型】

文型2、3、4、5

【語彙・表現】

京子：もしもし…。

社員：はい、ことぶきかいかん 寿会館です。

京子：あのう、アルバイトのこうこく 広告を見たんですが、ないよう 内容をもっと詳しく知りたいんです。

社員：そうですね。けっこんしきじょう 結婚式場でエレクトーンやピアノを弾く仕事です。ひ しやいん 失礼ですが、がくせい 学生さんですか。

①

京子：はい、おんがくだいがく 音楽大学でピアノの勉強をしています。

社員：そうですね。今までにけっこんしきじょう 結婚式場でアルバイトをしたことがありますか。



京子：いいえ、ありません。

②

社員：エレクトーンはひ 弾けますか。

京子：いいえ、ピアノなら弾けますが、エレクトーンはちょっと…。

社員：そうですね。でもだいじょうぶ 大丈夫です。

ひ 少し練習すればすぐ弾けますよ。

京子：仕事はど 土曜日と日曜日だけですか。

社員：いいえ、へいじつ 平日もありますよ。

京子：あのう、平日は学校が忙しいので、あまり行けないんですが…。

社員：1週間にどのくらい来られますか。

京子：ええと、すい 週3日…、すい 水、ど 土、にち 日なら行けます。

社員：わかりました。では来週のど 土曜日の2時から

③

めんげつ 面接をしますので、来てください。

京子：はい。

①

社員：ええと、しやいん 失礼ですが、おなまえ お名前は？

④

京子：おのきょうこ 小野京子と申します。

社員：おのきょうこ 小野京子さんですね。きのした 私もう は木下と申します。

⑤

では、2じ 2時にお待ちしています。

京子：よろしくお願ひします。失礼します。



①失礼ですが、学生さんですか。

ええと、失礼ですが、お名前は？

個人的なことや少し聞きにくいことを聞く時などによく使う表現である。

②エレクトーンは弾けますか。

エレクトーンをトピックとして取り上げたために、「が」が「は」に変わったものである。

③では来週の土曜日の2時から面接をしますので、来てください。

「基本体+ので」の形は第14課文型2で学習した。ここでは仕事上の改まった会話なので、より丁寧な「ます形+ので」を使っている。

④小野京子と申します。

名前を名乗る時の慣用表現として使えるように練習する。なお敬語は第30課で学習する。

⑤では、2時にお待ちしています。

「待つ」の謙譲語「お待ちする」はここで初出である。ここでは「待っています。」の丁寧な言い方であることがわかればよい。敬語は第30課で学習する。

● 本文3 ここまで

[場面]

京子はアルバイト

[使用文型]

文型6

[語彙・表現]

ひろえんか
(披露宴会)

木下：こ

あ

きょうこ
京子：後

きのした
木下：え

い

きょうこ
京子：あ

きのした
木下：で

きのした
木下：こ

使

あ

隣

①

①隣に喫煙室があ

文脈指示の「そこ

わかればよい。

Ⅳ 文型

1. ピアノが弾けま

・可能形を学習す

・可能形は、能力

て述べたりする

ものを中心に学

・グループ2、3

があるが、この

・可能形を使う場

● 本文3 ここでたばこを吸うことはできません。🚫

【場面】

京子はアルバイトに採用されることが決まり、社員に職場を案内される。

【使用文型】

文型6

【語彙・表現】

ひ ろうえんかいじょう
(披露宴会場で)

きのした 木下：ここは披露宴会場です。

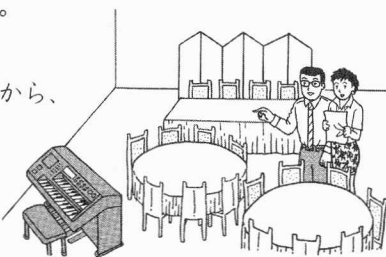
あそこにエレクトーンがあります。

きょうこ 京子：後で練習してもいいですか。

きのした 木下：ええ、今日は結婚式がありませんから、
いいですよ。

きょうこ 京子：ありがとうございます。

きのした 木下：では次に休憩室へ行きましょう。



きのした 木下：ここは社員の休憩室ですが、アルバイトの方も
使うことができます。自由に使ってください。

あ、でも、ここでたばこを吸うことはできません。

① きのした 隣に喫煙室がありますから、そこで吸ってください。

①隣に喫煙室がありますから、そこで吸ってください。

文脈指示の「そこ」は第28課文型6で学習する。ここでは「そこ」が喫煙室を指すことがわかればよい。

Ⅳ 文型

1. ピアノが弾けます。

- ・可能形を学習する。
- ・可能形は、能力や特技について述べたり（「中国語が話せます。」）、ある状況や条件について述べたりする時（「図書館で新聞が読めます。」）に使われるが、ここでは能力の意味のものを中心に学習する。
- ・グループ2、3の可能形は最近「食べれる」「起きれる」「来れる」などが多用される傾向があるが、この教科書では基本の形「食べられる」「起きられる」「来られる」に統一した。
- ・可能形を使う場合、助詞「を」は「が」になるが、否定形の場合は「中国語は話せません」

の形を使うように指導する。ここでは「が→は」の他に、例文5)「自転車には乗れません。」を提出した。[第6課文型6参照]

・例文4)「車の運転ができますか。／車が運転できますか。」は「車の運転をする／車を運転する」が可能形になったものである。[第11課文型4参照]

※A：コンタクトレンズをするのは初めてなんですが、だいじょうぶでしょうか。

B：だいじょうぶですよ。すぐ慣れますから。

※よく日本語を使う人は早く上手になります。(第12課5)

可能形にならない動詞の例である。「わかる」「知る」「間に合う」「治る」「慣れる」「増える」「減る」「上手になる」などもともと可能の意味あいを含んだ言葉や物の変化を表す言葉は、可能形にならないので注意する。

⇒練習a

2. A：結婚式場で仕事をしたことがありますか。

B：はい、あります。
いいえ、ありません。

・経験の有無について言う表現を学習する。

・単純な過去形との違いは

例1) 朝ごはんを食べましたか。

(誤) 朝ごはんを食べたことがありますか。

例2) A1：ピアノを習ったことがありますか。(経験の有無を尋ねる。)

B1：はい、あります。

A2：いつ習いましたか。(経験があることを前提として質問する)

B2：小さい時、習いました。

のような例を示すとわかりやすい。

・「～ことがありますか。」に対する答えは普通「あります。」「ありません。」となるが、上記例2)のB1、A2の発話が省略されて例文2)のようになる場合もある。

・質問文に答える場合、否定形は助詞が「は」になる。

例) A：北海道へ行ったことがありますか。

B：いいえ、(行ったことは) ありません。

しかし、例文3)のように質問文に対する答えでない場合は否定形であっても「が」も「は」も使える。ここでは一般的に多く使われる「が」の形を載せた。

・学習者は「(誤)～したことがありました。」のように間違いやすいので注意する。

❶ UFOや幽霊の絵などあまり一般的でないものを示して「見たことがありますか。」などと質問して導入していくとよい。

⇒練習a

⇒巻末「～ことがある」参照

3. ピアノなら弾け

・名詞に接続し

・「なら」には
アドバイス、
する「なら」

1. A：今

B：{

相手の

だいじ

2. A：日

B：ひ

相手の

るかど

・「安く確実に
条件を表す用

⇒巻末「～なら

4. 練習すれば、強

・条件を表す「

・「行けば」「
あると思う学

・条件を表す「

1. 前件が

例1)

例2)

例3)

2. ある事

例1)

例2)

ここで学習す

・ここで学習す

課文型6参照

3. ピアノなら弾けます。

- ・名詞に接続して、取り立ての意味を持つ「なら」を学習する。
- ・「なら」には、相手の言ったことを受け、(相手の言ったことを条件にして) 依頼・要求、アドバイス、意志など、自分の意見、判断などを述べるという用法があるが、ここで学習する「なら」の特徴は次のようなものである。

1. A: 今度の土曜日、映画を見に行きませんか。

B: { 土曜日はちょっと…。日曜日なら行けるんですが…。
日曜日なら行けるんですが、土曜日はちょっと…。

相手の「土曜日」という提案に対して、「土曜日」はだめであるが「日曜日」ならだいじょうぶであるという代案を出す。 …例文1)、2)

2. A: 日本語が読めますか。

B: ひらがなとカタカナなら読めます。

相手の「日本語」という質問に対して、あなたの質問の意図(「日本語」)に合っているかどうか分からないが、「日本語」の中の一部なら読めると言って答える。

…例文3)

- ・「安く確実に行くならモノレールに乗るといいです。」のように動詞の現在形に接続して条件を表す用法は第3 1 課文型1で学習する。

⇒ 巻末「～なら」参照

4. 練習すれば、弾けます。

- ・条件を表す「～ば」を学習する。
- ・「行けば」「行ける」のように「ば」に接続する形が可能形と似ているため可能の意味があると思う学習者がいるので注意する。
- ・条件を表す「～ば」の用法は次の二つに大きく分類することができる。

1. 前件が成立すれば必ず後件も成立する。

例1) 春が来れば花が咲く。

例2) 2から2をひけば0になる。

例3) (普通誰でも) 練習すれば上手になる。

2. ある事柄を仮定し、それをもとに後件で意思や判断を述べる。

例1) (もし) あなたが行けば私も行きます。

例2) (もし) 安ければ買ってきてください。

ここで学習する「～ば」は1. の用法である。2. の用法は第3 5 課文型8で学習する。

- ・ここで学習する「ば」は一般的な事実や真理を表す文であり、原則として「と」[第1 2 課文型6 参照]に置きかえることができる。ただし、本文の発話場面では次のような使い

分けを意識した。

「と」前件を前提とした上でどのような結果が起きるかを後件で述べる。

例) (パソコンを) 練習するとどうなるか。

→練習すると上手になる／キーが覚えられる／速く打てるようになる…。

「ば」後件を引き起こすために前件にどのような条件を必要とするかを述べる。

例) どうすれば (パソコンが) 上手になるか。

→練習すれば／習いに行けば／毎日打てば…上手になる。

・ここでは例文1)~3)のようにアドバイスの表現のひとつとして練習する。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～ば」参照

5. A : 1 週間にどのぐらい来られますか。

B : 3 日ぐらいです。

・頻度や割合などを表す表現を学習する。

・ここでは例文1)のように質問文に使う場合と、例文2)、3)のように答えの文に使う場合を載せた。

・本文に出ている「週3日」のような言い方も練習する。

❶ここで取り上げた助数詞は「日、冊、回、度、メートル」であるが、学習者に応じて、例)のように「本、杯、時間」なども導入してもよい。

例) A : どのぐらいたばこを吸いますか。

B : 1日に10本ぐらいです。

※A : どのぐらい泳げますか。

B : 1, 000メートルぐらい泳げます。／ぜんぜん泳げないんです。

「どのぐらい」は頻度や割合だけでなく量を聞く場合にも使う。ここではそのような例を載せた。答える時は具体的な数字(1, 000mぐらい)や副詞(あまり、ぜんぜん)などを使う。

➡ 練習 b

6. アルバイトの方
ここでたばこを

- ・ 可能の意味を表す
- ・ 「アルバイト」の教科書では「～」の時の表現として
- ・ 否定形は「～」

V 練習

● 練習 a

- ・ 文型1、2、

● 練習 b

- ・ 文型5で学習

6. アルバイトの方も使うことができます。
ここでたばこを吸うことはできません。

- ・可能の意味を表す表現「～ことができます。」を学習する。
- ・「アルバイトの方も使えます。」のように可能形を使っても意味は同じであるが、この教科書では「～ことができます。」は決まりや規則などから、ある事柄が可能なことを述べる時の表現として扱った。
- ・否定形は「～はできません」の形を取り上げた。

V 練習

● 練習 a

- ・文型 1、2、4 で学習した表現を使って練習する。

● 練習 b

- ・文型 5 で学習した表現を使って練習する。

第23課

ワンさんへのプレゼント

Ⅰ この課の目標

- ・「～そう」を使って、物や事柄の外見からの印象を述べることができる。
- ・第三者の希望や願望を相手に伝えることができる。
- ・プレゼントをあげたりもらったりする時、適切な表現を使うことができる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 涼し { そうです。
くなさそうです。
2. 便利 { そうです。
じゃなさそうです。 / ではなさそうです。
3. 雨が降りそうです。
4. あんなワンピースがほしいと思っていたんです。
5. ワンピースがほしいと思っていたんです。
6. 何か見たい物はありますか。
7. ワンさんはブローチをほしがっていました。
8. ワンさんは日本料理を習いたがっていました。

Ⅲ 本文

日本語学校の友達マリー・ジジョンラクとリーがデパートに買い物に出かける。同じ学校の友達ワンのプレゼントを選んで贈る。

● 本文1 涼し

[場面]

マリーとリー

[使用文型]

文型1、4、

[語彙・表現]

①

あの
涼し
私は
ほし

① あのワンピース

会話ではたびたび
詞を省略しない

● 本文2 ワン

[場面]

デパートでマ

[使用文型]

文型6、7、

➔ 練習e

●本文1 涼しそうですね。🗣️

【場面】

マリーとリーが買い物に出かけ、デパートのショーウィンドーを見ている。

【使用文型】

文型1、4、5

【語彙・表現】



①あのワンピース、涼しそうですね。

会話ではたびたび助詞が省略されるので本文も自然な形で提出したが、学習者がむやみに助詞を省略しないように注意する。

●本文2 ワンさんはブローチをほしがっていました。🗣️

【場面】

デパートでマリーとリーがワンの誕生日に何をプレゼントするか相談している。

【使用文型】

文型6、7、8

➡練習e

出かける。同じ学校の

【語彙・表現】

(デパートで)

マリー：ほかに何か見たい物はありませんか。

- ① リー：ワンさんにあげるプレゼントを
探したいんですが…。

マリー：誕生日ですか。

リー：そうなんです。来週の水曜日なんです。

マリー：そうですか。

じゃ、私もいっしょに探します。

リー：何がいいと思いますか。

- ② マリー：そうですねえ…。あ、ワンさんは
日本料理を習いたがっていましたから、
料理の本はどうでしょうか。

リー：でも、どんなのがいいか私達には
よくわかりませんね。

- ③ マリー：そうですね。じゃあ…。

あ、ワンさんは白い靴を
ほしがっていましたよ。

リー：ワンさんのサイズを知っていますか。

- ④ マリー：いえ…。

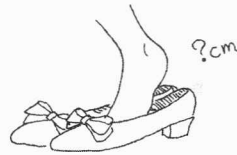
リー：じゃあ、靴もだめですね。

あ、ブローチはどうですか。

- ⑤ マリー：ああ、そういえばブローチもほしいと
言っていましたね。

リー：アクセサリ売場へ行ってみましょうか。

- ⑥ マリー：ええ、そうしましょう。



- ④ いえ…。

「いいえ」と同

- ⑤ ああ、そうい

思い出したこと

- ⑥ ええ、そうし

相手の提案に賛

● 本文 3 お誕

【場面】

リーとマリー

【使用文型】

なし

❶ 実際に物を使

【語彙・表現】

- ① リー、

リー、

まだ

さた

って

りの

か

か

結婚、入学を

でとうござい

- ① ワンさんにあげるプレゼントを探したいんですが…。

「あげる」は第24課文型3で学習する。ここでは、リーとマリーからワンへ贈られることがわかればよい。

- ② そうですねえ…。

相手の質問に対する答えを考えたり、思い出したりしている時に使う表現である。

- ③ でも、どんなのがいいか私達にはよくわかりませんね。

「よく」が「ない」と結びつく形はここで初出である。

- ① ワンさん、お

結婚、入学を

でとうござい

④ いえ…。

「いえ」と同じ意味であることを確認する。

⑤ ああ、そういえばブローチもほしかったと言っていましたね。

思い出したことを言う時に使う表現である。ここでは意味がわかればよい。

⑥ ええ、そうしましょう。

相手の提案に賛成する時の表現である。

● 本文3 お誕生日おめでとうございます。📺

【場面】

リーとマリーがワンに誕生日のプレゼントを渡している。

【使用文型】

なし

📌 実際に物を使って役割練習をするとよい。

【語彙・表現】

①

リー、マリー：ワンさん、お誕生日おめでとうございます。

これは私達わたしたちからのプレゼントです。

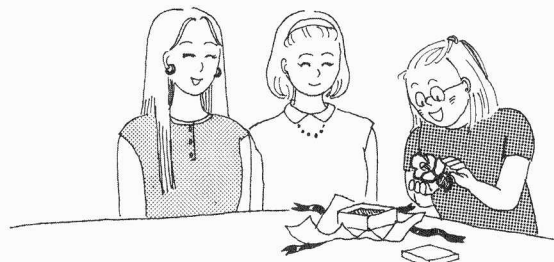
ワン：どうもありがとうございます。開けてみてもいいですか。

リー、マリー：ええ、どうぞ。

ワン：ああ、きれいなブローチですね。

前からこんなのがほしかったんです。

本当にどうもありがとうございます。



① ワンさん、お誕生日おめでとうございます。

結婚、入学を祝う言葉も紹介する。それぞれ「ご結婚おめでとうございます。」「ご入学おめでとうございます。」となり、「ご」を使う。

IV 文型

1. 涼し { そうです。 くなさそうです。

- ・物や事柄の外見からの印象を述べる表現「い形容詞+そうです。」を学習する。
- ・第17課文型6で学習した伝聞の「～そうです。」と混同しないように「そうです。」の前の形に注意する。
- ・「いい」は活用が変則的なので注意する。
- ・黒いかばんを見て「(誤) 黒そうです。」とは言わないので、見ただけで判断できる場合はこの表現を使わないように指導する。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～そう」参照

2. 便利 { そうです。 じゃなさそうです。 / ではなさそうです。

- ・物や事柄の外見からの印象を述べる表現「な形容詞+そうです。」を学習する。
- ・第17課文型6で学習した伝聞の「～そうです。」と混同しないように「そうです。」の前の形に注意する。
- ・文型1と同様に「(誤) きれいそうです。」とはならないので注意する。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～そう」参照

3. 雨が降りそうです。

- ・物や事柄の外見からの印象を述べる表現「動詞+そうです。」を学習する。
- ・ここでは肯定形を中心に学習する。この用法では否定形を用いるものは例が少ないのに加え、文型1、2の形容詞の場合と違い「～そうにありません。」という文末になることから、ここでは練習はせず、形を確認するだけでよい。
- ・「間に合いそうです。」のように自分の能力や状況から判断して可能性があるかどうかを述べる表現は第35課文型1で学習する。

※ A: すごい雨ですね。

B: そうですね。しばらくやみそうにありませんね。

「動詞+そうです。」の否定形を確認するために載せた。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～そう」参照

4. あんなワンピー

- ・目の前にある
- ・「こ・そ・あ
- ・ここでは「こ
- 「そんな簡単な
- ですか。」のよ

5. ワンピースが

- ・ある物を手に
- ・ここでは「ほ
- ・文末が現在形

①こんなワ

②こんなワ

①は、まだワ
所有できた場
る。よって、

・「ほしい」の効

「(誤) 貿易関

・相手に対して

たり、子供っ

・例文4)のよう

➡ 練習 b 練習

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～そう」参照

4. あんなワンピースがほしいと思っていたんです。

- ・目の前にあるものをひとつの例と考えて言う時の表現を学習する。
- ・「こ・そ・あ」のどれを用いるかは、第2課で学習した眼前指示の規則に従う。
- ・ここでは「これ、それ、あれ」と「こんな、そんな、あんな」の違いのみをポイントとし、「そんな簡単なことはわかっています。」「こんなに素晴らしいものをいただいてもいいんですか。」のような特別なニュアンスを含んだ表現と文脈指示の用法は取り上げていない。

5. ワンピースがほしいと思っていたんです。

- ・ある物を手に入れたいという自分の願望を述べる表現を学習する。
- ・ここでは「ほしい」も「ほしいと思っている」もどちらも同じ意味として扱った。
- ・文末が現在形か過去形かで以下のような意味の違いがあるので、注意して指導する。

- ①こんなワンピースが { ほしいんです。
ほしいと思っているんです。
- ②こんなワンピースが { ほしかったんです。
ほしいと思っていたんです。

- ①は、まだワンピースが話者の手に入っていない場合の表現で、②は話者がワンピースを所有できた場合、あるいは本文1のように確実に所有できる状態になった場合の表現である。よって、人から物を贈られた場合などは、②を用いるのが自然である。
- ・「ほしい」の対象は物理的に手に入れられるものであり、「(誤)あの先生の授業がほしい。」「(誤)貿易関係の仕事がほしい。」のような言い方はしない。
- ・相手に対して「何がほしいですか。」「ワンピースがほしいですか。」と言うと、失礼だったり、子供っぽい表現になるのであまり使わないように指導する。
- ・例文4)のような店頭などでよく使われる表現も練習する。

➡ 練習 b 練習 c

6. 何か見たい物はありますか。

- ・「何か～物／こと」「どこか～所」「誰か～人」「いつか～時／日」の組み合わせを学習する。「何か」「どこかへ」「どこかに」を用いた疑問文は第7課文型3で学習した。
- ・「何か冷たい物を(が)飲みたいです。」の「何か冷たい物」に疑問の意味はなく「ジュースを(が)飲みたいです。」の「ジュース」と同じように使われることを理解させる。
- ・次のような会話も提示し「何か」と「何が」の違いも指導する。

A: Bさんは何か食べたい物がありますか。

B: はい。

A: 何が(を)食べたいですか。

B: イタリア料理が(を)食べたいです。

→練習d

7. ワンさんはブローチをほしがっていました。

- ・ある物を手に入れたいという第三者の願望を述べる表現「～ほしがっていた。」を学習する。
- ・ある物を手に入れたいという自分の願望を述べる表現「ほしい」は文型5で学習した。
- ・第三者の願望が現在まで継続していることをより強く訴えたい場合は「田中さんが薬をほしがっています。急いでください。」のように「～ほしがっている。」を用いるが、ここでは使用頻度が高い「～ほしがっていた。」のみ取り上げた。
- ・「国の友達が日本のCDをほしがっていたので、買って帰るつもりです。」のような場合、「ほしがっている」としても意味に大きな違いはない。しかし、ここでは学習者の混乱を避けるために、「ほしがっていた」の形で練習する。

※ワンさんはブローチがほしいと言っていました。

「ほしがっていた。」と同じ意味で使われる「ほしいと言っていた。」を紹介するために載せた。

→練習e

8. ワンさんは日本料理を習いたがっていました。

- ・第三者の願望を述べる表現「～たがっていた。」を学習する。
- ・自分の願望を述べる表現「～たい。」は第11課文型9で学習した。
- ・文型7同様、ここでは使用頻度の高い「～たがっていた。」という形のみ取り上げた。
- ・文型7同様、「～たがっている」を用いても大きな意味の違いがない場合もあるが、ここ

では「～たが
・次のように「
例) (私は)
(ワンさ
(私は)
(ワンさ
※ワンさんは日
「～たがって
せた。

V 練習

● 練習 a

- ・文型1、2、
 - ・「高そうです
- ①この他にも、絵

● 練習 b 


- ・文型5で学習
- ・「いらっしゃ

● 練習 c 

- ・文型5で学習
- ・「ほしい」(

● 練習 d 

- ・文型6で学習

● 練習 e 

- ・文型7と本文

では「～たがっていた」の形で練習する。

・次のように「～たがっていた。」と「～たい。」の助詞の使い方にも注意して指導する。

例) (私は) コーヒーををが飲みたい。

(ワンさんは) コーヒーをを飲みたがっていた。

(私は) 田中さんに会いたい。

(ワンさんは) 田中さんに会いたがっていた。

※ワンさんは日本料理を習いたいと言っていました。

「～たがっていた。」と同じ意味で使われる「～たいと言っていた。」を紹介するために載せた。

V 練習

● 練習 a

- ・文型 1、2、3 で学習した表現を使って練習する。
- ・「高そうです。」の形で練習する。

❶ この他にも、絵や写真等を利用して練習するとよい。

● 練習 b

- ・文型 5 で学習した表現を使って練習する。
- ・「いらっしゃいませ。」は店員が客に対して使うあいさつの言葉である。

● 練習 c

- ・文型 5 で学習した表現を使って練習する。
- ・「ほしい」(文型 5) と「～たい」(第 11 課文型 9) との違いを確認してから練習する。

● 練習 d

- ・文型 6 で学習した表現を使って学習する。

● 練習 e

- ・文型 7 と本文 2 で学習した表現を使って練習する。

第24課

贈り物

Ⅰ この課の目標

- ・過去と現在で変化した事柄について述べることができる。
- ・日本の贈答習慣を知る。
- ・「あげる」と「もらう」を使って物のやりとりが表現できる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 輸送機関が発達したので、生鮮食品も送れるようになりました。
2. 最近では、お中元やお歳暮を自分で持って行かなくなりました。
3. 私はアルンさんにチョコレートをあげました。
4. 私はおおぜいの人にお中元をもらいました。

Ⅲ 本文

日本の贈答習慣に関するテレビ番組での贈り物についての説明と街頭インタビューの様子が本文になっている。

● 本文1 バレンタインデーにもプレゼントを贈るようになりました。📺

[場面]

テレビ番組で日本の贈答習慣の変化を紹介している。

[使用文型]

文型1、2

○精読するのが望ましいが、難しい新出語が多いので、学習者に応じて意味理解にとどめてもよい。

①お中元やお歳暮など日本の贈り物に関する基本的な知識を紹介してから本文の学習に入るとよい。

②本文を学習した後、学習者の国の贈答習慣を紹介させるとよい。

[語彙・表現]

①

結婚
ていきて
定期的
お中
お中

②

デパー

③

今では

最近

④ ⑤

なりま

⑤

いつは

⑥

品物を

⑦

影響で



①これ以外にも

い形容詞「古い」
ことを確認する

②また、輸送機

前に述べた内容

③また、輸送機

「今何時ですか」
す表現として
する。

④毎年2月にな

デパートやスー
であることを確

[語彙・表現]

- ① 結婚式や誕生日には、贈り物をします。これ以外にも、日本には古くから定期的に贈り物をする習慣があります。7月のお中元と12月のお歳暮です。お中元やお歳暮は、以前は自分で直接持って行きましたが、このごろはデパートなどに頼むようになりました。また、輸送機関が発達したので、今では生鮮食品も送れるようになりました。
- ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
- ④ ⑤ ⑥ ⑦ 最近は、バレンタインデーやクリスマスなどにもプレゼントを贈るようになりました。毎年2月になると、チョコレート売場は、どこも若い女の子でいっぱいになります。また、12月になると、デパートではいろいろな品物をクリスマスプレゼントとして売り出します。デパートの宣伝やマスコミの影響で、これらのプレゼントは、年々盛んになってきました。



インタビューの様子が

した。

て意味理解にとどめて

の学習に入るとよい。

- ①これ以外にも、日本には古くから定期的に贈り物をする習慣があります。い形容詞「古い」の名詞形「古く」である。ここでは「以前から」「昔から」の意味であることを確認する。
- ②また、輸送機関が発達したので、今では生鮮食品も送れるようになりました。前に述べた内容に関連のある事柄を付け加える接続詞である。
- ③また、輸送機関が発達したので、今では生鮮食品も送れるようになりました。「今何時ですか。」の「今」と違って「現在」の意味で使われている。現在と過去の変化を表す表現として「昔は～だったが、今では～ようになった。」という形で使われることを確認する。
- ④毎年2月になると、チョコレート売場は、どこも若い女の子でいっぱいになります。デパートやスーパーなどのあらゆるチョコレート売場が女の子でいっぱいになるという意味であることを確認する。

⑤毎年2月になると、チョコレート売場は、どこも若い女の人でいっぱいになります。
ここでは、デパートやスーパーのチョコレート売場に若い女の人がおおぜい集まっていると
いう意味であることと、「人でいっぱい」という形で使われることを確認する。

⑥また、12月になると、デパートではいろいろな品物をクリスマスプレゼントと
して売り出します。

目的の違いを表す表現である。「ケーキ」などを例に挙げ「クリスマスのケーキとして買う。」
「誕生日のプレゼントとして買う。」「手みやげとして買う。」などを提示し、意味を確認する。

⑦デパートの宣伝やマスコミの影響で、これらのプレゼントは、年々盛んになって
きました。
「これらのプレゼント」がバレンタインデーとクリスマスのプレゼントであることを確認す
る。

●本文2 チョコレートをあげましたか。📺

【場面】

バレンタインデーにデパートの前で伊藤記者が女の人（会社員）にインタビューしている。

【使用文型】

文型3

○日本ではバレンタインデーに女性から男性にプレゼントを贈ることを確認してから、本文
の学習に入る。

【語彙・表現】

(デパートの前で)

① 伊藤記者：すみません。ちょっと伺いたいんですが…。

女の人：はい。

伊藤記者：今日はバレンタインデーなんですが、
誰かにチョコレートをあげましたか。

女の人：ええ、あげました。

伊藤記者：どんな人にあげたんですか。

女の人：職場の同僚や友人です。

伊藤記者：いくつぐらいあげましたか。

女の人：そうですね…。

10個ぐらいです。

伊藤記者：10個も！



① ちよつと伺い

敬語は第30課

●本文3 どん

【場面】

伊藤記者が

【使用文型】

文型4

贈答品のパン

(デバ
いどう
伊藤記
女の
いどう
伊藤記

女の
いどう
伊藤記

女の
いどう
伊藤記
女の

いっぱいになります。
おぜい集まっていると
確認する。

クリスマスプレゼントと

のケーキとして買う。』
示し、意味を確認する。

年々盛んになって

トであることを確認す


インタビューしている。

を確認してから、本文



① ちょっと伺いたいんですが…。

敬語は第30課で学習する。ここでは意味がわかればよい。

● 本文3 どんな物をもらいましたか。 

【場面】

伊藤記者がデパートの前で女の人（主婦）にお中元についてインタビューしている。

【使用文型】

文型4

① 贈答品のパンフレットや教科書のp62のグラフなどを使って話題を導入するとよい。

(デパートの前で)

伊藤記者：すみません。ちょっと伺いたいんですが…。

女の人：はい。

伊藤記者：今、お中元の時期なんです、今年、
もうお中元をもらいましたか。

女の人：いえ、今年はまだですが…。

伊藤記者：では、去年は、何人ぐらいの人に
お中元をもらいましたか。

女の人：そうですね…。10人ぐらいです。

伊藤記者：そうですか。どんな物をもらいましたか。

女の人：よく覚えていませんが、毎年、
調味料やお菓子などが多いです。



Ⅳ 文型

1. 輸送機関が発達したので、生鮮食品も送れるようになりました。

- ・動詞を用いた変化の表現を学習する。ここで学習するのは否定から肯定への変化である。い形容詞とな形容詞、名詞の変化の表現は第12課文型5で学習した。
- ・例文1)は個人の能力の変化、例文2)は社会の状況の変化、例文3)は個人的な習慣の変化、例文4)は社会的な習慣の変化を表している。

※薬を飲んだのでかぜが治りました。

「治る」のようにもともと変化の意味のある動詞は「～ようになる」は用いないことを示すために載せた。「慣れる」「増える」「減る」なども同様である。

※薄切りの牛肉を長く煮ると、固くなります。(第12課5)

※前はさしみが嫌いでしたが、今は好きになりました。(第12課5)

い形容詞とな形容詞を用いた変化の表現を復習するために載せた。

2. 最近は、お中元やお歳暮を自分で持って行かなくなりました。

- ・動詞を用いた変化の表現を学習する。ここで学習するのは肯定から否定への変化である。
- ・例文1)は個人の能力の変化、例文2)は個人の状況の変化、例文3)は個人的な習慣の変化、例文4)は社会的な習慣の変化を表す。
- ・肯定から否定への変化を表す用法には「行かないようになる」という形もあるが、この教科書ではい形容詞「固くなる」と同じ「行かなくなる」という形に統一した。

❶この文型を学習した後で、い形容詞、な形容詞、名詞、動詞、それぞれの変化の表現の規則を確認するとよい。

3. 私はアルンさんにチョコレートをあげました。

- ・物の授受表現のひとつ「あげる」を学習する。
- ・「あげる」は第16課本文2と第23課本文2で既出である。
- ・「あげる」は与え手の行為を表わす表現だが、自分が物の受け手の場合は、「人が私にくれる。」となるのでそのような例を出さないように注意する。「くれる」は第25課文型4で学習する。
- ・「もらう」は文型4で学習する。
- ・「私はあなたにプールの招待券をあげます。」のように、あげる相手に直接「あげる」を使うと失礼な印象を与えることがあるので、このような場合は「プールの招待券があるんですが、いかがですか。」等の表現を使うように指導する。

・ここで学習す

1. 私

2. 第三者

3. 話し相

それぞれの

うに質問文

❶実際に物を学習

⇒巻末「あげる

4. 私はおおぜいの

・物の授受表現

・文型3「あげ

Aさん

私は

(誤) Aさん

・ここで学習す

1. 第三者

2. 第三者

3. 第三者

それぞれの用

のみ練習する

❶実際に物を学習

※私は国から奨

与え手を「か

どちらでもい

では学習者の

で統一した。

⇒巻末「あげる

・ここで学習する「あげる」の用法は以下の通りである。

1. 私 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 第三者 …例文1)、2)、3) (マリーの発話)、5)
2. 第三者 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 第三者 …例文4)
3. 話し相手 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 第三者 …例文3) (キムの発話)

それぞれの用法について練習する。ただし、3. については例文3) (キムの発話) のように質問文のみ練習する。

❶ 実際に物を学習者間で移動させて練習するとよい。

⇒ 巻末「あげる、もらう、くれる」参照

4. 私はおおぜいの人にお中元をもらいました。

- ・物の授受表現のひとつ「もらう」を学習する。
- ・文型3「あげる」と対比しながら学習する際には次のような関係に注意する。

AさんはBさんにもらう。↔ BさんはAさんにあげる。

私は Bさんにもらう。↔ (誤) Bさんは私に あげる。

(誤) Aさんは私に もらう。↔ 私は Aさんにあげる。

- ・ここで学習する「もらう」の用法は以下の通りである。

1. 第三者 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 私 …例文1)、2) (アルンの発話)、3)、5)、6) (学生の発話)
2. 第三者 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 第三者 …例文4)
3. 第三者 $\xrightarrow{\text{(物)}}$ 話し相手 …例文2) (リンの発話)、6) (守衛の発話)

それぞれの用法について練習する。3. については例文2) (リンの発話) のように質問文のみ練習する。

❶ 実際に物を学習者間で移動させて練習するとよい。

※私は国から奨学金をもらって勉強しています。

与え手を「から」で表す例を示すために載せた。与え手が人の場合の助詞は「に」「から」どちらでもいいが、与え手が組織、団体、機関などの場合は「から」になる。この教科書では学習者の混乱を避けるため、与え手が人の場合は「に」、組織などの場合は「から」で統一した。

⇒ 巻末「あげる、もらう、くれる」参照

- ・ 本文3でお中元について説明する際に利用する。
- ・ 季節柄ビールやジュースが多く贈られている点や、希望と実際に贈られた商品にずれがある点などを確認する。

①お中元のパンフレットなどを使って「洋菓子」や「海苔」などの新出語を導入するとよい。

第25課

Ⅰ この課の目標

- ・ です・ます体で話せる。
- ・ くれた話しの内容を聞いて、自分の話を聞かせることができる。
- ・ インフォーマルな話し方ができる。
- ・ 電話での簡単な会話ができる。
- ・ 「あげる、もらう」の使い分けができる。

Ⅱ この課で学習する

1. 親しい友達と話すことができる。
2. 親しい友達に話しかけることができる。
3. 親しい友達に話しかけられる。
4. 友達が（私に）話しかける。
5. 行きたいところがある。

Ⅲ 本文

佐藤武が電話をし

● 本文1 プール

[場面]

武が良子を電

[使用文型]

文型1、2、

○武と良子は第

しさが増し、

○武が良子の母

○4行目までの電

①武と良子がです

第25課

プールへ行かない？

Ⅰ この課の目標

- ・です・ます体を使った改まった話し方（以下「フォーマル」）と友達同士などで使われるくだけた話し方（以下「インフォーマル」）の使い分けの場面を理解し、インフォーマルの会話を聞いて理解できる。
- ・インフォーマルの表現を使って友達を誘ったり、誘いを断ったりするなど、簡単な会話ができる。
- ・電話での簡単な応対ができる。
- ・「あげる、もらう、くれる」を使って物のやりとりが表現できる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 親しい友達との会話 1
2. 親しい友達との会話 2
3. 親しい友達との会話 3
4. 友達が（私に）プールの招待券をくれました。
5. 行きたいけど、明日はアルバイトがあるの。

Ⅲ 本文

佐藤武が電話をし、吉田良子をプールに誘う。良子は小野京子を誘う。


● 本文 1 プールへ行かない？

1 [場面]

武が良子を電話でプールに誘っている。

2 [使用文型]

文型 1、2、4

- 1 ○武と良子は第6課、第17課の本文では「です・ます体」を使って会話をしていたが、親しきが増し、ここではインフォーマルで話している。
- 武が良子の母にはフォーマル、良子にはインフォーマルを使っていることにも着目させる。
- 4行目までの電話での受け答えは覚えて言えるようになるまで練習する。
- 1 武と良子がです・ます体で会話をしている第17課本文2と聞き比べ、導入するとよい。

[語彙・表現]

①

良子の母：もしもし、吉田でございます。

②

佐藤 武：佐藤と申しますが、良子さんをお願いしたいんですが。

良子の母：はい、少々お待ちください。

吉田 良子：もしもし、良子です。

武：良子さん、プールへ行かない？

友達がプールの招待券をくれたんだ。

良子：いいわね。いつ行く？

武：明日はどう？

良子：うん、いいわよ。

③

武：招待券が3枚あるからもう一人行けるんだけど、誰かいない？

良子：じゃ、京子さんを誘ってもいい？

武：うん、いいよ。

良子：じゃ、京子さんに電話してみるわ。



[表現・語句]

①

吉田 良子
お 小野 京子
良子

②

京子 京子
良子 京子
京子 京子
良子 京子

③

①もしもし、小野

自分の話したい相

②あら、そう。

残念な気持ちを表

③うん、じゃ、ま

電話を切る時の表

ンフォーマルな表

ては使わないよう

Ⅳ 文型

1. 親しい友達との分

・辞書形や基本体

・ここで言う親し

親しい友達同士

形とは異なる場

・左右のページ

3も同様である

・動詞、い形容詞

体を用いるので

①もしもし、吉田でございます。

電話に出た時に使う表現である。敬語は第30課で学習する。

②佐藤と申しますが、良子さんをお願いしたいんですが。

電話で相手呼び出す時に使う表現である。

③招待券が3枚あるからもう一人行けるんだけど、誰かいない？

第17課文型3で学習した「～んですが」のインフォーマルの形である。

●本文2 行きたいけど、明日はアルバイトがあるの。☎

[場面]

良子が京子を電話でプールに誘っている。

[使用文型]

文型1、2、3、5

○電話では誰が出るかわからないため、良子は初めはです・ます体で話し始めているが、相手が京子だとわかった時点でインフォーマルに変わる点に着目させる。

【表現・語句】

①

吉田良子：もしもし、小野さんのお宅ですか。吉田と申しますが…。

小野京子：ああ、良子さん。元気？

良子：うん。武さんが、プールの招待券を持ってるの。

明日行こうと思ってるんだけど、京子さんもいっしょに行かない？

京子：明日？

良子：うん。

京子：行きたいけど、明日はアルバイトがあるの。

②

良子：あら、そう。

京子：残念だけど、また今度誘って。

③

良子：うん、じゃ、またね。

①もしもし、小野さんのお宅ですか。

自分の話したい相手の家にかかったかどうか確かめる時に使う表現である。

②あら、そう。

残念な気持ちを表している。男性の場合は「ああ、そう」となる。

③うん、じゃ、またね。

電話を切る時の表現「失礼します。」は第2課本文2で学習したが、「またね。」はそのインフォーマルな表現である。友達同士の別れ際の挨拶としても使われるが、目上の人に対しては使わないように指導する。

Ⅳ 文型

1. 親しい友達との会話 1

- ・辞書形や基本体を使った基本的なインフォーマルを学習する。
- ・ここで言う親しい友達とはほぼ同年齢の親しい友達で、20代から30代を想定している。親しい友達同士であっても、話者の年齢などによって使われる表現が教科書で取り上げた形とは異なる場合もある。(文型2、3も同様である。)
- ・左右のページが対応しており、左がインフォーマル、右がフォーマルである。(文型2、3も同様である。)
- ・動詞、い形容詞は基本体を用いるが、な形容詞と名詞は、現在形は辞書形、過去形は基本体を用いるので注意する。

- ・質問文の場合、「行く？」のように「？」を文末に用いている。これは上昇イントネーションで発音することを表している。教科書用テープなどを使ってイントネーションを指導する。

➡練習 a 練習 b 練習 c 練習 d 練習 e 練習 f

⇨課末「助詞について」参照

⇨課末「イントネーションについて」参照

2. 親しい友達との会話2

- ・男性と女性とで表現が異なるインフォーマルを学習する。
- ・性別による表現の違いは年齢や地域などによって異なる部分も多い。ここでは一般性の高い表現を選んだ。学習者に応じて他の表現を紹介するとよい。
- ・文型1同様、上昇イントネーションの部分などを教科書用テープなどを使って指導する。

➡練習 c 練習 d 練習 e 練習 f

⇨課末「助詞について」参照

⇨課末「イントネーションについて」参照

3. 親しい友達との会話3

- ・インフォーマルでよく使われる「～ている→～てる」のように形が変わる表現を学習する。
- ・例文1)の「B：はい。」は、yes noの「はい」ではなく相手に物を渡す時に使う表現である。
- ・例文4)「なくちゃ／なきゃ」は文中では「勉強しなくちゃいけないから」のような形になるので、学習者に応じてここで紹介する。
- ・例文5)の「ごめん。」と同じ意味で使われる「ごめんなさい。」もここで紹介する。どちらも目上の人に対して使うと失礼になるので、目上の人には「すみません。」を使うように指導する。
- ・文型1同様、上昇イントネーションの部分などを教科書用テープなどを使って指導する。

➡練習 d

⇨課末「助詞について」参照

⇨課末「イントネーションについて」参照

4. 友達が(私に)

- ・物の授受表現の
- ・「あげる」と
- ・「(人)が(物)で省略される。

1. 第三者

2. 第三者

1. の用法が
- ・「くれる」「もられる」はもらいが多い。いない場合や、合などは「くれる」また、「もらう」うに、受け手
 - ・「あげる」と同じであって合は「くれる」


Aさんは

Aさんは

Aさんは

Aさんは

教科書p72、73の

実際に物を学習

※母はときどき

例文1)~5)は

「は」になるも

➡練習 e 練習 f

⇨巻末「あげる」

4. 友達が(私に)プールの招待券をくれました。

- ・物の授受表現のひとつ「くれる」を学習する。
- ・「あげる」と「もらう」は第24課文型3、4で学習した。
- ・「(人)が(物)を(私)にくれる。」の場合、「(私)に」の部分は状況から判断できるので省略されることが多い。何が省略されているかに注意し、次の2つの場合を学習する。

1. 第三者^(物) → 「私」あるいは「私の家族」 …例文1)、2)、3)、4)、5) (良子の発話)
2. 第三者^(物) → 話している相手 …例文5) (京子の発話)

1. の用法が定着してから2. の用法を練習する。

- ・「くれる」「もらう」は、与え手から受け手に物が贈与される際に使われる。しかし、「くれる」はもらい手の意図とは関係なく、与え手の好意から物が贈与される場合に使われることが多い。例文4)のように、隣のおばあちゃんがお菓子をくれることを好ましく思っていない場合や、「いらないと言ったけどくれたの。」のように断ったが与えられたという場合などは「くれる」のほうがより適切である。(「(誤) いらないと言ったけどもらったの。」) また、「もらう」を使うと「相手はだめだと言ったけど、無理に頼んで、もらった。」のように、受け手が与え手に依頼するというニュアンスを含むことがある。
- ・「あげる」と対比しながら学習する際には以下のような関係に注意する。与え手(A)が同じであっても、受け手が第三者(B)の場合は「あげる」、自分や自分の家族などの場合は「くれる」となる。

Aさんは Bさんに あげる。 ↔ Bさんは Aさんにもらう。
Aさんは 私に くれる。 ↔ 私は Aさんにもらう。
Aさんは 私の妹に くれる。 ↔ 私の妹は Aさんにもらう。
Aさんは [私の話し相手] にくれる。 ↔ [私の話し相手] はAさんにもらう。

❶教科書p72、73の参考のページを利用して、「あげる、もらう、くれる」の違いを理解させるとよい。

❷実際に物を学習者間で移動させて練習するとよい。

※母はときどきおこづかいをくれますが、父はくれません。

例文1)~5)は「くれる」の主格を表す助詞は全て「が」になっているが、文脈によっては「は」になるものもあることを示すために載せた。

➡練習e 練習f

⇨巻末「あげる、もらう、くれる」参照

5. 行きたいけど、明日はアルバイトがあるの。

- ・逆接の表現「～けど」を学習する。
- ・第8課文型5で学習した逆接の表現「～が」と異なり「～けど」は話し言葉でインフォーマルな表現なので、作文や目上の人に対して学習者が使わないように指導する。

※ 武：良子さん、明日、暇？

良子：うん。

武：映画の切符があるんだけど、見に行かない？

良子：いいわね。

「～んだけど」の形で前置きの表現として使われることを示すために載せた。[第17課文型3参照]

→練習 f

V 練習

● 練習 a 

- ・文型1で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。

● 練習 b 

- ・文型1で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。
- ・「あんまり」は「あまり」の話し言葉として指導する。

● 練習 c 

- ・文型1、2で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。

● 練習 d 

- ・文型1、2、3で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。

● 練習 e 

- ・文型1、2、4で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。
- ・「友達がプールの招待券をくれたの。」を「(誤)くれたんの」と発音しないように指導する。

● 練習 f 

- ・文型1、2、4、5で学習した表現を教科書用テープを使って練習する。
- ・「明日はアルバイトがあるの。」を「(誤)あるんの」と発音しないように指導する。

参考 (p72, 73)

- ・「あげる、もら
 - ・まず「あげる」
- 解させる。

i 助詞について

- ・インフォーマル
- かどうかは規則
- で、ここでは次
- 1. 「を」は
- 不自然な
- 例) ごは
- 食堂
- 2. 「を」以
- 例) 教
- なお、助詞「
- 述べている場合
- ・インフォーマル

i イントネーション

- ・上昇イントネ
- く覚える必要
- 声面について
- 1. インフ
- が聞き分
- 2. 上昇イ
- ないで発
- 3. 本文と
- ・日本語のアク
- ンで発音する場
- ーションを加
- ① (平板式)
- ② (起伏式)

参考 (p72, 73)

- ・「あげる、もらう、くれる」の学習が終わった段階でまとめとして学習する。
- ・まず「あげる」と「もらう」の違いを確認した上で、「あげる」と「くれる」の違いを理解させる。

① 助詞について

- ・インフォーマルの会話の場合、しばしば、助詞が省略される。ただし、助詞が省略されるかどうかは規則が複雑な上、場面や個人によって不自然かどうかの基準に差がある。そこで、ここでは次のような点を考慮し、省略する助詞を「を」に限った。

1. 「を」はほとんどの場合省略することができるが、「を」以外の助詞を省略すると不自然な印象を与えることが多い。

例) ごはんを食べない? → ごはん__食べない?

食堂でごはん食べない? → (誤) 食堂__ごはん食べない?

2. 「を」以外の助詞を省略すると誤解されることがある。

例) 教室にある。→ 教室__ある。→ ? 教室がある。

なお、助詞「は」に関しても「これ、おいしいね。」のように、目の前にある物について述べている場合に限って省略した。

- ・インフォーマルの会話の際、学習者がむやみに助詞を省略しないように指導する。

② イントネーションについて

- ・上昇イントネーションを伴って正しく発音するためにはそれぞれの語のアクセントを正しく覚える必要があるが、この段階の学習者には負担が大きいため、インフォーマルでの音声面については次のような目標を設定し、教科書の本文、文型、練習を作成した。

1. インフォーマルの表現を聞いて上昇イントネーションかどうか(質問文かどうか)が聞き分けられる。
 2. 上昇イントネーションを伴って語を発音する場合、その語のアクセントの型を変えないで発音することを知る。
 3. 本文と文型、練習で取り上げた表現は、正しく言えるようになる。
- ・日本語のアクセントは平板式と起伏式に大きく分けることができる。上昇イントネーションで発音する場合は、普通そのアクセントの型は変えず、そのアクセントに上昇イントネーションを加えて次のように発音する。

① (平板式) い< [行く] い<?

② (起伏式) のむ [飲む] のむ?

よって、アクセントが起伏式の語を次のようにアクセントの型を変えて上昇イントネーションで発音してはいけない。

② のむ [飲む] (誤) のむ?

この規則は品詞に関係なく3拍以上の語でも同様に、次のようになる。

① (平板式) あした? かんたん? せんめんじょ?

② (起伏式) たべる? むずかしい? コンピューター?

Ⅰ この課の目標

- ・自動詞と他動詞
- ・自分が困った

Ⅱ この課で学習

▶ 自動詞と他動詞

1. 電源を入
2. 故障した
3. 電池の方

Ⅲ 本文

水道の使い方を
の修理を依頼し

● 本文1 手を

[場面]

日常生活で

[使用文型]

なし

- 「▶ 自動詞
てから本文
- 本文1では
て学習する

第26課

ふたが開かないんです。

Ⅰ この課の目標

- ・自動詞と他動詞の基本的な使い分けが理解できる。
- ・自分が困っていることを相手に伝えたり、修理を依頼したりすることができる。

Ⅱ この課で学習する文型

▶ 自動詞と他動詞 (p74 ~ 77)

1. 電源を入れてもつかないんです。
2. 故障したんじゃなくて、／のではなくて、電池がなくなったんです。
3. 電池の方向を間違えると、こわれることがあります。

Ⅲ 本文

水道の使い方を尋ねるなど日常生活のいくつかの場面での会話と、電気店へ行って電子辞書の修理を依頼している様子が本文になっている。

● 本文1 手を出すと自動的に水が出ます。

[場面]

日常生活で自動詞と他動詞が使われる場面を六つ取り上げた。

[使用文型]

なし

- 「▶ 自動詞と他動詞」で自動詞と他動詞という二つの異なる動詞群があることを理解させてから本文1の学習に入る。
- 本文1では自動詞と他動詞が日常生活の中でどのように使われているか、場面と結びつけて学習する。

<会話 1>

母：伸ちゃん、早かったわね。あれっ、たこは？
 伸：糸が切れて、どっかへ行っちゃったんだ…。
 母：そう。



① ①

①糸が切れて、どっかへ行っちゃったんだ…。

伸が働きかけたのではなく、糸の自然な変化を表すので、自動詞が使われている。

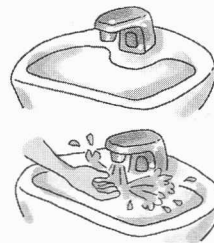
【語彙・表現】

①糸が切れて、どっかへ行っちゃったんだ…。

「どこか」の話し言葉である。目上の人に対しては使わないように指導する。

<会話 2>

- ① マリー：この水道、回したり押したりするものが
何もないんですけど…。
- ② 山本：ああ、これ、手を出すと
- ③ 自動的に水が出るんですよ。
- ④ マリー：あ、本当だ！ 出ました。



①この水道、回したり押したりするものが何もないんですけど…。

マリーが水道に働きかける動作を表すので、他動詞が使われている。

②ああ、これ、手を出すと自動的に水が出るんですよ。

人が働きかける動作を表すので、他動詞が使われている。

③ああ、これ手を出すと自動的に水が出るんですよ。

人が働きかけた結果の変化を表すので、自動詞が使われている。

④あ、本当だ！ 出ました。

マリーが働きかけた結果の変化を表すので、自動詞が使われている。

➡ 練習 a

<会話 3>

①

マリー：
長井：

①

マリー：

②

長井：

③

①電気をつけまし

マリーが電気に働
詞を伴うことが多

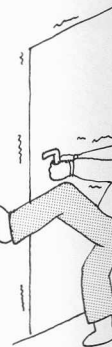
②あれ、つきませ

マリーが電気に働
には単に結果の変
いう可能の意味も
があるので、次の

例1) ドアカ

例2) ドアの

例1) の場合、開
う意味合いを含む



例

<会話3>

① マリー：暗いですね。電気をつけましょう。

ながい
長井：スイッチはどこですか。

② マリー：あ、ありました。

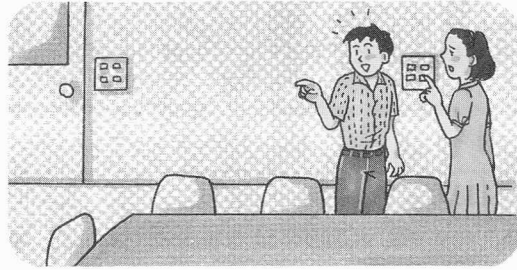
(パチッ)

③ あれ、つきませんね。

ながい
長井：あ、あれじゃありませんか。

(パチッ)

④ つきました。



①電気をつけましょう。

マリーが電気に働きかける動作を表すので、他動詞が使われている。「～ましょう。」は他動詞を伴うことが多い。

②あれ、つきませんね。

マリーが電気に働きかけた結果の変化を表すので、自動詞が使われている。「つきません。」には単に結果の変化を述べるだけでなく、「働きかけたのに、結果が引き起こせない」という可能の意味も含まれている。このように自動詞の用法には可能形の用法と類似したものががあるので、次のような例を示してその違いを理解させるとよい。

例1) ドアがこわれているので、(ドアが) 開かない。(自動詞)

例2) ドアのノブに手が届かないので、(ドアが) 開けられない。(可能形)

例1) の場合、開かない原因は自分の能力ではなく動作を働きかける対象のドアにあるという意味合いを含む。また、例2) の場合、開けられない原因は動作の主体である自分にある。



例1)



例2)

③ つきました。

長井が電気に働きかけた結果の変化を表すので自動詞が使われている。

【語彙・表現】

① あ、ありました。

捜していた物が見つかった時は「あります。」ではなく、「ありました。」と過去形になることを確認する。

① 教室の電気のスイッチなどを利用して役割練習をするとよい。

➡ 練習 b

<会話 4>

おまわりさん：この車はあなたのですか。

佐藤：はい。

① おまわりさん：すぐに動かしてください。

佐藤：すみません。故障して

② 動かないんです。



① すぐに動かしてください。

佐藤が車に働きかける動作を表すので、他動詞が使われている。「～てください。」は他動詞を伴うことが多い。

② 故障して動かないんです。

車に働きかけた結果の変化を表しているなので、自動詞が使われている。また、故障した車にその原因があるため、「動けない」という可能形にはならない。

① ①

②

②

③

<会話
幸子：
一郎：
幸子：
一郎：
幸子：

① ちょっとびんの
一郎がびんのふ

② これ、良子さん
幸子がびんのふ

③ ほら、開いた。
一郎が働きかけ

【語彙・表現】

① ちょっとびんの
依頼の表現と共

② 貸して。
この「貸して（
いった意味合い

① ふたつきのびんなど
➡ 練習 c

<会話5>

① ①

幸子：一郎さん。ちょっとびんのふたを開けて。

一郎：いいよ。

②

幸子：これ、良子さんにもらったジャムなんだけど、

開かないの。

②

一郎：貸して。

③

ほら、開いた。

幸子：ありがとう。



① ちょっとびんのふたを開けて。

一郎がびんのふたに働きかける動作を表すので、他動詞が使われている。

② これ、良子さんにもらったジャムなんだけど、開かないの。

幸子がびんのふたに働きかけた結果の変化を表しているので、自動詞が使われている。

③ ほら、開いた。

一郎が働きかけた結果の変化を表しているので、自動詞が使われている。

【語彙・表現】

① ちょっとびんのふたを開けて。

依頼の表現と共に使われる。「少し」の意味ではないことを確認する。

② 貸して。

この「貸して(ください)」は「借りたい」という意味ではなく「私がやってみます」といった意味合いで使われている。ここでは意味がわかればよい。

① ふたつきのびんなどを利用して、役割練習をするよい。

➔ 練習c

[語彙・表現]

(電気店で)

ワン：あのう、すみません。

- ① これ、電源を入れてもつかないんですが、故障でしょうか。

店員：ええと…。

最近、電池の交換をしましたか。

ワン：いいえ。

店員：じゃあ、たぶん故障したんじゃないくて、

電池がなくなったんだと思います。

交換のし方はわかりますか。

ワン：いいえ。

店員：まず、このふたを開けます。

ワン：私がやってみてもいいですか。

店員：どうぞ。

- ① ワン：あれ？開かないんですが…。

店員：もっと強く下に押してください。

ワン：あ、開きました。

店員：古い電池を出してください。

ワン：はい。

店員：じゃあ、新しい電池を入れて、ふたをしてください。

- ① ワン：電池が入らないんですが…。

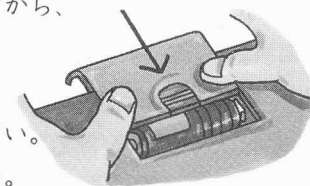
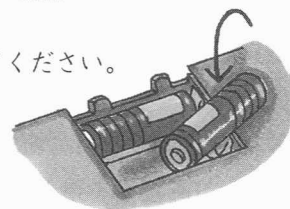
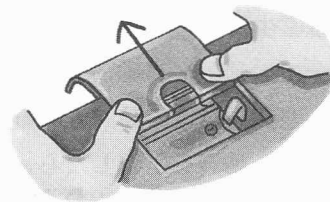
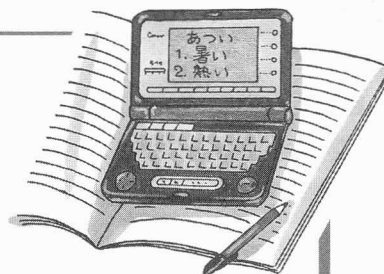
店員：方向が反対です。

方向を間違えるとこわれることがありますから、気をつけてください。

ワン：はい。今度は入りました。

店員：では、ふたをして電源を入れてみてください。

ワン：あ、つきました。ありがとうございました。



①これ、電源を入れてもつかないんですが、故障でしょうか。

開かないんですが…。

電池が入らないんですが…。

自分が困っていることを相手に伝える時に使う表現である。

Ⅳ 文型

▶ 自動詞と他動詞

- ・自動詞と他動詞の基本的な違いを学習する。
- ・この課では自動詞と他動詞の違いについて次のような目標を設定して学習する。
 - 1) 動詞には「自動詞」と「他動詞」と呼ばれる動詞群があり、次のような特徴を持つことを知る。
 - 自動詞…動作の主体が変化したり動いたりすることを表す。
 - 他動詞…動作の主体が他の物（人）に対して働きかけ、変化させたり動かしたりすることを表す。
 - 2) 動作の主体を示す助詞は「が」（それが文のトピックになっている場合は「は」）で、他動詞の働きかける対象を示す助詞は「を」であることを知る。
 - 3) 形がよく似た自動詞と他動詞のペアを形から分類し、活用形のようにその規則を一般化して覚えるのは難しい。よって、それぞれの動詞を語彙としてひとつひとつ覚えなくてはならないことを理解する。
 - 4) 日常生活でよく使われるものについては教科書の場面と共に覚える。
 - 5) 全ての動詞が自動詞と他動詞のペアになっているわけではなく、自動詞だけの動詞や他動詞だけの動詞もあることを知る。
 - 6) 新しい動詞を学習したら、自動詞か他動詞かということに関心を持つような姿勢を身につける。
- ・ここでは自動詞と他動詞の概念を理解させるために、身近な自動詞と他動詞のペアを15取り上げた。
 - ①～⑥は自動詞と他動詞の概念の基本的な違いを最もわかりやすく印象づけるためのもので、「人が直接手を触れなくても物が自ら動いたり変化したりするかどうか」でその違いを示すことができる。
 - ⑦～⑫は「人が物に働きかける動作」に視点があるか「人が物に働きかけた結果の物の変化や動作」に視点があるかでその違いを示すことができる。
 - ⑬～⑮は人が働きかける対象が物でなく人（動物）であるものを集めた。ここでは「意志を持って自ら動作を行うかどうか」でその違いを示すことができる。この分類は学習者に自動詞と他動詞の概念を理解させるための便宜上のものであるので、ここで紹介した三つの観点で全ての自動詞と他動詞について、分類、説明できると学習者が誤解しないように注意する。
- ・教科書では「入る」「入れる」の違いを「お風呂に入る。」と「お風呂に入れる。」という⑬～⑮の観点で示している。しかし、「荷物がかばんに入る。」と「荷物をかばんに入れる。」のように、⑦～⑫の観点でその違いを示すこともできる。このように自動詞と他動詞の概念の違いを示す観点と動詞のペアの関係が固定的なものだと学習者が思い込まないように注意して指導する。

教科書巻末に『新動詞と他動詞』

1. 電源を入れても

・条件を満たして
る。

・条件を表す表現

①砂糖を入れた

②練習すれば

③空港に着いた

・ここで学習する

と、その結果後

「～と」の関係は

例文1) (今)

例文2) この

・「いくら読んで

が成功しないこ

※私は夜遅く寝て

自分の特技や性

1)、2)とは違っ

らない。よく耳

たくさん食べて

⇒ 巻末「～ても」

2. 故障したんじゃな

・相手の誤解や思

・動詞は「基本体

意する。

教科書巻末に『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』に出ている自動詞と他動詞を集めた表（「形の似ている自動詞と他動詞」）があるので、学習者に応じて紹介するとよい。

1. 電源を入れてもつかないんです。

・条件を満たしているにもかかわらず結果が伴わない場合の条件を表す「～ても」を学習する。

・条件を表す表現「～と」「～ば」「～たら」と「～ても」の関係は次のようになる

①砂糖を入れると甘くなります。（第12課文型6）

←→砂糖を入れても甘くなりません。

②練習すればば弾けます。（第22課文型4）

←→練習しても弾けません。

③空港に着いたらら電話します。（第31課文型3）

←→空港に着いても電話しません。

・ここで学習する「～ても」は上記の①であり、対応する「～と」の用法が前件が成立すると、その結果後件で述べる事柄が自然に引き起こされるものに限られる。教科書の例文と「～と」の関係は次の通りである。

例文1) (今は) ボタンを押しても切符が出ない。

←→ (いつもは) ボタンを押すと、切符が出る。

例文2) このコップは落としても、割れない。

←→ (他のガラスの) コップを落とすと、割れる。

・「いくら読んでもわかりません。」のように、回数や頻度を表す言葉と共に、努力をしたが成功しないことを表す表現は第35課文型5で学習する。

※私は夜遅く寝ても、次の朝、早く起きられます。

自分の特技や性質、体質などについて述べる表現を紹介するために載せた。教科書の例文1)、2)とは違って、対応する「～と」の後件で述べる事柄が自然に引き起こされるとは限らない。よく耳にする用法だがここでは例文1)、2)の用法との混同を避けるために、「私はたくさん食べても、太らない。」など身近な例を紹介して意味を確認するにとどめる。

⇒巻末「～ても」参照

2. 故障したんじゃなくて、／のでじゃなくて、電池がなくなったんです。

・相手の誤解や思い込みを訂正する時に使われる表現「～んじゃなくて」を学習する。

・動詞は「基本体+んじゃなくて」となるが、名詞は「辞書形+じゃなくて」となるので注意する。

第27課

・例文2)、3)のように「んじゃなくて」の前の形が基本体の現在形のものど過去形のものど両方練習する。

→ 練習 d

3. 電池の方向を間違えると、こわれることがあります。

- ・可能性があることを述べる時に使われる表現「～ことがある」を学習する。
 - ・「～ことがある」の前の形は動詞の基本体現在となる。前の形が基本体過去で経験を述べる表現は第22課文型2で学習した。
 - ・ここでは相手に注意や警告を伝えるという場面に限って練習する。
- ⇒ 巻末「～ことがある」参照

V 練習

● 練習 a

・本文1<会話2>の表現を使って練習する。

● 練習 b

- ・本文1<会話3>の表現を使って練習する。
- ・「伺う」は「行く」の丁寧な表現だということがわかればよい。敬語は第30課で学習する。

● 練習 c

・本文1<会話5>の表現を使って練習する。

● 練習 d

・文型2で学習した表現を使って練習する。

I この課の目標

- ・引越しの諸手
- ・「～ている」を

II この課で学習す

1. 壁が汚れてい
2. 段ボール箱を
3. 食器は割れな
4. 中身を入れた
5. 重くて持てま

III 本文

第15課で部屋探し
する。

● 本文1 エアコン [場面]

敬子が不動産屋

[使用文型]

文型1

① 第15課で、西条
取りなどを思い出

第27課 引っ越し

Ⅰ この課の目標

- ・引っ越しの諸手続きについて知る。
- ・「～ている」を使って、相手に注意を促したり苦情を述べたりできる。

習する。

本体過去で経験を述べ

Ⅱ この課で学習する文型

1. 壁が汚れています。
2. 段ボール箱を集めておきます。
3. 食器は割れないように、新聞紙で包んでおきます。
4. 中身を入れたまま運ぶと危ないです。
5. 重くて持てません。

Ⅲ 本文

第15課で部屋探しをしていた西条敬子が、東中野の部屋を借りることに決め、引っ越しをする。

語は第30課で学習す

●本文1 エアコンもついています。📺

【場面】

敬子が不動産屋に案内されて、東中野の部屋を見に行く。

【使用文型】

文型1

- ①第15課で、西条敬子が三つの部屋を比較検討し、東中野の部屋に決めた理由や、東中野の部屋の間取りなどを思い出させるとよい。

[語彙・表現]

(^{ひがしなかの}東中野のアパートで)

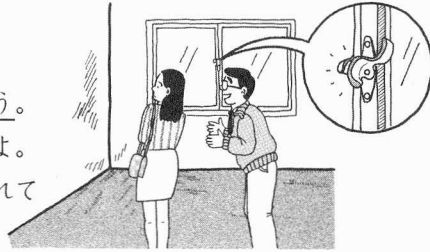
不動産屋：ここです。どうぞ。

少し古いですが、

明るくていい部屋でしょう。

エアコンもついていますよ。

① 西条敬子：ええ。でも、壁が少し汚れて
② いますね。



不動産屋：ああ、これはふけばきれいになる
と思います。

③ 敬子：この窓は南向きですか。

不動産屋：いいえ、東向きです。

ちょっと開けてみましょう。

④ 敬子：あっ、かぎがこわれていますね。

不動産屋：これはすぐ大家さんに言います。

不動産屋：こちらが台所です。

③ 敬子：思ったより広いですね。

① 不動産屋：そうですね。

これで8万円は安いと思いますよ。

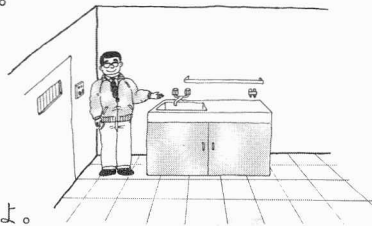
④ どうしますか。

⑤ 敬子：じゃ、ここに決めます。

不動産屋：わかりました。

⑥ それでは、手続きをしますから、

もう一度事務所へ来てください。



① 少し古いので
そうでしょう。

同意を求め

第17課文

ーションで

➡ 練習 a

② エアコンも

部屋に付属

「(誤) この

文型1では

➡ 練習 b

③ 思ったより

実際に見た

④ どうします

相手に決定

として、「こ

してもよい

⑤ じゃ、ここ

「決める」は

と「に」を

「受験する学

「東都大学に

のような例

⑥ それでは、

ある事柄を

● 本文2 引

[場面]

初めて引

て説明し

①少し古いですが、明るくていい部屋でしょう。

そうでしょう。

同意を求める表現である。

第17課文型1で「九州地方は雨でしょう。」を学習したが、それとは違って上昇イントネーションで言い、相手の同意を求める表現であることに注意する。

➡練習a

②エアコンもついていますよ。

部屋に付属しているものを説明する表現として「～がついている」で理解、練習させる。

「(誤) この部屋には和室がついています。」のような誤用が出ないように注意する。

文型1ではある出来事の結果発生した状態を述べる「自動詞+ている」を学習する。

➡練習b

③思ったより広いですね。

実際に見た印象が話し手の予想以上だった時に使う表現である。

④どうしますか。

相手に決定を促す表現である。相手にこう言われて、断る時や考えさせてほしい時の言い方として、「ここはちょっと…」「まだわからないのでちょっと待ってください。」などを紹介してもよい。

⑤じゃ、ここに決めます。

「決める」は第11課文型10「もう学校を決めましたか。」で学習した。助詞「を」をとる時と「に」をとる時の違いを示すために、

「受験する学校を決めました。」(総称を使って決めた内容を述べる)

「東都大学に決めました。」(具体的な名称を挙げて決めた内容を述べる)

のような例文を挙げるとよい。

⑥それでは、手続きをしますから、もう一度事務所へ来てください。

ある事柄をうけて次の行動に移る時の表現である。

●本文2 引っ越し準備

【場面】

初めて引っ越しをする人向けに書かれた住宅情報誌の記事である。荷作りや手続きについて説明している。

【使用文型】

文型 2、3

①ここでは引っ越しの際に必要ないろいろな手続きを紹介して、学習者が転居する時に参考になるようにした。学習者に応じて、これ以外の諸手続きを紹介してもよい。

【語彙・表現】

引っ越しの前^{ひっこし}にしておくこと

1. 新聞紙^{しんぶんし}や段ボール箱^{だんぱうしやう}を集めておきます。
2. 引っ越しの日を決めて、引っ越し会社^{ひっこしがいしや}に連絡します。



につく荷作り

1. 後ですぐわかるように、中に入れた物の名前を段ボール箱^{だんぱうしやう}に書いておきます。
2. 食器^{しょくき}などは、割れないように、ひとつずつ新聞紙^{しんぶんし}で包んでおきます。
3. 引っ越しの後ですぐ使う物は、ひとつの箱^{ひっこし}に入れておく^こと便利です。



手続き

1. 電気、ガス、水道、電話^{でんごう}などの営業所^{えいぎやうしよ}に、引っ越し^{ひっこし}の連絡^{れんらく}をします。
2. 役所^{やくしよ}に、転出届^{てんしゅつとどけ}と転入届^{てんにゅうとどけ}を提出^{ていしゅつ}します。
外国人^{がいこくじん}の場合は、新しい住所^{やくしよ}の役所^{やくしよ}に外国人登録証^{がいこくじんとうろくしやう}を持って行って、住所変更^{じゅうしよへんこう}をします。
3. 郵便局^{てんきよとどけ}に転居届^{てんきよとどけ}を出します。

転居届	
Change of Address Notice	
届出年月日 Date	平成 11 年 10 月 1 日 Heisei Yr. Mo. Day
新住所(居所) New Address	〒164 0022 東京都中野区東中野4-17-1 富士見ハイツヨイ号
旧住所(居所) Old Address	〒182 0923 調布市下石原1-30-2 春日明方
世帯主 ^{せたいぬし} 又は事業所名 ^{あはしぎやうしやうめい} / Name of Household/Company	西条敬子 商号 屋号 等
転居の内容 Details	Ⓐ世帯の全部 b.世帯の一部 Entire Household Part of Household
転居に 関係する 氏名 Name of Person Concerned	西条敬子
郵便物の転送の開始を希望する年月日 Date for Start of Mail Delivery at New Address	平成 11 年 10 月 15 日 Heisei Yr. Mo. Day
届出人氏名印 Signature	西条敬子

備考：「転居の内容」欄は、a.世帯の全部 b.世帯の一部のうち該当する符号のいずれかを「○」で囲んでください。
Remarks: Under "Details," circle a. Entire Household or b. Part of Household, whichever is appropriate.

①食器などは、割れないように、ひとつずつ新聞紙で包んでおきます。
「ずつ」を使った表現として、「二つずつ」「一人ずつ」などもここで紹介するとよい。

●本文 3 中身

【場面】

敬子が東中

【使用文型】

文型 4、5

【語彙・表現】

ひ
引
つ
が
い
し
や
会
社

①

② ③

①こちらからお

②それはこちら

①は場所を示
いう意味で使
くので意味を

③それはこちら

「置いておいて

●本文3 中身を入れたまま運ぶと危ないです。🚚

[場面]

敬子が東中野の部屋へ引っ越しをする様子である。

[使用文型]

文型4、5

[語彙・表現]

引っ越し

会社の社員：こんにちは。長谷川引っ越しサービスです。

敬子：よろしくお願ひします。

社員：始めてもいいですか。

① 敬子：はい。こちらからお願ひします。

社員：あ、このたんすの中には何か入っていますよ。

敬子：あれっ、そうですか。

社員：中身を入れたまま運ぶと危ないですよ。

敬子：すみません。すぐ出しますから、ちょっと待ってください。

社員：はい。段ボール箱はありますか。

敬子：はい。

敬子：すみません。これ、重くて持てないんですが…。

② ③ 社員：それはこちらで運びますので、置いていてください。

敬子：はい。



①こちらからお願ひします。

②それはこちらで運びますので、置いていてください。

①は場所を示す「こちら」であるのに対し、②は引っ越し会社の社員から見て「私たち」という意味で使われている。②のような使い方は業者に何か頼んでやりとりをする時によく聞くので意味を確認する。

③それはこちらで運びますので、置いていてください。

「置いておいてください。」の縮約形である。会話では普通この形が使われる。

Ⅳ 文型

1. 壁が汚れています。

- ・ある出来事の結果発生した状態を表す「自動詞+ている」を学習する。
- ・故障などの予期せぬ不都合な状態を発見して、相手に注意を促したり、苦情を述べたりするという場面の例を取り上げた。相手に注意を促す場合には、例文1)、4)のように文末に「～よ。」をつけて言うといよい。
- ・例文2)「～をお願いしたいんですが…」は、業者などに何かを依頼する時によく使われる表現なので、ここで練習するとよい。
- ・例文3)は、客が水をこぼしたのではなく、客が席につく前からテーブルが濡れていたという設定である。客が来る前にテーブルをきれいにおこななかった自分の落ち度としてウェイトレスが謝っている。客が自分で水をこぼしてしまった時はこの表現は使わないことを確認する。
- ・本文1)に出ている「エアコンもついています。」は、ここで学習する用法とは違う[本文1)②参照]ので学習者が混乱しないよう注意する。

➡練習c

⇨巻末「～ている」参照

2. 段ボール箱を集めておきます。

- ・後の状態のことを考慮して、前もって準備する動作、行為を表す表現「～ておく」を学習する。
- ・この文型は、第36課文型3で学習する「～である」とは違って、準備の動作を表す点が理解のポイントとなる。ここでは、人の動作を表す点をよく理解させるために「～ておきませんか。」「～ておいてください。」など誘いや依頼の表現として使う例を多く挙げた。

➡練習d

3. 食器は割れな

- ・後件の行為
- ・この文型の
ようなもの

(1) 物の変

例) 汚
食

(2) 可能の

例) 朝
後

(3) 無意識

例) 忘
な

(4) 後件の

例) み
子

(5) 「～や

例) 食

ここでは、

習者が日常

心に練習す

- ・「ために」
する。

3. 食器は割れないように、新聞紙で包んでおきます。

- ・後件の行為の目的を前件で表す「ように」を学習する。
- ・この文型の前件に来るものは、自分の意志では直接操作することができない事柄で以下のようなものである。

(1) 物の変化を表す自動詞の文

例) 汚れがよく落ちるように水につけておく。

食器が割れないように新聞紙で包んでおく。

(2) 可能の意味のある文

例) 朝早く起きられるように、目覚し時計をかける。

後で中身がすぐわかるように箱に名前を書いておく。

(3) 無意識的な動作（否定形）を表す文

例) 忘れないように、メモする。

なくさないように、かばんに入れる。

(4) 後件の動作主以外の動作を表す文

例) みんなが必ず見るようにドアのところに掲示する。

子供が触らないように高いところにしまう。

(5) 「～やすい」を使った文

例) 食べやすいように小さく切っておく。

ここでは、(1) と(2) の用法を中心に例文を挙げた。例文4)は上記の(3) の用法であるが、学習者が日常よく耳にするものとしてここに取り上げた。授業の際には(1) と(2) の用法を中心に練習する。

- ・「ために（安全なカップを作るために社員が研究しています。）」は第3 3 課文型5で学習する。

4. 中身を入れたまま運ぶと危ないです。

- ・ある動作の結果の状態が変化しないで続いている表現「～まま」を学習する。
 - ・ここでは、「基本体過去+まま」の形のみ練習する。「～ないまま（用件を聞かないまま電話を切ってしまった。）」のような形もあるが、例が少ないのでここでは練習しない。
 - ・「中身を入れたまま」は「中身を出さないで」と言いかえることもできる。「～ないで」（第21課文型1）は「何かをしない状態で」という意味であるのに対し、「～まま」は「ある状態が前と変わらない／やりっぱなしになっている」ことを表す。
- また、「～まま」と「～ないで」は言いかえると不自然になる場合もあるので注意する。

例) 席がなかったので立ったままコーヒーを飲みました。

? 席がなかったので座らないでコーヒーを飲みました。

➡ 練習 e

5. 重くて持てません。

- ・前件が後件の出来事の原因・理由となる「～て」を学習する。
- ・ここで学習するのは、「ある状態が原因で、～できない。」という形になるものである。教科書には前件の状態を表す部分がイ形容詞のものだけを例文に挙げたが、これ以外にも、状態を表す動詞（いる、ある、など）や「～すぎる」を使った表現などもある。学習者に応じて以下のような文も紹介するとよい。

例) このカレーは辛すぎて食べられません。

人がおおぜいいて、中に入れません。

- ・後件に話し手の感情が来る「～て」の用法は第34課文型3で学習する。

⇨ 巻末 「～て（原因・理由）」参照

V 練習

● 練習 a

- ・本文1で学習し、このように上の人に対しりする。
- ・教科書用テー

● 練習 b

- ・本文1で学習手に伝える言

● 練習 c

- ・文型1で学習言い方を練習

● 練習 d

- ・文型2で学習

● 練習 e

- ・文型4で学習

V 練習

● 練習 a

- ・本文1で学習した相手に同意を求める「～でしょう。」と、その応じ方を練習する。ただし、このように同意を求めることは、自分の主観を相手に押しつけることになるので、目上の人に対しては失礼になる。「～でしょう。」の練習のみでなく、応じ方の練習もしっかりする。
- ・教科書用テープを使って「～でしょう。」のイントネーションに注意して練習する。

● 練習 b

- ・本文1で学習した「～がついている」を使って、間取りや設備について、自分の要求を相手に伝える言い方を練習する。

● 練習 c

- ・文型1で学習した表現を使って、故障などの予期せぬ事態を発見して、相手に注意を促す言い方を練習する。

● 練習 d

- ・文型2で学習した表現を使って、相手にアドバイスをする練習をする。

● 練習 e

- ・文型4で学習した表現を使って練習する。

第28課

送ってくれてありがとう。

○武と良子のう

[語彙・表現]

Ⅰ この課の目標

- ・人から受けた好意に対してお礼を述べることができる。
- ・授受表現を使って誰かにしてもらったことやしてあげようと思っている内容について述べるができる。

Ⅱ この課で学習する文型

- 母：誰がこの写真を撮ってくれたの？
武：京子さんが撮ってくれたんだ。
- 母：誰に送ってもらったの？
良子：武さんに送ってもらったの。
- (1) うちを出る時、私は母に今日は遅くなると言いました。
(2) 武さんのうちへ行った時、CDを借りました。
- 武さんにセーターを編んであげるつもりです。
- マフラーしか編めません。
- (1) 良子：明日、銀河亭で待ち合わせをしましょう。
京子：その店はどこにあるんですか。
(2) 良子：明日、新宿駅の東口で待ち合わせをしましょう。
京子：あそこは人が多すぎるから、別の所にしましょう。

Ⅲ 本文

休日に佐藤武と会った吉田良子は、武に家まで車で送ってもらう。良子は帰宅後、一日の出来事などについて家族と話す。

● 本文1 武さんが送ってくれました。📺

[場面]

帰宅の時間が遅くなったため、武は良子を車でうちまで送る。良子は武に今日一日のお礼を言って帰宅し、母親に今日一日の出来事を話す。

[使用文型]

文型 1、2、3

①

②

③

③

よしこ
良子：
たけし
武：
よしこ
良子：

たけし
武：
よしこ
良子：
たけし
武：

よしこ
良子：

母：

よしこ
良子：

母：

① だいじょうぶ。

「今朝、うちを出

② じゃ、また来週

来週会うことが
で「じゃ、また
い場合) などの

③ おやすみなさい

おやすみ。

二つの表現は寝
わりに使う。

ありがとう。

いる内容について述べ

は帰宅後、一日の出

は武に今日一日のお礼

○武と良子のうちどちらが好意の与え手でどちらが受け手かを理解させる。

【語彙・表現】

よしこ 良子：今日はとても楽しかったわ。送ってくれてどうもありがとう。

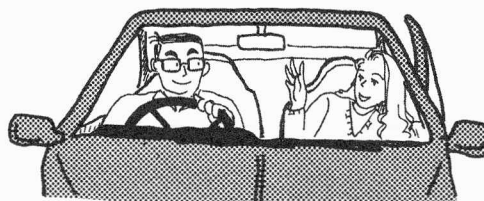
たけし 武：遅くなってしまったね。

① よしこ 良子：だいじょうぶよ。今朝、うちを出る時、遅くなるって
言っておいたから。

② たけし 武：じゃ、また来週。

③ よしこ 良子：おやすみなさい。

③ たけし 武：おやすみ。



よしこ 良子：ただいま。

母：おかえりなさい。ずいぶん遅かったのね。

たけし 武さんに送ってもらったの？

よしこ 良子：ええ。今日はディズニーランドへ行って、そのあと六本木で
夕食をごちそうしてもらったの。

母：まあ、たけし 武さんはいつもよしこにごちそうしてくれるのね。

① だいじょうぶよ。今朝、うちを出る時、遅くなるって言っておいたから。

「今朝、うちを出る時、遅くなるって言っておいたから、だいじょうぶよ。」の倒置である。

② じゃ、また来週。

来週会うことがはっきりしている相手に対して、別れ際に言う表現である。第25課本文2で「じゃ、またね。」を学習した。「また明日。」「また今度。」(次に会う日がいつかわからない場合)などの表現も合わせて紹介するとよい。

③ おやすみなさい。

おやすみ。

二つの表現は寝る時に言うあいさつであるが、夜遅く人と別れる際にも「さようなら」の代わりに使う。

●本文2 武さんにセーターを編んであげるつもりです。📺

[場面]

本文1の続きで、武へのお礼について、良子は母や弟と話をします。

[使用文型]

文型4、5

[語彙・表現]

- 母：^{よしこ}良子、お礼に、今度武さん^{たけし}をうちに呼んで、いっしょに食事を
しましょうよ。
- ① 良子：^{よしこ}そうね。それに、もうすぐ武さん^{たけし}のお誕生日だから、
セーター^あを編んであげようかな。
- ② 弟：^{ねえ}お姉ちゃんはマフラーしか編んだことがないじゃない。
- ③ 良子：^{よしこ}まあ、失礼ね。

①それに、もうすぐ武さんのお誕生日だから、セーターを編んであげようかな。
ひとりごとのように自分自身に問いかける表現である。

②お姉ちゃんはマフラーしか編んだことがないじゃない。

「編んだことがないでしょう。」と同じ意味である。「ないじゃない」のイントネーションに注意する。

③まあ、失礼ね。

親しい人からかわれて気分を害した時に女性が言う表現である。目上の人に言うと失礼になるので注意する。

●本文3 あの店

[場面]

本文2の続き

[使用文型]

文型6

○この会話の語彙

[語彙・表現]

① 母：
② 良子：
母：


③ 父：

④ 良子：

弟：

父：

弟：

●本文3 あの店、覚えてる？ 

[場面]

本文2の続きで、良子は武と行ったレストランについて家族と話をする。

[使用文型]

文型6

○この会話の話題となっている「銀河亭」を、誰が知っていて誰が知らないかを理解させる。

[語彙・表現]

- ① 母：^{ろっぽんざ}六本木のどこで食事をしたの？
- ② 良子：^{よしこ}銀河亭^{ぎんがてい}っていう古くてすてきなレストランよ。
母：あら、^{ぎんがてい}銀河亭？知^{わか}っているわ。昔お父^{むかし}さんによく連^つれて行^いって
もらったのよ。
- ③ ねえ、お父さん、あの店、覚えてる？
父：うんうん、あそこへはよく行^つったなあ。
あのころあの店は人気があって、いつも込^こんでいたね。
^{よしこ}良子：今日も満員^{まんいん}だったわ。
- ④ 弟：僕もその店へ行^いってみたいなあ。どんな所なの、そこ。
父：そこはね、最近^{ちか}のレストランとは少し違^{ちが}うんだよ。
クラシック^{かん}な感じなんだ。
弟：へえ。今度、僕も連^つれて行^いってよ。



①六本木のどこで食事をしたの？

「来月のいつ」「このクラスの誰」なども合わせて紹介する。

②銀河亭っていう古くてすてきなレストランよ。

第19課本文2で「山崎伸ちゃんという3歳の男のお子さんが～。」を学習した。これはその縮約形である。

③ねえ、お父さん、あの店、覚えてる？

家族や友達などに親しみを込めて呼びかける表現である。

④どんな所なの、そこ。

「そこ（は）、どんな所なの？」の倒置である。

Ⅳ 文型

1. 母：誰がこの写真を撮ってくれたの？

武：京子さんが撮ってくれたんだ。

・好意の授受を表す「～てくれる。」を学習する。物の授受を表す「くれる」は第25課文型4で学習した。

・好意の与え手と受け手の関係は、「くれる」と同様である。[第25課文型4参照]

1. 第三者 $\xrightarrow{\text{(好意)}}$ 「私」あるいは「私の家族」 …例文1)、2) (ワンの発話)、3)、4)

2. 第三者 $\xrightarrow{\text{(好意)}}$ 話している相手 …例文2) (リーの発話)

・「～てくれる」は動詞によって伴う助詞が違うので、学習者が混乱しないように、動詞を整理して次の3つの形を教える。

1. 「(好意の与え手) が (受け手) に～てくれる。」 ……例文1)、2)

<動詞> 教える、書く、貸す、ごちそうする、(物を) 送るなど

2. 「(好意の与え手) が (受け手) を～てくれる。」 ……例文3)

<動詞> (人を) 送る、(人を) 連れて行く (人を) 迎えに来るなど

3. 「(好意の与え手) が (受け手) の (物・こと) を～てくれる。」 ……例文4)

<動詞> (宿題を) みる、(荷物を) 持つ、(仕事を) 手伝うなど

ただし、同
ように、「
のように「

助詞と動詞

・「(好意の与

を省略した

合は省略し

指導する。

・「～てくれ

するといっ

➡ 練習 a

⇨ 巻末「あ

2. 母：誰に送

良子：武さん

・好意の授受

型4で学習

・「～てもら

れる。」に

「(受け手

手) に」の

・「～てもら

練習 b のよ

・「貸す」「

(着物を) 貸

りてもらい

する前にそ

➡ 練習 b

⇨ 巻末「あ

ただし、同じ「送る」という動詞であっても「(人)に(物)を送る」場合は、例文2)のように、「ワンさんにいろいろな物を送ってくれるのね。」となるのに対して、前ページ2)のように「(人)を送る」場合は「武さんが私を送ってくれました。」となる。このように助詞と動詞が必ず1対1の対応をするものばかりではないので、注意する。

- ・「(好意の与え手)が(受け手)に~くれる。」の受け手が「私」の場合は「私に」の部分を省略したほうが自然である。しかし、受け手が「私の家族」や「話している相手」の場合は省略しないことの方が多いので、1~3の助詞と動詞の組み合わせが定着するように指導する。
- ・「~てくれる。」は与え手に視点があるので、練習aのように与え手の好意を受け、感謝するといった練習をするとよい。

➡練習a

⇨ 巻末「あげる、もらう、くれる」参照

2. 母：誰に送ってもらったの？

良子：武さんに送ってもらったの。

- ・好意の授受を表す「~てもらう。」を学習する。物の授受を表す「もらう」は第24課文型4で学習した。
- ・「~てもらう。」は「~てくれる。」同様何らかの恩恵にあずかった時使われる。「~てくれる。」には、受け手が「私」「自分の家族」「話している相手」という制約があるが、「(受け手)は(好意の与え手)に~てもらう。」にはこのような制約がない。また「(与え手)に」の部分は、どの動詞でも変わらない。
- ・「~てもらう。」は、受け手に視点があり、依頼したというニュアンスを含むことから、練習bのように、人に頼んで何かをしてもらうといった練習をするとよい。
- ・「貸す」「借りる」「見せる」など方向性のある動詞は例文2)「(私は)日本人の友達に(着物を)貸してもらいました。」と言うべき時に、「(私は)日本人の友達に(着物を)借りてもらいました。」というような誤用をしてしまうことが多い。「~てもらう」の練習をする前にそれぞれの動詞の意味、使い方を確認しておくとうい。

➡練習b

⇨ 巻末「あげる、もらう、くれる」参照

3. (1) うちを出る時、私は母に今日は遅くなると言いました。
 (2) 武さんのうちへ行った時、CDを借りました。

- ・ある動作が完了する前の時点を表す「(行く)時」と、ある動作が完了した後の時点を表す「(行った)時」を学習する。
- ・どんな時かを限定して言う表現「～時」(「講義がよくわからない時は、友達に聞きます。」)は第13課文型9で学習した。

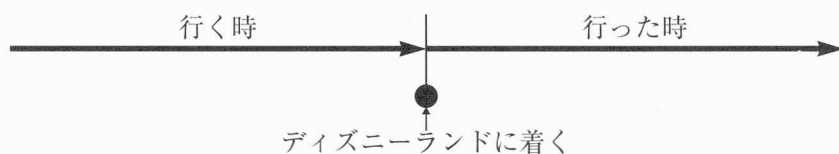
- ・「行く時」と「行った時」の違いを例文と図で示すと次のようになる。

例1) ディズニーランドへ行く時、京葉線に乗ります。／ました。

(ディズニーランドへ行く前の出来事)

例2) ディズニーランドへ行った時、ミッキーマウスの写真を撮ります。／撮りました。

(ディズニーランドでの出来事)



- ・学習者は「行った」という形にとらわれて、「明日、デパートへ行った時、買うつもりです。」のような未来に起こることを表す文の中で使われるものが理解しにくいようである。この「行った時」は過去の事実を表しているのではなく「デパートへ行く」という動作が完了した時という意味である。
- ・ここでは「行く」「来る」「帰る」「出る」など、移動を表す動詞に限って練習する。

4. 武さんにセーター

- ・好意の授受を表現する
 - ・相手のために何かをする
 - ・荷物を持つ
 - ・がましい印象を
 - ・をすべて満たす
 - (1)場面
 - (2)人間関係
 - (3)行為の内容
 - ・相手に直接言
 - ・文型1「～て
- ⇒ 巻末「あげる

5. マフラーしか編

- ・物事の範囲や程度を限定する
- ・限定する表現
- ・「だけ」は
- ・例文1)、2)の
- ・詞+しか～ま
- ・お酒がグラス
- ・苦手な人は「
- ・「も」を使うか
- ・で既出である。

4. 武さんにセーターを編んであげるつもりです。

- ・好意の授受を表す「～てあげる」を学習する。物の授受を表す「あげる」は第24課文型3で学習した。
- ・相手のために何かすることを申し出る場合でも、「今度、私の国の料理を作ってあげます。」や「荷物を持ってあげましょうか。」など、相手に直接「～てあげる」を使うと押しつけがましい印象を与えることがある。この教科書では、次の三つの基準を設定し、この三つをすべて満たす内容のものを例文として取り上げた。
 - (1)場面 行為を受ける相手がある場にいる。
 - (2)人間関係 友達や家族に限る。
 - (3)行為の内容 相手が希望していることで、相手にとって負担が少ないこと。
- ・相手に直接言う場合は「持ちましょうか。」などの表現を使うように指導する。
- ・文型1「～てくれる」と同様、動詞によって助詞が変わるので注意する。

⇒ 巻末「あげる、もらう、くれる」参照

5. マフラーしか編めません。

- ・物事の範囲や程度を限定する表現「名詞+しか」を学習する。
- ・限定する表現は第7課文型7で「だけ」を既に学習している。この二つの表現は範囲や程度を限定するという意味で似ているが、「しか」が常に否定形を伴って使われるのに対して、「だけ」は肯定形でも使える。
- ・例文1)、2)のように程度が低いあるいは数量が少ないといったことを強調する時にも「名詞+しか～ません。」の形を使う。
- ・お酒がグラスに半分残っている時、お酒が好きな人は「半分しかない。」と言い、お酒が苦手な人は「半分もある。」と言うように話者の受けとり方によって、「しか」を使うか「も」を使うかが変わってくる。なお、「も」については第18課本文2と第24課本文2で既出である。

6. (1) 良子：明日、銀河亭で待ち合わせをしましょう。
京子：その店はどこにあるんですか。
- (2) 良子：明日、新宿駅の東口で待ち合わせをしましょう。
京子：あそこは人が多すぎるから、別の所にしましょう。

- ・文脈指示の「こ・そ・あ」を学習する。ただし、ここでは「こ」の系列は取り上げていない。
- ・話をしている人のどちらか一方が話題になっている事柄を知らない場合、「その店はどこにあるんですか。」のように「そ」の系列（「それ」「その」「そこ」）を使う。話をしている人がお互いに話題になっている事柄を知っている場合、「あの店はよかったですね。」のように「あ」の系列（「あれ」「あの」「あそこ」）を使う。

V 練習

● 練習 a

- ・文型1で学習した表現を使って練習する。

❶ ここでの会話は友人同士のものである。目上の人には「～くださってありがとうございました。」を使う。学習者の必要に応じてここで紹介してもよい。「～てくださいました。」は第29課文型2で学習する。

● 練習 b

- ・文型2で学習した表現を使って練習する。

❶ この課の目標

- ・上下の人間関係
- ・手紙の書式

❷ この課で学習する

1. 西田先生と奥田先生
(私は)西田先生と奥田先生
2. 先生の奥田先生
先生の奥田先生
3. 今、終わる
今、終わる
4. いろいろな
いろいろな

❸ 本文

アンジニ・ラタ
ジニを見舞う様

● 本文1 西田 [場面]

アンジニが

【使用文型】

文型1、2

○この本文で

りとりを中

❶ 萩原は女性の
分を男性の言

第29課

お見舞い

Ⅰ この課の目標

- ・上下の人間関係を理解し、待遇表現を使うことができる。
- ・手紙の書式を理解する。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 西田先生が(私に)花をくださいました。
(私は)西田先生に花をいただきました。
2. 先生の奥さんが洗濯をしてくださいました。
先生の奥さんに洗濯をしていただきました。
3. 今、終わったところです。
4. いろいろな人と日本語で話すようにしています。

Ⅲ 本文

アンジニ・ラタ(マレーシアからの留学生)が病気で入院する。アンジニの先生萩原がアンジニを見舞う様子やアンジニから萩原へのお礼の手紙が本文になっている。

● 本文1 西田先生が花をくださいました。📺

[場面]

アンジニが入院している病院に、萩原先生がお見舞いに来る。

[使用文型]

文型1、2、3

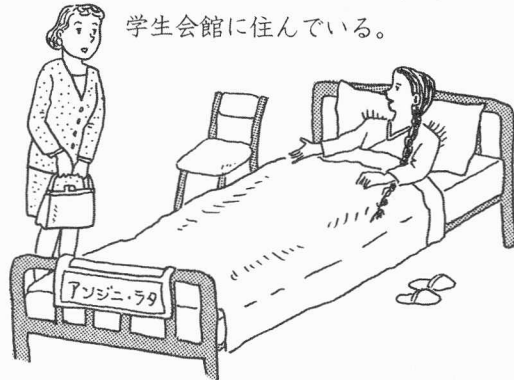
○この本文では、アンジニと萩原、西田、遠藤との上下関係と、その間で行われる行為のやりとりを中心に理解する。

📌萩原は女性のインフォーマルの言葉で話している。男性の学習者のことを考慮し、授業では萩原の部分を男性の言葉に置きかえて練習するとよい。

[語彙・表現]

萩原真由美……日本語学校の先生。

アンジニ・ラタ……日本語学校で勉強している学生。
学生会館に住んでいる。



萩原：アンジニさん、こんにちは。

アンジニ：あ、先生。

① ② 萩原：今、だいじょうぶ? お食事は?

アンジニ：今、終わったところです。

先生、どうぞそちらへ。

萩原：具合はどう?

③ アンジニ：おかげさまでもうだいぶいいんですよ。

④ ⑤ 萩原：そう、それはよかったわ。でもアンジニさんが入院したって
聞いた時は、本当にびっくりしたわ。

アンジニ：学生会館で急におなかが痛くなったんです。

⑥ 萩原：それで?

アンジニ：それで会館の遠藤先生がこの病院へ
連れて来てくださったんです。

⑦ ⑧

⑨



萩原：^{はぎわら}そう。大変だったわね。

あら、きれいなお花ね。

アンジニ：^{にしだ}西田先生がくださったんです。

萩原：^{はぎわら}そう。

⑦ ⑧

ところで、洗濯^{せんたく}はどうしているの？

アンジニ：^{えんどう}遠藤先生の奥さんがしてくださっているんです。

萩原：^{はぎわら}そう。

⑨

萩原：^{はぎわら}あ、そうだわ、これ、歌のテープ。アンジニさん、
歌が好きでしょ。

アンジニ：わあ、ありがとうございます。

萩原：^{はぎわら}じゃあ、そろそろ失礼するわね。

アンジニ：先生、今日は来てくださってどうもありがとうございました。

萩原：^{はぎわら}じゃあ、おだいじに。



① 今、だいじょうぶ?

体の具合を聞いているのではなく、今忙しくないかどうか、自分と話す時間はあるかを聞いていることを確認する。

② お食事は?

「もう終わりましたか。」が省略されている。

③ おかげさまでもうだいぶいいんですよ。

相手の気遣いに対して感謝の意を表す表現である。

例) A: 日本の生活に慣れましたか。

B: はい、おかげさまで。

のような使い方を紹介する。

④ そう、それはよかったわ。

「いい結果でよかった。」ということを表す表現である。

⑤ でもアンジニさんが入院したって聞いた時は、本当にびっくりしたわ。

第24課では「～って(言った)」を学習した。

「～って」が、「聞く」という動詞に接続するのはここが初出である。

⑥ それで?

相手の話の続きを促し、結果を聞く表現である。「それでどうなったのか」「それでどうしたのか」の意味である。

⑦ ところで、洗濯はどうしているの?

それまでの話題を断ち切り、新しい話題を持ち出す時の表現である。

⑧ ところで、洗濯はどうしているの?

習慣的にどう対処しているか質問する時の表現である。

⑨ あ、そうだわ、これ、歌のテープ。

何かを思い出した時に使う表現である。男性は「そうだ」となる。

● 本文2 お礼

[場面]

本文1でお礼

[使用文型]

文型4

○頭語、結語、

○一般的には

○この手紙は

もこの形式で

○封筒の書き方

[語彙・表現]

●本文2 お礼の手紙 

時間はあるかを聞い

【場面】

本文1でお見舞いに来てくれた萩原先生に対して、アンジニが書いたお礼の手紙である。

【使用文型】

文型4

- 頭語、結語、日付や名前の書き方など、基本的な手紙の形式をここで紹介する。
- 一般的には「拝啓」の後には時候のあいさつがくるが、この本文では省略されている。
- この手紙は目上の人に宛てて書いたものなので形式的であるが、友人に書く場合は必ずしもこの形式でなくてもよい。
- 封筒の書き方についても紹介する。

【語彙・表現】

萩原真由美先生 <small>はぎわらまゆみ</small>	六月三十日 <small>ろくがつ三十日</small>	アンジニ・ラタ <small>アンジニ・ラタ</small>	敬具 <small>けいぐ</small>	先日はお見舞いに来てくださって、どうもありがとうございました。 外国で病気になってとても心細かったですが、看護婦さんや 周りの人がみんな親切なので安心しました。日本語をを使ういい機会 なので、いろいろな人と日本語で話すようにしています。 先生がくださったテープ、毎日聞いています。日本語のいい勉強に なるので、退院するまでに歌詞を覚えるつもりです。 早く退院して、また元気に学校へ行きたいと思っています。 では、ほかの先生方にもよろしくお伝えください。
-----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

したわ。

「それでどうした

⑤

③

①

④

②

②

Ⅳ 文型

① 看護婦さんや周りの人がみんな親切なので、安心しました。

「ので」は第14課文型2で学習したが、ここでは「ので」の前の接続の形と、文末の形を制限して提出した。この文のような、「現在形+ので、～過去形。」の形はここが初出である。

② 日本語を使ういい機会なので、いろいろな人と日本語で話すようにしています。

日本語のいい勉強になるので、退院するまでに歌詞を覚えるつもりです。

この二つの名詞修飾は、修飾関係が複雑なので、学習者は意味がわかればよい。

③ 先生がくださったテープ、毎日聞いています。

テープの後に「を」が省略されている。

④ 先生がくださったテープ、毎日聞いています。

習慣を表す「～ている」の用法は初出である。ここでは意味がわかればよい。

⑤ では、ほかの先生方にもよろしくお伝えください。

「～たち」の丁寧な形である。「(誤)看護婦さん方」のような誤用が出やすいので、ここでは「先生方」のみ理解し使えるようになればよい。

1. 西田先生が(私
(私は)西田先

・相手が目上の

「もらう」は第

・この文型では

け手かという

・「課長は部長

ここでは取り

※このアンケー

子猫さしあげ

「さしあげる」

文意に表れる

と押しつけが

ましいという

参考として提

⇒ 巻末「あげる

2. 先生の奥さんが
先生の奥さんに

・相手が目上の

る」は第28

・第28課文型

例文は好意の

練習をする必

・例文4)のよう

「萩原先生、」

書を貸してく

・「～てさしあ

相手に対して

30課文型2

⇒ 巻末「あげる

Ⅳ 文型

1. 西田先生が（私に）花をくださいました。
（私は）西田先生に花をいただきました。

- ・相手が目上の人の時に使う表現「いただく」「くださる」を学習する。「もらう」は第24課文型4で、「くれる」は第25課文型4で学習した。
- ・この文型では、「私に」「私は」の部分は省略されることが多いので、誰が与え手で誰が受け手かということと両者の上下関係を確認する。
- ・「課長は部長に映画の切符をいただいたそうです。」のように、第三者同士の授受表現はここでは取り上げていない。自分と相手または自分と第三者の間での授受のみ練習する。

※このアンケートに答えてくださった方にコーヒーカップをさしあげます！

子猫さしあげます。

「さしあげる」は、一見丁寧な表現のようだが、「あなたのために」という話し手の好意が文意に表れるため「あなたにこの本をさしあげます。」のように相手に向かって直接言うのと押しつけがましい印象を与える。また、相手がその場になくても、同様に押しつけがましいという印象を伴いやすい。そこで、ここでは不特定多数に対して使われる場合のみ参考として提示した。学習者は、意味が理解できればよい。

⇒巻末「あげる、もらう、くれる」参照

2. 先生の奥さんが洗濯をしてくださいました。
先生の奥さんに洗濯をしていただきました。

- ・相手が目上の人の時に使う表現「～てくださる」「～ていただく」を学習する。「～てくれる」は第28課文型1で、「～てもらう」は第28課文型2で学習した。
- ・第28課文型1（～てくれる）では、助詞の使い分けを詳しく学習したが、ここに挙げた例文は好意の受け手を「私」に限っているので、無理に「私」を入れて助詞の使い分けの練習をする必要はない。
- ・例文4のように、目上の相手に直接お礼を述べる表現も練習するとよい。例文4)のリンの「萩原先生、」は呼びかけの表現である。学習者が間違えて、「(誤) 萩原先生は、先日は辞書を貸して下さってありがとうございました。」のように言わないように注意する。
- ・「～てさしあげる。」はこの教科書では取り上げていない。目上の人やあまり親しくない相手に対して何かをする場合は「お送りします。」「お持ちします。」のような謙譲語（第30課文型2）を使うよう指導する。

⇒巻末「あげる、もらう、くれる」参照

3. 今、終わったところです。

- ・たった今その行為が終了したという意味で使われる「～たところ」を学習する。
- ・この「ところ」には場所の意味はないことを確認する。
- ・ここで学習するのは、以下のような発話意図を持つものである。
 1. わずかな時間のすれちがいで、ある状況が成り立たなかったもの …例文1)、2)
 2. ちょうど都合よく、たった今ある状況が成立したもの …例文3)
- ・「～ているところ (検査をしているところです。)」は第33課文型3、「～るところ (始まるところです。)」は第35課文型3で学習する。

⇒ 巻末「～ところ」参照

4. いろいろな人と日本語で話すようにしています。

- ・努力していること、心がけていることを表す表現「～ようにしている」を学習する。
- ・例文1)「健康のために」は、ここで初出である。「ために」は第33課文型5で学習する。ここでは意味がわかればよい。

❶ 健康のためにしていることや、日本語の上達のために心がけていることなどを発表させるとよい。

Ⅰ この課の目標

- ・敬語を使つて
- ・親疎、社会的

Ⅱ この課で学習

1. A: 由美
B: いいえ
2. A: 由美
B: いいえ
3. すみませ

Ⅲ 本文

渡辺 (大学の助
る。後日三人が
テルを予約して

● 本文1 由美 [場面]

渡辺助教授

[使用文型]

文型1、2

- 佐々木由美
せん。「言
やいますか
係により、
ご家族」で
- 第25課本
て覚えて言

第30課

もう少し召し上がりませんか。

Ⅰ この課の目標

- ・敬語を使って電話で簡単な応対ができる。
- ・親疎、社会的立場での上下関係を理解し、適切な待遇表現を使って話すことができる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. A: 由美さんはいらっしゃいますか。
B: いいえ、由美は今おりませんが。
2. A: 由美さんはいらっしゃいますか。
B: いいえ、由美は今おりませんが。
3. すみませんが、ナプキンを取っていただけませんか。

Ⅲ 本文

渡辺（大学の助教授）がアルンとの約束の件で佐々木由美（日本語教師）のうちに電話をする。後日三人が会って、レストランで食事をしている様子と、田中実（会社員）が電話でホテルを予約している様子が本文になっている。

● 本文1 由美さんはいらっしゃいますか。☎

【場面】

渡辺助教授が佐々木のうちに電話をしている。

【使用文型】

文型1、2

- 佐々木由美の母が自分の家族である由美のことについて使っている表現（「由美」「おりません。」「言っておりました。」）と、渡辺が由美に使っている表現（「由美さん」「いらっしゃいますか。」「お帰りになりますか。」）の違いに着目させ、話題になっている人物との関係により、表現が変わることを理解させる。第11課文型1の「私の家族」「吉田さんのご家族」で家族の名称が違うことを学習したことを思い出させるとよい。
- 第25課本文1では相手呼び出す場面を学習したが、ここは相手が不在の場面の例として覚えて言えるようになるまで練習をする。

[語彙・表現]

①

渡辺：もしもし、佐々木さんのお宅ですか。

佐々木：はい、そうです。

渡辺：私、渡辺と申しますが、
由美さんはいらっしゃいますか。

佐々木：由美は今おりませんが。

渡辺：何時ごろお帰りになりますか。

佐々木：今日は、7時ごろ帰ると言っておりましたが。

渡辺：そうですか。じゃ、また、夜お電話いたします。

失礼します。

佐々木：失礼します。



[語彙・表現]

わたなべ
渡辺
ささき
佐々木
アルン

(駅で)
わたなべ
渡辺
ささき
佐々木

わたなべ
渡辺

アルン
ささき
佐々木

①

(タイ
ウエ-

②

ウエ-

②

ウエ-

(メニ
わた
渡

ささき
佐々
わた
渡

アル

①私、渡辺と申します。

この教科書では「私」の読み方は「わたし」で統一しているが、ここでは「わたし」の丁寧な表現として「わたくし」を取り上げた。また、「わたくしは渡辺と申します。」とは言わずに、助詞を省略して言うのが自然である。

●本文2 はじめまして。アルン・アマラポーンと申します。

[場面]

渡辺助教授の紹介で佐々木とアルンが初めて会い、レストランで食事をする。

[使用文型]

文型 1、2

- 登場人物の人間関係を確認してから本文の学習に入る。渡辺は佐々木とアルンより年上で、大学の助教授であるため、佐々木とアルンは渡辺に対して敬語を使っている。佐々木とアルンは初対面のため、お互いに敬語を使っている。また、ウエートレスは客である三人(渡辺、佐々木、アルン)に対して敬語を使っている。

[語彙・表現]

渡辺助教授……40歳ぐらい。大学で経済学を教えている。男性。

佐々木由美……30歳ぐらい。日本語教師。女性。

アルン・アマラポーン……25歳ぐらい。

タイの留学生で、大学院で経済を勉強している。

(駅で)

渡辺助教授：佐々木さん、こちらアルンさん。

佐々木由美：はじめまして、私、佐々木です。どうぞよろしく。

アルン：はじめまして。アルン・アマラポーンと

申します。どうぞよろしく。



渡辺：アルンさん、佐々木さんは今年の9月からタイで日本語を教えるんです。

アルン：タイへいらっしゃるんですか。

- ① 佐々木：ええ、そうなんです。それで、アルンさんにいろいろお聞きしたいと思って…。

(タイ料理のレストランで)

- ② ウエートレス：いらっしゃいませ。何名様でいらっしゃいますか。

渡辺：3人です。

ウエートレス：あちらへどうぞ。

渡辺：あのう、メニューをお願いします。

- ② ウエートレス：かしこまりました。



(メニューを見ながら)

渡辺：私にはよくわかりませんが、佐々木さんはどうですか。

佐々木：私もぜんぜんわかりません。

渡辺：アルンさんに任せますから、何か注文してください。

アルン：はい、わかりました。



佐々木：アルンさんはいつ日本へいらっしゃったんですか。

アルン：去年の10月です。

③ 佐々木：お一人で日本に住んでいらっしゃるんですか。

アルン：ええ、中野に一人で住んでいます。

佐々木：そうですか。

アルン：あ、佐々木さんはタイのどちらへいらっしゃるんですか。

佐々木：チェンマイです。

アルン：チェンマイはきれいでいい所ですよ。

①

アルン
佐々木

②

アルン
渡辺アルン
渡辺

アルン

①

アルン
渡辺アルン
佐々木

③

(出口)
佐々木

④

アルン

① それで、アルンさんにいろいろお聞きしたいと思って…。

相手の話の続きを促す「それで」は第29課で既習である。自分の状況を述べた上で、依頼や要望を述べる表現は初出である。ここでは意味がわかればよい。

② 何名様でいらっしゃいますか。

かしこまりました。

店などでよく耳にする表現である。ここでは意味がわかればよい。

③ お一人で日本に住んでいらっしゃるんですか。

「お二人」も紹介する。ただし、三人以上の場合は「(誤)お三人」のように言わないので注意する。

● 本文3 これ、もう少し召し上がりませんか。📺

[場面]

本文2の続きで、三人はレストランで食事をした後、別れのあいさつをする。

[使用文型]

文型1、2、3

○人間関係は本文2と同じである。

○食事をする時によく使う敬語の表現を使いこなせるようになるまで練習する。

[語彙・表現]

アルン：これ、もう少し召し上がりませんか。

①

佐々木：いただきます。

すみませんが、ナプキンを取っていただけませんか。

アルン：はい、どうぞ。先生もナプキンをお使いになりますか。

渡辺：あ、ありがとう。

アルン：先生、タイ料理は初めてですか。

②

渡辺：ええ、初めてです。辛いけどおいしいですねえ、タイ料理は。

アルン：お口に合ってよかったです。

先生、サラダ、もう少しいかがですか。

①

渡辺：ええ、いただきます。

アルン：佐々木さんにもお取りしましょうか。

佐々木：すみません。お願いします。



(出口で)

佐々木：今日はアルンさんとお会いできて

本当によかったです。

アルン：私もとても楽しかったです。

渡辺：アルンさん、今日は本当に
どうもありがとう。

アルン：いいえ、こちらこそ。

ごちそうさまでした。

じゃ、私はここで失礼します。

佐々木：失礼します。

③

④



① いただきます。

ええ、いただきます。

断る場合の「いいえ、(もう) 結構です。」も紹介する。

① ②

② 辛いけどおいしいですねえ、タイ料理は。

「タイ料理は辛いけどおいしいですねえ。」の倒置である。

③

③ いいえ、こちらこそ。

お礼を言われた場合に自分からも感謝の意を表したい時に使う表現である。ここでは意味がわかればよい。

②

④ ごちそうさまでした。

食事の後のあいさつと、ごちそうしてもらった後のあいさつとがあるが、ここでは後者の使い方である。

④ ③

③

● 本文 4 何時ごろお着きになりますか。📞

【場面】

電話で田中がホテルの予約をしている。

【使用文型】

文型 1、2

○ホテルのフロントは客である田中に対して敬語を使っている。

【語彙・表現】

おか うえ
丘の上ホテルの

① ②

フロント：はい、丘の上ホテルでございます。

田中 実：宿泊の予約をしたいんですが。

③

フロント：はい。いつのご予約ですか。

田中：10月2日から5日まで3泊したいんです。
2名です。

②

フロント：ツインの部屋でよろしいですか。

田中：はい、けっこうです。

フロント：今、お調べいたしますので、少々お待ちください。

田中：はい。

④ ③

フロント：お待たせいたしました。お取りできますので、お名前、

ご住所、お電話番号をお願いします。

田中：はい。名前は田中実です。住所は大阪府豊中市本町
3-22-1、電話番号は06-6370-3111です。

フロント：当日は何時ごろお着きになりますか。

田中：たぶん夜8時ごろだと思います。

フロント：はい、わかりました。では、お待ちしております。

ありがとうございました。



①はい、丘の上ホテルでございます。

「もしもし」の代わりに会社などで使う表現である。

②はい、丘の上ホテルでございます。

ツインの部屋でよろしいですか。

ここではそれぞれ「です」「いい」の丁寧な形として理解できればよい。

③いつのご予約ですか。

お取りできますので、お名前、ご住所、お電話番号をお願いします。

「ご予約」のように「ご」を伴うか「お名前」のように「お」を伴うかの規則は複雑なため、ここでは、それぞれの語について「ご」「お」を伴った形で覚えるように指導する。

④お待たせいたしました。

第19課本文1で学習した「お待たせ。」の丁寧な形で、客に対してよく使う表現である。

「お待たせしました。」もここで紹介する。

Ⅳ 文型

1. A：由美さんはいらっしゃいますか。

B：いいえ、由美は今おりませんが。

- ・ 尊敬語を学習する。
- ・ ここで敬語の使用を決定する要素は親疎と社会的立場での上下関係である。ここでは、これらの関係において敬意を払う対象を敬意対象者と呼ぶことにする。
- ・ 尊敬語は敬意対象者の行為に対して敬意を払う場合に使われる。まず、誰がどのような人に対して尊敬語を使うか確認してから、表現の学習に入る。
- ・ 尊敬語には「食べる→召し上がる」のように新たな動詞を用いる語と、「撮る→お撮りになる」のように形を変える語とがあるので、教科書p122、123の表を利用して十分練習してから、文型の学習に入る。
- ・ 「なさる→なさいます」のように、変則的な活用をするものがあるので注意して指導する。
- ・ それぞれの例文で敬意対象者と自分の関係（親疎、社会的立場での上下関係）は何か、動作主は誰で、誰から誰に敬意が払われているかを確認する。

➡ 練習a 練習b

2. A：由美さん
B：いいえ

・ 謙譲語を
・ 文型1と
る。

・ 謙譲語は

①お荷

②じゃ

①のよう

ずらわせ

間拝見し

・ 尊敬語と

123の表

・ それぞれ

作主は誰

・ 例文5)、6)

➡ 練習c

3. すみません

・ 丁寧な依頼

※すみません

「～てい

①「～もらえ

➡ 練習d

Ⅴ 練習

● 練習a

・ 文型1で学

・ 「お～くた

[解答例]

2. A: 由美さんはいらっしゃいますか。

B: いいえ、由美は今おりませんが。

- ・謙讓語を学習する。
- ・文型1と同様に、ここで敬語の使用を決定する要素は親疎と社会的立場での上下関係である。
- ・謙讓語は自分の行為について使う表現である。
 - ①お荷物お持ちしましょうか。
 - ②じゃ、(お宅に) 9時に参ります。
- ①のように自分が敬意対象者やその所有物に対して直接何かするか、②のように相手をわずらわせることをする場合に使われる。教師に対して学習者が「(誤) 昨日テレビを3時間拝見しました。」のような発話をしないように注意して指導する。
- ・尊敬語と同様に謙讓語も新たな動詞を用いる語と形を変える語があるので、教科書p122、123の表を利用して十分練習してから、文型の学習に入る。
- ・それぞれの例文で敬意対象者と自分の関係(親疎、社会的立場での上下関係)は何か、動作主は誰で、誰から誰に敬意が払われているかを確認する。
- ・例文5)、6)、7)、8)は尊敬語での質問に謙讓語で答える例である。

➡練習c

3. すみませんが、ナプキンを取っていただけませんか。

- ・丁寧な依頼の表現「～していただけませんか。」を学習する。
- ※すみませんが、ナプキンを取ってくださいますか。
 - 「～していただけませんか。」と同じ意味の表現として紹介するためにここに載せた。
- ①「～もらえませんか。」の形はこの教科書では取り上げていないので、ここで紹介してもよい。

➡練習d

Ⅴ 練習

● 練習 a

- ・文型1で学習した表現を使って練習する。
 - ・「お～ください」は第21課文型4で学習した。
- [解答例] 1.どうぞ、ご覧ください。 2.こちらでお待ちください。
3.どうぞ、お上がりください。 4.どうぞ、召し上がってください。

●練習 b

- ・文型1で学習した表現を使って練習する。
- ・3.「持つ」は「お持ちになる」という敬語の形になると「持って行く」という意味になるので注意する。

[解答例] 1. (おはしを) お使いになりますか。
2. (明日) 何時ごろいらっしゃいますか。
3. (傘を) お持ちになりますか。

●練習 c

- ・文型2で学習した表現を使って練習する。
- ・「～ましょうか。」は第9課文型3で学習した。
- ・練習bの「お持ちになりますか。」と練習cの「お貸ししましょうか。」は同じ場面だが、尊敬語と謙譲語の両方を使って二通りの言い方ができる。それぞれの動作主が誰か確認する。

[解答例] 1. (傘を) お貸ししましょうか。 2. お手伝いしましょうか。
3. (しょうゆを) お取りしましょうか。

●練習 d

- ・文型3で学習した表現を使って練習する。

[解答例] 1. すみませんが、辞書を貸していただけませんか。
2. すみませんが、写真を撮っていただけませんか。
3. すみませんが、この漢字の読み方を教えていただけませんか。

いろいろな敬語のページ (p121)

- ・本文、文型、練習以外の身近な敬語の用法を集めた。
- ・ここに挙げられた表現の意味がわかり、使えるように練習する。
- ・「和食にします。」のように「名詞+にする」の形で決めたことを相手に伝える表現はここで初出である。「動詞+ことにする」は第31課文型2で学習する。

▶ 敬語 (p122)

- ・文型の詳しい説明と〈特別な形〉
- ・「いる→いら〜」お撮りになる
- ・基本体は使う場合、また、基本体
- ・「参る」と「作
- 例) (教室で
- 先生: 言
- 学生: い
- ただし、こ
- ・「存じており
- ・「ご/お〜な
- の他に、「試着
- うな形もある
- 「ご/お〜な
- 伴わなくても
- ものがあるが、
- ・「ご/お〜す
- の他に「紹介
- を伴う形を学
- ・「お〜する」
- する」のよう

▶ 敬語 (p122、123)

- ・文型の詳しい学習に入る前にこの表を利用して、尊敬語と謙譲語の〈特別な形がある動詞〉と〈特別な形がない動詞〉の変化の規則を練習する。
- ・「いる→いらっしゃる」のような動詞は〈特別な形がある動詞〉としてまとめ、「撮る→お撮りになる」のような動詞は〈特別な形がない動詞〉としてまとめた。
- ・基本体は使う機会が少ないので、() 内に載せたです・ます体を覚えるように指導する。また、基本体からです・ます体に変える際、活用が変則的なものがあるので注意する。
- ・「参る」と「伺う」は場面によっては使い分けが必要な場合もある。

例) (教室で作業中に)

先生：誰かこっちへ来て、手伝ってください。

学生：はい、今すぐ

}	参ります。
	(誤) 伺います。

ただし、ここでは同じ意味として学習する。

- ・「存じております」の否定形は「存じません」の形で覚えるように指導する。
- ・「ご／お～なさる」の場合、「お」か「ご」かは動詞によって異なる。「ご試着なさいます」の他に、「試着なさいます」のように「お／ご」を伴わない形、「ご試着になります」のような形もあるがここでは「ご／お～なさる」を学習する。
「ご／お～なさる」となる動詞の中には「お電話(を)なさいます」のように、「を」を伴わなくてもいいものと、「お仕事をなさいます」のように「を」を伴わないと不自然なものがあるが、その使い分けはここでは学習しない。
- ・「ご／お～する」も「ご／お～いたす」も同じ意味として扱った。「ご紹介いたします」の他に「紹介いたします」のように「ご／お」を伴わない形もあるが、ここでは「ご／お」を伴う形を学習する。
- ・「お～する」の形の謙譲語は「お読みする」のように場面がわかりにくいもの、「お帰りする」のように、使われないものがあるので注意する。

社員：8月1日、9時10分発、東京発鹿兒島行き623便、
2名様でございますね。

斎藤：はい。ええと、5万8千円ですね。

社員：はい。どうもありがとうございました。

斎藤：あのう、飛行機に乗るのは初めてなんですが、

① 新宿から羽田空港へはどうやって行けばいいんですか。

社員：タクシーかモノレールですが。

斎藤：そうですか…。

② 社員：楽に座って行くなならタクシーですが、安く確実に行くななら
モノレールに乗るといいですよ。

斎藤：そうですか。

社員：荷物をたくさん持っていらっしゃるんですか。

斎藤：いいえ、荷物は少ないんですが、80歳の母を連れて行くんです。

③ 社員：それじゃ、タクシーのほうがいいですね。

斎藤：じゃ、タクシーで行くことにします。

社員：タクシーでいらっしゃるなら、2時間ぐらい前に出たほうが
いいですよ。

斎藤：はい。



①新宿から羽田空港へはどうやって行けばいいんですか。

行き方を聞く時の表現である。「(場所)へはどうやって行けばいいですか。」の場所の部分を入れかえて練習するとよい。

②安く確実に行くなならモノレールに乗るといいですよ。

この表現は「安く行く」と「確実に行く」がひとつになったもので、この課で初出である。「紙に大きくきれいに書いてください。」などの例を挙げて説明するとよい。なお、い形容詞の副詞的な用法「薄く切ります。」は第12課文型4で、また、な形容詞の副詞的な用法「きれいにそうじをしてください。」は第9課文型7でそれぞれ学習した。

③それじゃ、タクシーのほうがいいですね。

「それでは」の口語体である。第27課本文1ではある事柄をうけて次の行動に移る時の表現「それでは」を学習した。ここでの用法は相手の話を聞いて何かを決めたり、提案したりするものである。

●本文2 空港に着いたら、チェックインしてください。

[場面]

本文1の続きで、羽田空港に着いてから飛行機に乗るまでの手続きなどについて斎藤が旅行会社の社員に質問している。

[使用文型]

文型3、4

① 空港に着く→チェックイン→危険物の検査→出発待合室という流れを押さえながら新出語を導入し、本文の学習に入るとよい。

[語彙・表現]

斎藤：空港に着いたら、どうすればいいんですか。

社員：着いたら、すぐに航空会社のカウンターでチェックインしてください。それから荷物も預けます。

斎藤：機内に持ち込めないんですか。

社員：カメラや小さいハンドバッグのほかに1個だけは持ち込めますが、それ以外は預けることになっています。

① 斎藤：向こうに着いたらすぐに受け取れますか。

社員：はい、もちろんです。

斎藤：チェックインが済んだら、どうするんですか。

② 社員：危険物を持っていないかどうか簡単な検査をします。それから、出発待合室へ行ってください。

③ 斎藤：乗り遅れることはありませんか。

社員：だいじょうぶです。出発の時間が来たら係員が案内してくれますから。

斎藤：わかりました。どうもありがとうございました。

社員：いいえ。では、お気をつけて。




① 向こうに着いたら

鹿児島を指して

② 危険物を持って

「留学生がいるか
〜。」はここで初
現になっている。

③ 乗り遅れること

「電池の方向をま
こでは不安な点

●本文3 下の景

[場面]

鹿児島行きの

[使用文型]

文型5、6、

① 機内アナウンスの
ばよい。

[語彙・表現]

(機内で
スチュワ

斎藤：お
母：ネ
斎藤：延
も
母：ネ
斎藤：今

①

① 向こうに着いたらすぐに受け取れますか。

鹿児島を指していることを確認する。

② 危険物を持っていないかどうか簡単な検査をします。

「留学生がいるかどうかわかりません。」は第20課文型3で学習した。「否定形+かどうか～」はここで初出である。「持っていない。」ことが当然の状態であるため、このような表現になっている。

③ 乗り遅れることはありませんか。

「電池の方向をまちがえると、こわれることがあります。」は第26課文型3で学習した。ここでは不安な点を確認する表現として使われている。

● 本文3 下の景色が見えますか。📺

[場面]

鹿児島行きの飛行機の中での斎藤と斎藤の母の様子が本文になっている。

[使用文型]

文型5、6、7

① 機内アナウンスの部分は、臨場感を出すために載せた。決まった表現としてほしいの内容がわかればよい。

[語彙・表現]

(機内で)

スチュワーデス：みなさま ほんじつ に ほんつばきこうくう を ご利用 いたしまして、
ありがとうございます。ただいまからこの623便は
鹿児島空港かごしまくうこうに向けて出発むいたします。お座席ざせきのベルトは
しっかりとお締めしになり、おたばこさんえんのサインが
消えるまで、しばらくご遠慮えんりょくださいませ。

斎藤さいとう：お母さん、ほら、下の景色けしき、見える？

母：ええ、ええ。

斎藤さいとう：建物たけものがあんなに小さくて、マッチ箱まっちばこのようだなあ。

もう海の上だ。ほら、船ふねが見えるよ。

母：ええ、まるでおもちゃみたい。

① 斎藤さいとう：今日はいい天気あまでよかったね。



Ⅳ 文型

1. 安く確実に行く

- ・動詞の現在形は、味を持つ「～な
- ・ここで扱って
- ・段を選ぶことを「～ら」の特徴を

1. 相手の希

述べる。

例) A

E

2. 相手の希

のアド

例) A

E

・例文1)、2)のよ

➡練習a

⇨巻末「～なら

2. タクシーで行く

・動詞の基本形

習する。

・ここでは下の二

1. 「タクシ

今、

2. 「タクシ

前に

母：これは何ですか。

② スチュワーデス：それはイヤホンでございます。音楽や落語が
お聞きになれます。

母：へえ！飛行機の中で落語が聞けるんですか。

② スチュワーデス：はい。それにあちらのスクリーンで
映画もご覧になれます。

母：ちょっと落語を聞いてみましょう。

スチュワーデス：どうぞ。

③ 母：どれどれ…。音が小さくて
よく聞こえませんよ。

スチュワーデス：このつまみを右に回せば
大きくすることができます。

母：ああ、今度はよく聞こえます。

④ スチュワーデス：どうぞごゆっくりお楽しみください。

母：本当に便利になりましたねえ。



① 今日はいいい天気でよかったね。

この「で」はよかった理由を表す表現で、ここで初出である。ここでの用法は過去形「よかった。」を伴って、前から心配していたことがよい結果や状態になって安心したり、喜びを表したりするものである。初めて行くホテルに到着した客が「きれいなホテルでよかった。」と言うような例を挙げて説明するとよい。

② 音楽や落語がお聞きになれます。

それにあちらのスクリーンで映画もご覧になれます。

敬語の可能形はここで初出である。

③ どれどれ…。

何かを確認したり、試してみたりする時に言う言葉で、年配の人が使う表現である。

④ どうぞごゆっくりお楽しみください。

ここでは慣用的表現のひとつとして意味が理解できればよい。この他にレストランなどで使われる「どうぞごゆっくりお召し上がりください。」などを紹介してもよい。

Ⅳ 文型

1. 安く確実に行くならモノレールに乗るといいです。

- ・動詞の現在形に接続して条件を表す「～なら」を学習する。名詞に接続して取り立ての意味を持つ「～なら」(「ピアノなら弾けます。’)は第22課文型3で学習した。
- ・ここで扱っている「なら」は、「あなたが[前件]を実現させたいなら、[後件]という手段を選ぶことを私は提案する。」というような用法のものである。例文で取り上げた「なら」の特徴をまとめると以下ようになる。

1. 相手の希望に対して前件でいろいろ仮定し、後件で話者のアドバイス、提案などを述べる。 …例文1)、2)

例) A: 羽田へ行きたいんですが、どうやって行けばいいでしょうか。

B: 安く確実に行くならモノレールですが、楽に座って行くならタクシーのほうがいいですよ。

2. 相手の希望がはっきりしていて、前件で相手の希望を引き継いで述べ、後件で話者のアドバイス、提案などを述べる。 …例文3)、4)

例) A: 羽田へ、安く確実に行きたいんですが、どうやって行けばいいでしょうか。

B: 安く確実に行くならモノレールがいいですよ。

- ・例文1)、2)のようにアドバイスを述べる場合は「よ」をつけて言うように指導する。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「～なら」参照

2. タクシーで行くことにします。

- ・動詞の基本体現在に接続し、ある事を決心したことを表す表現「～ことにします。」を学習する。
- ・ここでは下の二つの場合を練習する。
 1. 「タクシーで行くことにします。」
今、その場で初めて決めた場合 …例文1)
 2. 「タクシーで行くことにしました。」
前に決めたことを言う場合 …例文2)、3)

3. 空港に着いたら、すぐにチェックインしてください。

- ・条件を表す「たら」を学習する。
- ・条件表現「たら」の用法は多岐にわたっているが、代表的なものを整理してみると、以下のようになる。

- (1) 「空港に着いたらチェックインをしてください。」「出発時間が来たら係員が案内します。」のように、前件に仮定性があまりなく、時間の経過にしたがって当然実現する事柄を述べているもの。
- (2) 「雨が降ったら行きません。」「もし、万一乗り遅れたら、すぐカウンターの係員に言ってください。」のように、将来のことを仮定して述べる性質の強いもの。
- (3) 「もしあの時、モノレールに乗っていたら、間に合ったかもしれない。」のように、現実と反することを仮定して述べるもの。
- (4) 「と」や「ば」に置きかえられるもの。他の条件の表現としてこれまでに「コーヒーに砂糖を入れると甘くなります。」[第12課文型6参照]「練習すれば上手になります。」[第22課文型4参照]を学習したが、これらは「コーヒーに砂糖を入れたら甘くなります。」「練習したら上手になります。」のように「たら」を使って言いかえることができる。その場合、「たら」を使った方が、より口語的でだけた言い方になる。

ここでは、上記(1)の時間の経過にしたがって前件が自然に実現するような「たら」の用法を学習する。なお、(2)(3)(4)はこの教科書では取り上げていない。

上記(1)~(4)以外の「たら」の表現として、「駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。」のように既定の事実を驚きの気持ちで表現する用法を第32課文型5で学習する。

➡ 練習b

⇨ 巻末「たら」参照

4. 大きい荷物は預けることになっています。

- ・規則や慣例を述べる表現「～ことになっています。」を学習する。
- ・「～ことになっています。」は「～なくてはいけません。」「～てはいけません。」より婉曲的で丁寧な表現である。ここで学習する用法は、客などに対して注意したり、規則を説明したりするものである。規則(禁止)を説明する時には「～しないことになっている。」(「小学生以下のお子さんは乗れないことになっています。」)ではなく、例文4)「～できないことになっている。」(「小学生以下のお子さんは乗れないことになっています。」)のように可能の否定形を使った例文を取り上げた。
- ・学習者がこの表現を使う機会はありませんと多々思われるので、ここでは学習者が使用場面と意味を理解できればよい。

5. まるで、おもちゃ

- ・比喩の表現「よ
 - ・ここでは、感動
 - ・「ロボットがま
 - 詞や形容詞に接
- ⇨ 巻末「～よう

6. 音を大きくする

- ・人が意図的に物
- ・「(音)が大き
- 「(水)が止まる
- ある。[第26
- ※砂糖を入れると
- ※前はさしみが嫌
- 物や事柄の変化
- 現の違いを確認

7. 景色が見えます。音が聞こえます。

- ・対象物が感覚
- と「聞こえる」
- ・「見える」「聞
- 「見る」の可能
- あるいは聞こ
- ※大きい飛行機
- ※ウォークマンを
- 可能形(「見ら

5. まるで、おもちゃ $\left\{ \begin{array}{l} \text{のよう}{\underline{です}}。 \\ \text{みたい}{\underline{です}}。 \end{array} \right.$

- ・比喩の表現「ようだ」「みたいだ」を学習する。
- ・ここでは、感動したことを比喩を使って豊かに表現しようとする言い方として「～よう／みたいです（ね）」という言い切りの形のみを取り上げた。
- ・「ロボットがまるで人間のように歩いています。」や「紙のように薄いです。」のように動詞や形容詞に接続する形は第3 3 課文型2で学習する。

⇒ 巻末「～よう／みたい」参照

6. 音を大きくすることができます。

- ・人が意図的に物に働きかけてある状態にすることを表す「い形容詞／な形容詞＋する」を学習する。物の変化を表す「い形容詞／な形容詞＋なる」は第1 2 課文型5で学習した。
- ・「(音)が大きくなる」「(人)が(音)を大きくする」という対立は、第2 6 課で学習した「(水)が止まる」「(人)が(水)を止める」という自動詞と他動詞の使い分けと同様のものがある。[第2 6 課自動詞と他動詞参照]

※砂糖を入れると甘くなります。(第1 2 課5)

※前はさしみが嫌いででしたが、好きになりました。(第1 2 課5)

物や事柄の変化を表す表現と、人が意図的に物に働きかけてある状態にすることを表す表現の違いを確認するために載せた。

7. 景色が見えます。
音が聞こえます。

- ・対象物が感覚（それぞれ視覚、聴覚）の範囲内にとらえられることを表す動詞「見える」と「聞こえる」を学習する。
- ・「見える」「聞こえる」は「見る」「聞く」とは別の独立した動詞である。これとは別に「見る」の可能形「見られる」、「聞く」の可能形「聞ける」がある。可能形は、見よう、あるいは聞こうとする意志があれば、それがかなえられる条件がそろっていることを表す。

※大きい飛行機に乗ると、中で映画が見られます。

※ウォークマンを持っていれば、いつでも自分の好きな音楽が聞けます。

可能形（「見られる」「聞ける」）との違いを確認するために載せた。

V 練習

● 練習 a

・文型1で学習した表現を使って練習する。

● 練習 b

・文型3で学習した表現を使って練習する。

Ⅰ この課の目標

・迷惑に感じた

Ⅱ この課で学習

1. この雑誌に
2. 最近忙しい
3. せっかく誘
4. 後ろの人に
5. 駅に着いた

Ⅲ 本文

鈴木一郎（会社員）
りに行ったチンカ

● 本文 1 まだ

[場面]

喫茶店で鈴木

[使用文型]

文型1、2

① おみこしや浅草

第32課

お祭り見物

Ⅰ この課の目標

- ・ 迷惑に感じた体験を受身形を使って話すことができる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. この雑誌にいろいろ書いてあります。
2. 最近忙しい { ようです。
みたいです。
3. せっかく誘ってもらったのに、行けませんでした。
4. 後ろの人に押されました。
5. 駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

Ⅲ 本文

鈴木一郎（会社員）がチン（台湾からの留学生）を浅草のお祭りに誘っている様子と、お祭りに行ったチンが安部（会社員）にお祭りの感想を話している様子が本文になっている。

● 本文 1 まだ帰っていないようです。📞

【場面】

喫茶店で鈴木がチンをお祭りに誘う。安部も誘うことになり、電話をする。

【使用文型】

文型 1、2

- ① おみこしや浅草の写真などを準備するとよい。

[語彙・表現]

(喫茶店で)

鈴木一郎: チンさん、次の週末は何か予定がありますか。

チン: いいえ。まだ決めていませんが…。

鈴木: じゃあ、お祭りに行きませんか。

チン: お祭りですか。いいですね。

前から行きたいと思っていたんですよ。

鈴木: それはよかった。

チン: どこであるんですか。

鈴木: 浅草です。この雑誌にいろいろ書いてありますよ。

チン: へえ、3日間も続くんですか。

あっ、これ、おみこしですね。

鈴木: 見たことがあるんですか。

チン: はい。前にテレビで見ました。

楽しみだなあ。

あ、安部さんも誘いませんか。

鈴木: いいですね。でも、最近忙しいみたいですよ。

先週の日曜日にも会社で仕事をしたって言ってました。

チン: 日曜日も。大変ですね。

鈴木: ちょっと無理かもしれませんが、電話してみませんか。

チン: そうですね。

鈴木: ちょっと待っててください。

チン: どうでしたか。いましたか。

鈴木: いいえ。まだ帰っていないようです。

後で、もう一度電話してみます。

チン: 私も電話してみます。



①

②

③

③

③先週の日曜日
ちょっと待っ
「したと言っ

●本文2 駅

[場面]

鈴木といっ

[使用文型]

文型3、4

①お祭りの出店

[語彙・表現]

①

あべ
安部
チン
あべ
安部

チン

あべ
安部
チン

あべ
安部
チン

あべ
安部

②

チン

あべ
安部
チン

あべ
安部

①どこであるんですか。

物の存在する場所ではなく、行為の場所を表す「で」である。第17課文型6で「昨日大阪のデパートで火事があったそうです。」の形で既習である。


②楽しみだなあ。

ひとりごとのように自分の気持ちを述べる時使われる表現である。女性の場合は「わ」になるのでここで紹介する。

③先週の日曜日も会社で仕事をしたって言っていました。

ちょっと待っててください。

「したと言っていました。」と「待っていてください。」の縮約形である。

●本文2 駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

[場面]

鈴木といっしょにお祭りに行ったチンが、安部にお祭りの時の様子を話している。

[使用文型]

文型3、4、5

❶お祭りの出店の写真などを用意するとよい。

[語彙・表現]

① 安部：この前はせっかく誘ってもらったのに、すみませんでした。

チン：いいえ。最近、仕事が忙しいみたいです。

安部：ええ。

お祭りはどうでしたか。

チン：とってもおもしろかったです。

おみこしがすばらしかったです。

感動しました。

安部：そうですか。

チン：それから、出店がたくさんあって

にぎやかでした。

安部：何か買いましたか。

チン：ええ。焼きそばやアイスクリームを

買って食べました。おいしかったですよ。

安部：よかったですね。

② チン：でも、すごい人でした。

駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

安部：ああ、浅草のお祭りは人気がありますから。

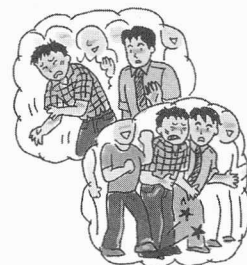
チン：街の中はどこも人でいっぱいでした。

おみこしを見ている間に、

後ろの人に押されたり、

隣の人に足を踏まれたりしました。

安部：それは大変でしたね。



6で「昨日大阪

合は「わ」にな

チン：それに、鈴木さんも子供にジュースを
こぼされてしまったんです。

あべ
安部：そうですか。

チン：でも、楽しい一日でした。

おみこしを見たり、出店で買い物をしたり…。

あべ
安部：そうですか。来年はぜひいっしょに行きましょう。

チン：そうですね。そうしましょう。



①この前はせっかく誘ってもらったのに、すみませんでした。

「せっかく誘ってもらったのに、行けなくてすみませんでした。」のように「行けなくて」が省略されていることを確認する。

②でも、すごい人でした。

ここでは人が多かったことを表している。

Ⅳ 文型

1. この雑誌にいろいろ書いてあります。

- ・人の動作の結果として物が存在する状態を視覚的にとらえて描写する表現「～である。」を学習する。この「～である。」は準備性や動作の意図が感じられるものではない。
- ・自動詞と他動詞の対応がある動詞は、下の例1)のように、動作の進行は「他動詞+ている。」の形で表し、動作の結果の状態は「自動詞+ている。」を用いて表す。

例1) ドアを開けている。(動作の進行)

ドアが開いている。(動作の結果の状態)

一方、自動詞と他動詞の対応がない動詞は例2)のように「～ている。」と「～である。」の形を使って表す。

例2) かばんを置いている。(動作の進行)

かばんが置いてある。(動作の結果の状態)

ここでは、例2)の用法の中で日常よく使われる「置いてある」「はってある」「書いてある」の三つに限って練習する。

- ・この表現では「書いてある」を体系的に引用する。
 - ・準備が完了した。
- ⇒ 巻末「～である」

2.

最近忙しい

- ・今ある状況を学習する。
- ・「みたい」の形容詞。
- ・名詞となる形容詞。
- ・「涼しそうでいる料理を見て、それに対し、「大勢並んでいる料理」。

①練習する場合は「～である」が割れている断を述べさせる。

⇒ 巻末「～である」

- ・この表現では主格を表す助詞は「かばんが置いてある。」のように「が」である。ただし、「書いてある」については例文2)の「1回3錠と書いてある。」のように書かれた内容を具体的に引用する場合には「と」を用いるので注意する。
 - ・準備が完了していることを表す「～である。」は第36課文型3で学習する。
- ⇒ 巻末「～である」参照

2.

最近忙しい	ようです。
	みたいです。

- ・今ある状況を根拠にして、話し手の主観的な判断を述べる表現「～ようだ。」「～みたいだ。」を学習する。
 - ・「みたい」のほうが口語的であること以外、「よう」も「みたい」も意味的な違いはない。
 - ・名詞とな形容詞に接続する時の形に注意して指導する。
 - ・「涼しそうです。」は第23課文型1、2、3で学習した。「～そうです。」は目の前にある料理を見て「おいしそうです。」と外見からの印象をそのまま述べる時に使われる。それに対し、「～よう／みたいです。」は、レストランに人が大勢並んでいるのを見て「なぜ、大勢並んでいるのか。」→「この店の料理はおいしいからだ。」と推量し、「このレストラン（の料理）はおいしいようです。」と自分の判断を述べる点で異なる。
- ① 練習する場合には泥棒が部屋に入った後の絵など、状況がとらえられるような物を用意し、「窓ガラスが割れている。」などの事実に基づいて「泥棒は窓から入ったようです。」というように学習者に判断を述べさせる練習をするとよい。

⇒ 巻末「～よう／みたい」参照

3. せっかく誘ってもらったのに、行けませんでした。

- ・期待や予想に反する事態を表す表現「～のに」を学習する。
- ・ここでは、次のような用法を練習する。

1. 一生懸命練習したのに、上手にならない。 …例文1)、2)
2. せっかく作ったのに、どうして食べないの? …例文3)
3. 始めてなのに、上手ですね。 …例文4)、5)

1.は自分が期待していたにもかかわらず、その期待に反した結果になったという失望の気持ちを述べる用法である。2.は自分が相手のために努力をしたにもかかわらず、相手の反応が自分の期待通りではなかった時の失望を表す用法で、「せっかく～のに～んですか。」という形を中心に練習する。3.は状況から自分が予想したことと、相手の行為や事実が大きく違った場合の驚きの気持ちを述べる用法で、例文4)のように後件によくない内容が来るものと、例文5)のようにいい内容が来るものを練習する。

- ・な形容詞と名詞の接続の形に注意する。

4. 後ろの人に押されました。

- ・受身形を学習する。
- ・この教科書では受身形を用いた表現は感情を伴う受身と感情を伴わない受身に大きく分け、ここでは前者を学習し、第33課文型1では後者を学習する。

(1) 感情を伴う受身

例) 私は犬に手をかまれました。

私は先生にほめられました。

(2) 感情を伴わない受身

例) インスタントラーメンは日本で初めて作られました。

ここでは(1)感情を伴う受身のうち「私は犬に手をかまれました。」のように、迷惑の感情が伴うものを取り上げた。「私は先生にほめられました。」のように恩恵の感情が伴うものは学習者に応じて紹介する。

- ・ここでは次の三つの用法について学習する。

1. (私は) 監督に叱られました。 …例文1)、2)、3)
2. (私は) 弟にカメラをこわされました。 …例文4)
3. (私は) 友達に來られて、勉強できませんでした。 …例文5)、6)、7)

1.は話し手に直接影響があった場合の用法である。2.は話し手の所有物や身体の一部に影響があった場合の用法で「(誤) 私のカメラは弟にこわされました。」のように自分の所有物は主語にできない。3.は自動詞の受身文で動作主である「友達」は迷惑をかけるつもりはなかったが、訪問を受けた話し手は友達が来たことを迷惑に思っている気持ちを表して

いる。そ
手を確認
・グループ
をしな
例) 和
今

・受身と
者に能動

①監督

②弟が

③友達

・「私は財
布を落と

→練習a

⇨巻末「5

5. 駅に着いた

・予想しな

・ここでは

意外なこ

予想外の

性を伴っ

⇨巻末「～

V 練習

練習a

・文型4で

いる。それぞれの用法を練習する際は、実際に動作を行った動作主とその影響を受けた相手を確認する。

- ・グループ2の動詞は受身形と可能形と形が同じなので、文の構造を理解し意味の取り違いをしないような練習をするとよい。

例) 私は兄にごはんを食べられました。(受身形)

今朝早く起きたのでゆっくり朝ごはんが食べられました。(可能形)

- ・受身文と能動文の対応は次の通りである。以下は教師用の参考として載せるもので、学習者に能動文から受身文を作るような練習をさせることは意図していない。

- ① 監督が私を叱りました。 → (私は) 監督に叱られました。
- ② 弟が私のカメラをこわしました。 → (私は) 弟にカメラをこわされました。
- ③ 友達が来ました。 → (私は) 友達に来られました。

- ・「私は財布を落しました。」のような自分がした行為について、学習者が「(誤) 私は財布を落とされました。」のように受身形を用いないように注意する。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「受身形」参照

5. 駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

- ・予想しなかったことが起こったという気持ちを表す「～たら」を学習する。
- ・ここでは「久しぶりに料理をしたら、指を切りました。」のように動作の結果、その場で意外なことが起こったことを表すものと、「デパートへ行ったら、休みでした。」のように予想外の出来事や状態を発見したことを表すものを学習する。どちらの場合も驚きや意外性を伴った表現である。

⇨ 巻末「～たら」参照。

V 練習

● 練習 a

- ・文型4で学習した表現を使って練習する。

第33課 工場見学

Ⅰ この課の目標

・インスタントラーメンの歴史や生産工程の簡単な説明を聞いて理解できる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. インスタントラーメンは1958年に日本で初めて作られました。
2. 紙 $\left\{ \begin{array}{l} \text{のように} \\ \text{のみたいに} \end{array} \right\}$ 薄いです。
3. 穴が開いていないかどうか検査をしているところです。
4. 検査は機械が自動的に行います。
5. 安全なカップを作るために、社員が研究しています。

Ⅲ 本文

留学生がインスタントラーメン工場に見学に行き、係の人からいろいろな説明を受ける。

● 本文1 日本で初めて作られました。📺

[場面]

留学生が校外学習でインスタントラーメン工場へ行き、説明を受けたり、工場内を見学したりしている。

[使用文型]

文型 1、2

はっとり
服部

学生
はっとり
服部
学生
はっとり
服部

学生
はっとり
服部

①

①

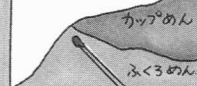
②

はっとり
服部

学生
はっとり
服部

[語彙・表現]

インスタントラーメンの生産量



服部：みなさん、こんにちは。
私は案内係の服部と申します。
見学の前に、インスタントラーメンについて少しご説明します。
みなさんは、よくインスタントラーメンを食べますか。

学生：はい。

服部：みなさんの国にもインスタントラーメンはありますか。

学生：はい。

服部：では、インスタントラーメンはどこの国で誕生したか
知っていますか。

学生：……………。

服部：日本です。昭和33年、1958年に
日本で初めて作られました。

この時作られたのは袋めんでしたが、

1971年にはカップめんが作られました。

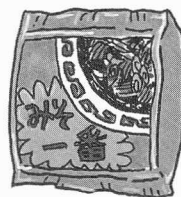
また、1971年に初めて外国へ輸出されました。

① 今では海外でも生産されるようになり、

インスタントラーメンは世界中で

食べられています。

今日は、カップめんの工場をいっしょに
見学しましょう。



①

①

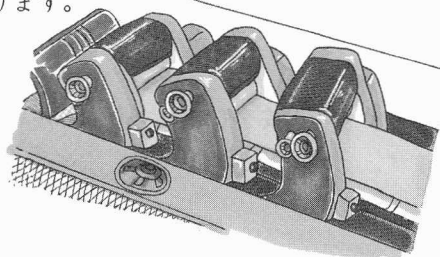
②

服部：小麦粉、塩などがミキサーで混ぜられ、あちらの機械で
のばされます。

学生：わあ、紙のように薄いですね。

服部：そうですね。だいたい1ミリぐらいの厚さになります。

この後、細く切ります。



①今では海外でも生産されるようになり、インスタントラーメンは世界中で食べられています。

小麦粉、塩などがミキサーで混ぜられ、あちらの機械でのばされます。

書き言葉でよく使われる連用中止の文である。ここでは話し言葉であるが、改まった場での説明の表現として使われている。意味はて形を使った場合と同じであることや使われる場面、連用中止の形を学習者に理解させる。

②小麦粉、塩などがミキサーで混ぜられ、あちらの機械でのばされます。

ここでは目の前で行われている作業の手順を説明しているので、文末が「～されます」という形になっている。[文型1参照]

●本文2 検査は機械が自動的に行います。

[場面]

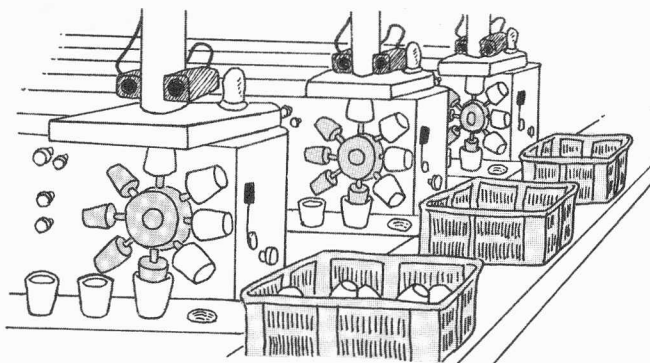
本文1の続きで、留学生が係の人に工場内の説明を受けたり、質問をしたりしている。

[使用文型]

文型3、4、5

[語彙・表現]

服部：^{はっとり}こちらでは、めんを入れるカップが作られています。
今、カップに^{あな}穴が開いていないかどうか検査をしているところです。
検査は^{きかい}機械が^{おこな}自動的に行います。



学生：カップめんにはいろいろな形のカップがありますね。
服部：^{はっとり}そうですね。ラーメンやうどんなど、めん^あに合わせて
カップが作られます。
また、食べやすく安全なカップを作るために、社員が^{けんきゆう}研究
しています。

①
②

①そんなに
「たくさん

②その中の
はっきり
などの言

IV 文型

1. インスタ

・第32
・ここで
(1)重
(2)屈
(3)物
・この受
形があ
取り上
た。」
に「あ
する時
ていま

⇒ 巻末

中で食べら

。放まった場での
使われる場面、

学生：日本には何種類しゅるいぐらいのカップめんがあるんですか。

服部：そうですね…。今は400種類しゅるい以上あると言われてます。

① 学生：そんなにたくさんあるんですか。

② 服部：ええ。その中の何種類しゅるいかはみなさんの国にも輸出ゆしゅつされていると
思いますよ。

① そんなにたくさんあるんですか。

「たくさんある」ということに驚いていることを強調する言い方である。

② その中の何種類かはみなさんの国にも輸出されていると思いますよ。

はっきりした数量は言えないが、あまり多くない数という意味である。「何人か」「いくつか」などの言い方も紹介するとよい。

Ⅳ 文型

1. インスタントラーメンは1958年に日本で初めて作られました。

- ・第32課文型4に続いて、受身形を学習する。
- ・ここで学習する受身形は、以下のようなものである。
 - (1) 動作主が不特定多数あるいは特定できない。
 - (2) 感情を伴わない。
 - (3) 物が主語になっている。
- ・この受身形には「(作ら)れます。」「(作ら)れています。」「(作ら)れました。」の三つの形があるが、ここでは「(作ら)れています。」「(作ら)れました。」を使った例文のみを取り上げた。「(作ら)れています。」は繰り返し行われることに使われ、「(作ら)れました。」は過去に行われたことに使われる。また「(作ら)れます。」は、本文1にあるように「あちらの機械でのばされます。」今、目の前で行われていることや作業工程を説明する時に使われる表現である。教室での練習の際には状況設定が難しいので、「(作ら)れています。」「(作ら)れました。」のみ練習する。

⇒ 巻末「受身形」参照

2.

紙	のように	薄いです。
	みたいに	

- ・第31課文型5で学習した「～ようです」「～みたいです」の後ろに名詞、形容詞、動詞が接続する形を学習する。
- ・例文3)のように、あるものを示すために似ていると思われるものを引き合いに出す用法も練習する。

例) テレビのようなもの…パソコンのディスプレイ

①小さい、という言葉形容する場合、

マッチ箱のように	} 小さい
ありのように	
子供のように	

のようにいろいろな形容のしかたが考えられる。また、国によって形容のしかたが違う場合もあるので、学習者の母語ではどう言うか発表させてもよい。

⇒ 巻末「～よう/みたい」参照

3. 穴が開いていないかどうか検査をしているところです。

- ・何かが進んでいる状態を表す「～しているところ」を学習する。
- ・「食べたところ」は第29課文型3で学習した。「始まる場所」は第35課文型3で学習する。
- ・「～しているところ」の使われ方は、「～している」とほとんど同じである。ここでは、例文1)のように「すみません。今、～しているところなので、もう少し待ってください。」のような使い方の練習をする。

⇒ 巻末「～ところ」参照

4. 検査は機械が

- ・動作主ではない
- ・第15課文型
- (「この部屋は」が「～は」で

①練習の際は「み

A: 野菜は?

B: 野菜は田

A: 料理は?

C: 料理は私

などの練習をす

5. 安全なカップ

- ・行為の目的を
- ・「名詞+のた
- ますか。)」で
- 介するとよい
- ・第27課文型
- で述べられて
- ことができな
- 例) 道に迷
- これに対し「
- る。
- 例) 海外旅
- ・「カップの安
- 法と混同しな

4. 検査は機械が自動的に行います。

- ・動作主ではなく、目的語に視点をおいて述べる言い方「～は～が～」を学習する。
- ・第15課文型7では文全体の主題を「～は」で示し、その説明を「～が」で示す表現（「この部屋は窓が大きいです。」）を学習した。ここで学習するのはそれとは違い、目的語が「～は」で示される用法である。

㊦練習の際は「みんなでカレーを作って食べる」というような場面を設定し、

A：野菜は？

B：野菜は田中さんが買います。

A：料理は？

C：料理は私がします。

などの練習をするとよい。

5. 安全なカップを作るために、社員が研究しています。

- ・行為の目的を表す「ために」を学習する。
- ・「名詞+のために」は第29課文型4の例文1（「健康のために注意していることはありますか。」）で既出である。教科書の例文にはないが、「名詞+のために」も例を挙げて紹介するとよい。
- ・第27課文型3で行為の目的を表す表現「～ように」を学習した。「～ように」は、前件で述べられている状態になることを目的にする時に使われ、自分の意志では直接操作することができない事柄が前件で述べられる。
 - 例) 道に迷わないように、あらかじめ場所を調べておきます。これに対し「ために」は、後件の動作主の行為あるいは意志が前件で目的として述べられる。
 - 例) 海外旅行をするために、貯金しています。
- ・「カップの安全性が問題になったために、社員が研究している。」のような原因を表す用法と混同しないように、授業で挙げる例文を作成する時は注意する。

第34課

毎日家の手伝いをさせました。

I この課の目標

- ・ある人物の生い立ちに関するインタビューを聞いて、理解できる。

II この課で学習する文型

1. 毎日練習ばかりしていました。
2. 広美に家の手伝いを させました。
3. 進路が決まらなくて心配しました。
4. 就職したらどうですか。

III 本文

テレビのインタビュー番組でマラソン選手の母が、娘について語っている。

● 本文 1 練習ばかりしていました。

[場面]

マラソン選手の母がインタビューに答え、娘の生い立ちについて話している。

[使用文型]

文型 1、2

○使役形は、上下関係がはっきりしている者の間で使われることが一般的である。この課の本文では使役形が使われる上下関係のひとつとして、親子の関係を取り上げた。

❶ 本文に入る前に、マラソンという競技について簡単に説明しておくとうい。

[語彙・表現]

まつもと
松本アナウンサー……インタビューする人。
たかだゆきえ たかだひろみ
高田幸枝……高田広美（マラソン選手）の母親。

①

まつもと
松本：今日のお客様は、マラソン選手高田広美さんのお母様、
たかだゆきえ
高田幸枝さんです。

②

たかだせんしゆ こくさいじよし たいかい にほんさいこう
高田選手は先日の国際女子マラソン大会で、日本最高のタイムで
みごと ゆうしょう
見事に優勝なさいました。

③

① 今日のお客様

第11課文型

インタビューとい

② 高田選手は

いました。

第30課では

によってはこ

ました。

今日は、高田選手の子供のころからマラソン選手になるまでの
お話を伺いたいと思います。

まつもと
松本：はじめまして。よろしく申し上げます。

たかだ
高田：こちらこそ。

まつもと ひろみ
松本：広美さんはどんなお子さんだったんですか。

たかだ ひろみ
高田：広美はとても元気な子でした。よく近くの川で魚をとったり
木に登ったりしていました。よく男の子に間違えられましたよ。

まつもと ひろみ りくじょう
松本：そうですか。広美さんが陸上を始めたのはいつですか。

たかだ ひろみ りくじょうぶ れんしゅう
高田：高校生のころです。広美の高校の陸上部は練習がとても
厳しかったんです。土曜日でも日曜日でも毎日練習ばかりしていました。

まつもと
松本：大変だったんでしょうね。

③ たかだ
高田：そうですね。大変だったと思います。学校の勉強もありましたから。

まつもと
松本：ああ、そうですね。

たかだ
高田：でも、私はスポーツや勉強だけではなく、ほかにも大切なことが
あると思っていました。だから、家では広美に毎日家の手伝いを
させました。

まつもと
松本：たとえば？

たかだ あら
高田：お皿を洗わせたり、洗濯をさせたりしました。

まつもと
松本：そうですか。



① 今日のお客様は、マラソン選手高田広美さんのお母様、高田幸枝さんです。

第11課文型1で「(吉田さんの)お母さん」という言い方を学習したが、ここでは、インタビューという場面に合わせて改まった言い方をしている。

② 高田選手は先日の国際女子マラソン大会で、日本最高のタイムで見事に優勝なさいました。

第30課では、「する」を伴う動詞の敬語は「ご(お)～なさる」の形で学習したが、動詞によってはこのように「ご(お)」をつけない形で使われることもある。

③大変だったと思います。学校の勉強もありましたから。

「学校の勉強もありましたから、大変だったと思います。」の倒置である。

●本文2 進路が決まらなくて心配しました。

[場面]

本文1に続き、マラソン選手の母が、娘がマラソン選手になるまでを話している。

[使用文型]

文型3、4

[語彙・表現]

- ① まつもと 松本：高校を卒業後、ひろみ 広美さんは体育大学に進学なさいましたね。
- ② たかだ 高田：ええ。あの時は、なかなか進路が決まらなくて本当に心配しました。
- ② ひろみ 私は「大学に行かないで、就職したらどう」と言っただのですが、ひろみ 広美は大学に行きたがっていました。
- ③ けっさく 結局、りくじょうぶ 陸上部の先生が、ひろみ 広美を体育大学に推薦して
④ くださった くださったんです。
- ③ まつもと 松本：そうだったんですか。
- ③ まつもと 松本：大学を卒業してから、マラソン選手として活躍するようになり
④ なりました ましたね。
- ③ たかだ 高田：ええ。大学に入学する時は、先生になると言っていたんですが、
④ 大学 大学にいる間に考えが変わったようです。
- ③ まつもと 松本：ご両親は、ひろみ 広美さんがマラソン選手になることに
④ はんたい 反対なさらなかったんですか？
- ③ たかだ 高田：初めは驚きましたが、ひろみ 広美が自分で決めたことですから、
④ はんたい 反対はしませんでした。
- ④ まつもと 松本：そうですか。これからも広美さんのご活躍を楽しみにしています。
④ けふ 今日はどうもありがとうございました。
- ④ たかだ 高田：ありがとうございました。



①高校を卒業後
ご両親は、広
本文1の②同様

②私は「大学に
きたがってい
第16課文型1

③大学を卒業し
目的を表す「と
る。「にとって
へ来ました。」

④これからも広
インタビューな

Ⅳ 文型

1. 毎日練習ばか

- ・何度も同じ
- ・「ばかり」
- いう二通りの
- いう状況で、
- 況の時に使わ
- り」が使われ
- ・例文1)~3)は
- る」はこの教
- と共に使われ
- ※夏休み中遊
- 目的語をと
- ばかりする
- する。

①「あの子はう
法もあるが、

①高校を卒業後、広美さんは体育大学に進学なさいましたね。

ご両親は、広美さんがマラソン選手になることに反対なさらなかったんですか。

本文1の②同様、「ご(お)」がつかない敬語の形である。

②私は「大学に行かないで、就職したらどう」と言ったのですが、広美は大学に行きたがっていました。

第16課文型1で学習した「～んです」の改まった言い方である。

③大学を卒業してから、マラソン選手として活躍するようになりましたね。

目的を表す「として」は第24課本文1で既出である。ここは、自分の立場を表す用法である。「にとって」「について」などと混同しやすい表現なので、「私は国費留学生として日本へ来ました。」などの例を挙げ、使い方を確認する。

④これからも広美さんのご活躍を楽しみにしています。

インタビューなどをしめくくる時に相手に対して言う表現である。

Ⅳ 文型

1. 毎日練習ばかりしていました。

- ・ 何度も同じことをしたり、同じ物を好んで取り上げたりする表現「ばかり」を学習する。
- ・ 「ばかり」には、「コーヒーばかり飲んでいる。」と「コーヒーを飲んでばかりいる。」という二通りの言い方がある。前者は飲み物がたくさんある中で、コーヒーを好んで飲むという状況で、後者は、例えば仕事をしないでいつもコーヒーを飲んでいるというような状況の時に使われる。ここで学習するのは前者で、「を」で表される目的語の部分に「ばかり」が使われるものである。
- ・ 例文1)～3)はいずれも「～ばかり～ている。」の形になっている。繰り返しを表す「～ている」はこの教科書では取り上げていないが(巻末「～ている」参照)、ここでは「ばかり」と共に使われる表現として理解させる。

※夏休み中遊んでばかりいたので、宿題が全部できませんでした。

目的語をとらない動詞の場合は、「て形+ばかりいる」の形になる。学習者は「(誤)遊ばばかりする」と間違えることが多いので、「遊んでばかりいる」の形で覚えるように指導する。

①「あの子はうちにばかりいて、あまり外で遊ばない。」のように、目的語以外に「ばかり」がつく用法もあるが、この教科書では取り上げていない。学習者に応じて紹介してもよい。

2. 広美に家の手伝いを させました。

- ・使役形を学習する。
- ・使役形には、人が人に強制的に何らかの動作をさせる時に使われる用法と許可を表す用法があるが、ここで学習するのは前者である。後者については第35課文型4などで学習する。
- ・ここでは、使役形を次の二つに分けた。

(1) AはBに…を<他動詞>～せる／させる

(2) AはBを<自動詞>～せる／させる

それぞれ助詞に注意して練習する。

(2)の用法の助詞に関しては、以下のような例外がある。

①「息子を大学に行かせる。」という文では、「を」だけでなく「に」もとることができる。ただし「に」をとる場合は文脈によって許可の意味にも解釈できるので、この課では「を」のみ練習する。

②場所を表す「を」をとる動詞で文中に場所を明示する場合は、動作をする者を表す助詞が「を」ではなく「に」になる。

例) 選手に公園を走らせる。(cf. 選手を走らせる。)

子供に歩道橋を渡らせる。(cf. 子供を渡らせる。)

ただし②については、この教科書では取り上げていない。

- ・グループ3の動詞のうち、後ろに「する」がつく動詞が使役形になった場合は、動作をする者を表す助詞が「に」になるものが多い。

例) 子供に毎日復習をさせます。

ただし、中には動作をする者を表す助詞が「を」になるものもある。ここでは、学習者に身近な「帰国する」と「留学する」を紹介する。

例) 子供を無理に帰国させました。

- ・第26課「自動詞と他動詞」で学習した動詞のうち、⑬～⑮については自動詞の使役形ではなく他動詞が使われることもあるので、学習者が次のような誤用を引き起こすような場面を設定しないように注意する。

例) 子供が起きる。→ (誤) お母さんは子供を起きさせる。

お母さんは子供を起こす。

- ・使役形は、自分以外の人に何らかの行為を強制するため、二者の関係は、親と子、上司と部下、監督と選手といった上下関係がはっきりしている者の間で使われることが多い。したがって練習の際には、状況設定に注意する。以下のような質問をして練習するとよい。

例) ・～さんの国では学校の先生は、学生にどんなことをさせますか。

・～さんの国では親は子供にどんなことをさせますか。

➡ 練習 a

⇨ 巻末「使役形」参照

3. 進路が決まら

- ・困っているこ
- を学習する。
- ・類似表現に第
- 覚えられなく
- とがある。「
- 「なくて」「な
- は不自然だと
- す。」のよう
- ・人がいるかい
- 例) 新しい
- ・前件に自分の
- (誤) 私に
- ⇨ 巻末「～て

4. 就職したらど

- ・話し手がその
- か)を学習す
- ・教科書の例文
- 上げた。話し
- には「～てみ
- 例1) (ベ
- 田中
- (マ
- 駅前
- 例2) (気
- (誤
- (誤
- 学習者が「

3. 進路が決まらなくて心配しました。

- ・困っていることや大変なこと、うれしかったことなどの理由を表す「～て」「～なくて」を学習する。
- ・類似表現に第21課文型1で学習した「～ないで」がある。前件が動詞の場合、「漢字が覚えられなくて困っています。」とも「漢字が覚えられないで困っています。」とも言うことがある。「困っている」「大変だ」のような、状態を表す言葉とともに使われる場合は、「なくて」「ないで」両方用いられることがある。しかし、個人の語感の差で、「ないで」は不自然だと感じる人もいるため、ここでは「～なくて困っています。」「～なくて大変です。」のような形で練習する。
- ・人がいるかいないかや物の有無を表す内容の場合は、必ず「なくて」の形をとる。
例) 新しいカメラが欲しいんですが、お金がなくて買えません。
- ・前件に自分の意志で変えられる内容が来ると不自然になるので注意する。
(誤) 私は教科書を持って来なくて困っています。

⇒ 巻末「～て (原因・理由)」参照

4. 就職したらどうですか。

- ・話し手がその状況を見て相手に勧めるなど、アドバイスの時に使う表現「～たらどうですか」を学習する。
- ・教科書の例文には「～たらどうですか。」と「～てみたらどうですか。」の二つの形を取り上げた。話し手がその提案を最良だと思っていない時や、曖昧な情報をもとに提案する時には「～てみたらどうですか。」が使われる。

例1) (ベトナム料理の作り方を知りたがっている人に)

田中さんに聞いてみたらどうですか。知っているかもしれませんよ。

(マレーシア語の辞書を探している人に)

駅前の大きい本屋に行ってみたらどうですか。あるかもしれませんよ。

例2) (気分が悪そうな人に)

医務室に行ったらどうですか。

(誤) 医務室に行ってみたらどうですか。

うちに帰ったらどうですか。

(誤) うちに帰ってみたらどうですか。

学習者が「～てみたらどうですか。」を使い過ぎないように注意する。

- ・「～たらどうですか。」は、相手に自分の考えを提案する形をとっている。「～たほうがいいです。」(第21課文型2)ほど自分の考えを押しつける印象はない。しかし、言い方によっては投げやりな印象を与えかねないので注意する。

V 練習

● 練習 a

- ・文型2で学習した表現を使って練習する。

① この課の目標

- ・相手に理由を説明する
- ・使役形を使う

② この課で学ぶ

1. 読めそう
読めそう
2. 講演会は
3. ちょうど
4. 今日の講
5. いくら読
6. もう読ん
7. いつでも
8. 忙しくな

③ 本文

安部 (会社員)
での様子と帰り

● 本文 1 走り

[場面]

待ち合わせ

[使用文型]

文型 1

○約束の時間

習を進める

○安部が謝っ

① p152の<謝

① 本文を学習

を設定して、

➡ 練習 a

第35課

お待たせしてすみませんでした。

Ⅰ この課の目標

- ・相手に理由を述べて謝ることができる。
- ・使役形を使って丁寧に許可を求めることができる。

Ⅱ この課で学習する文型

1. 読めそうです。
読めそうにありません。
2. 講演会はもう始まっていますか。
3. ちょうど今始まるところです。
4. 今日の講演を録音させていただきたいんですが…。
5. いくら読んでもわかりません。
6. もう読んでしました。
7. いつでもいいです。
8. 忙しくならなければ行きます。

Ⅲ 本文

安部（会社員）と富士川（会社員）は駅で待ち合わせをして、講演会へ行く。講演会の受付での様子と帰りの電車の中での二人の会話が本文になっている。

● 本文 1 走れば間に合いそうです。🚶

【場面】

待ち合わせの時間に遅れて来た安部が富士川に謝っている。

【使用文型】

文型 1

- 約束の時間に遅れた安部がどのように謝っているか、その表現や流れに着目させながら学習を進める。
- 安部が謝っている部分は覚えて言えるようになるまで練習する。
- ① p152の<謝り方>を使って、謝り方のひとつの形として流れを理解させるとよい。
- ② 本文を学習した後で、会う約束をしていたが急に都合が悪くなった、借りた物をなくしたなどの状況を設定して、応用練習をしてもよい。

➡ 練習 a

[語彙・表現]

(地下鉄の駅の出口で)

安部：遅くなってすみません。

富士川：いいえ。でも、どうしたんですか。

安部：霞ヶ関で間違えて反対方向へ行く電車に乗ってしまったんです。

富士川：そうですか。

安部：あわてて次の駅で降りたんですが、次の電車が
すぐに来なくて…。

富士川：それは大変でしたね。

① 安部：本当にお待たせしてすみませんでした。

② 富士川：いいえ。さあ、急ぎましょう。

安部：講演会は7時からですか。

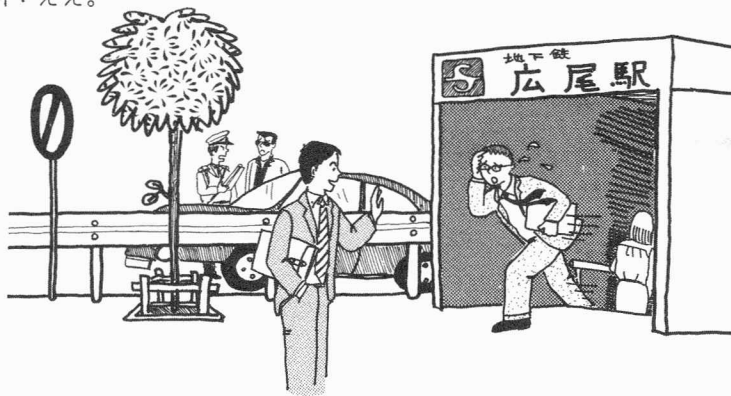
富士川：ええ。

安部：会場は近いんですか。

富士川：ええ、歩いて5分ぐらいです。

安部：じゃ、今、56分だから、走れば間に合いそうですね。

富士川：ええ。



①本当にお待たせしてすみませんでした。

人を待たせ、謝る時に使う表現である。この課で初出である。

②さあ、急ぎましょう。

他の人に行動を促す表現である。

<謝り方> (p152)

- ・自分が不都合なことをした場合、どうしてそうなったかの理由を述べる前に、とにかくまず謝るといふ謝り方の流れを理解させるために載せた。

●本文2 録

[場面]

講演会の受

[使用文型]

文型2、3

[語彙・表現]

(講)

富

受付

富

受付

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

富

①前の方

「方向」ある

●本文3 仕事

[場面]

帰りの電車

[使用文型]

文型5、6

● 本文2 録音させていただきたいんですが。📺

[場面]

講演会の受付で、富士川が録音の許可を求めている。

[使用文型]

文型2、3、4

[語彙・表現]

(講演会の受付で)

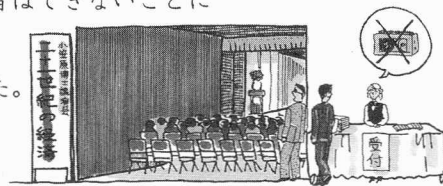
富士川：すみません。講演会はもう始まっていますか。

受付の人：いいえ。ちょうど今始まるところです。どうぞお急ぎください。

富士川：あのう、今日の講演を録音させていただきたいんですが…。

受付の人：申し訳ありませんが、録音はできないことになっていきますので…。

富士川：そうですか。わかりました。



(会場で)

① 安部：前の方は、もういっぱいですね。

富士川：そうですね。座れそうにありませんね。

安部：じゃあ、この辺に座りましょうか。

富士川：ええ。

① 前の方は、もういっぱいですね。

「方向」あるいは「その方向にあたる場所」という意味である。

● 本文3 仕事が忙しくなければ行きます。📺

[場面]

帰りの電車の中で、安部と富士川が講演会の感想などを話している。

[使用文型]

文型5、6、7、8

(帰りの電車の中で)

安部：今日の講演はとてもわかりやすかったですね。

富士川：そうですね。

安部：経済問題は本当に複雑で、今まで、いくら本を読んでもよくわからなかったんです。

富士川：そうですか。

安部：でも、今日の先生の話はとてもよくわかりました。

富士川：そうですね。あのう、これ、今日の先生が書いた本なんですが、読みましたか。

安部：いいえ。『わかりやすい経済』ですか。

富士川：読んでみますか。

安部：ええ。

富士川：じゃ、どうぞ。私はもう読んでしまいましたから。

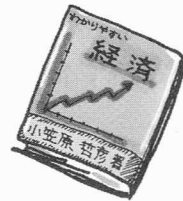
安部：ありがとうございます。週末に読んで月曜日に返します。

富士川：いつでもいいですよ。ゆっくり読んでください。

安部：はい。

富士川：ところで、来週の木曜日の夜、別の経済セミナーがあるんですが、いっしょに行きませんか。

安部：ええ、その日仕事が忙しくなければ行きます。



・相手に勧め
うにないの
※ 先生：
マリー：
「～そうに
に載せた。
⇨ 巻末「～

2. 講演会も

・結果の状
す「もう
・ある出来
27課文型
相手に注意
部さんは
結果の状
・現在の状
が来た時、
例文3)を学
・ここでは、
な場面で
⇨ 巻末「～

Ⅳ 文型

1. 読めそうです。

読めそうにありません。

・自分の能力や状況から判断して、実現する可能性があることを表す「動詞（可能形）+そうです。」と、実現する可能性が少ないことを表す「動詞（可能形）+そうにありません。」を学習する。物や事柄の外見からの印象を述べる「い形容詞+そうです。」「な形容詞+そうです。」「動詞+そうです。」は第23課文型1、2、3で学習した。

・ここで取り上げた例文は下記の通りである。

1. 自分の能力から判断して実現する可能性がある。 …例文1)、3)
2. 状況から判断して実現する可能性がある。 …例文2)
3. 自分の能力から判断して実現する可能性が少ない。 …※
4. 状況から判断して実現する可能性が少ない。 …例文4)、5)

・例文3)は可能形がない動詞の例である。[可能形がない動詞については第22課文型1参照]

3. ちょうど今

・動作や行
今その行
行している
・ここで取
するとこ
3)のよう
⇨ 巻末「～

- ・相手に勧められて断る場合には、「～られません。」ではなく、例文5)のように「～られそうにないので…」を使うように指導する。

※ 先生：この論文を読んでみませんか。

マリー：えっ、日本語の論文ですか。私には読めそうもありません。

「～そうにありません。」と同じ意味で使われる「～そうもありません。」を紹介するために載せた。この他に「～そうにもありません。」も合わせて紹介するとよい。

⇨ 巻末「～そう」参照

2. 講演会はもう始まっていますか。

- ・結果の状態を表す「～ている」を学習する。いずれやらなくてはいけない動作の完了を表す「もう（食べ）ました。」「まだ（食べ）ていません。」は第11課文型10で学習した。
- ・ある出来事が発生した結果の状態を述べる「汚れています。」「つまっています。」は第27課文型1でも学習したが、第27課では故障などの予期せぬ不都合な状態を発見して、相手に注意を促したり、苦情を述べたりする用法として学習した。ここでは、例えば「安部さんは5分前に来た。」から「今、安部さんは来ている。」というような動作や出来事の結果の状態を表す用法を学習する。
- ・現在の状態「安部さんは今（もう）来ています。」と、過去のある時点にあった状態「私が来た時、安部さんはもう来ていました。」の違いが学習者には理解しにくいようである。例文3)を学習する際は現在の状態か過去の状態かに注目させて指導するとよい。
- ・ここでは、「始まる」「できる」「来る」「終わる」などの動詞を使って、例文1)、2)のような場面で練習し、学習者が日常生活の中で使えるようにする。

⇨ 巻末「～ている」参照

3. ちょうど今始まるところです。

- ・動作や行為などをする直前の状態であることを表す「始まるところ」を学習する。たった今その行為が終了したことを表す「食べたところ」は第29課文型3で、また、何かが進行している状態を表す「検査をしているところ」は第33課文型3で学習した。
- ・ここで取り上げた例文の用法は、他者の「問いかけ」「依頼」などに対して、自分は今～するところであるから、例文1)のように「いっしょに～しようと誘う」、あるいは例文2)、3)のように「断る」というものである。このような場面を設定して練習する。

⇨ 巻末「～ところ」参照

同(可能形) + そ
う)にありません。]
「な形容詞 + そ

第22課文型1参

4. 今日の講演を録音させていただきたいんですが…。

- ・使役形を使って丁寧に許可を求める表現を学習する。
- ・学習者は使役形を使うため、何かを強制するという意味と誤解することがあるので注意する。
- ・初級の学習者にこの表現の文法的な形を分析的に教える必要はない。ここでは丁寧に許可を求める時に使うひとつのまとまった表現として「使役形+させていただきたいんですが…」を導入し、練習する。

➡練習 b

⇨巻末「使役形」参照

5. いくら読んでみてもわかりません。

- ・「いくら／どんなに～ても～」のように回数や程度を表す言葉と共に、努力をしたが成功しないことを表す表現を学習する。条件を満たしているにもかかわらず結果が伴わない場合の条件を表す「電源を入れてもつかないんです。」は第26課文型1で学習した。
- ・この教科書では「いくら」と「どんなに」を同じ意味として扱った。

❶ここでは回数を表す表現は「いくら」のみ取り上げたが、学習者に応じて「何回」「何度」などを紹介してもよい。

⇨巻末「～ても」参照

6. もう読んでしまいました。

- ・動作が完了したことを表す「～てしまう」を学習する。意図しなかったことが起こり、それを説明する表現「お皿を割ってしまいました。」は第19課文型3で学習した。
- ・「～てしまいました。」と「～ました。」の違いを下記のような例を示して説明するとよい。

例1) A: もうこの本を読みましたか。

B: はい、読みました。／はい、読んでしまいました。

例2) A: 昨日、本を読みましたか。

B: はい、読みました。

(誤) はい、読んでしまいました。

- ・第19課の用法では後悔などの気持ちを持つものが多かったが、ここでは後悔の気持ちなどはない。例文1)、2)のように次の行為に移るために、先にある事柄を完了させるという用法のものを中心に練習する。

・例文2)の「～ていたた」
「～ていたた」
ものである。

⇨巻末「～て

7. いつでもいい

- ・「いつ」「と
- 「～でも」を
- ・例文にある
- ども適宜練
- 違いやすい
- ・例文4)は「(
- は「～料理

8. 忙しくなけれ

- ・前件である事
- 習する。一般
- すれば(誰
- ・な形容詞の
- ので、な形容

⇨巻末「～ば

V 練習

●練習 a

- ・本文1で学習
- ・p152<謝り

●練習 b

- ・文型4で学習

- ・例文2)の「来てくれない?」はここで初出である。この表現は第30課文型3で学習した「～ただけませんか。」と同じ意味で、家族や友達など親しい人に何かを頼む時に使うものである。

⇒ 巻末「～てしまう」参照

7. いつでもいいです。

- ・「いつ」「どちら」「どこ」「誰」などについて、すべての場合にそうであると肯定する「～でも」を学習する。
- ・例文にある「いつ」「どちら」「どこ」の他に「誰でもいいです。」「何でもいいです。」なども適宜練習する。学習者は「(誤) 何もいいです。」「(誤) 誰もいいです。」のように間違えやすいので注意する。
- ・例文4)は「(誤) おいしいなら何でもいいです。」という誤用がしやすいので、練習する時は「～料理なら」「おいしいものなら」のように答えるように指導する。

8. 忙しければ行きます。

- ・前件である事柄を仮定し、それをもとに後件で話者の判断や態度を表す表現「～ば」を学習する。一般的な事実を表すもので、前件が成立すれば必ず後件が成立する用法（「練習すれば(誰でも)すぐ覚えられます。」）は第22課文型4で学習した。
- ・な形容詞の場合は「新鮮だったら買います。」のように、「～たら」に接続することが多いので、な形容詞に接続する例は取り上げていない。

⇒ 巻末「～ば」参照

V 練習

● 練習 a

- ・本文1で学習した待ち合わせの時間に遅れて謝る時の表現を練習する。
- ・p152<謝り方>を学習した後で練習する。

● 練習 b

- ・文型4で学習した表現を使って練習する。

第36課

先輩にいろいろなことをさせられました。

I この課の目標

- ・使役受身の表現を使ってあまり愉快でなかった自分の経験を述べることができる。

①

II この課で学習する文型

1. 新入生は、先輩にいろいろなことをさせられます。
2. 日本にいるうちにいろいろな経験をしてみたらどうですか。
3. 注文してあります。

III 本文

大学に合格したチンが、入学前に鈴木一郎とクラブ活動について話しているところと、入学後、サッカー部で活動している様子が本文になっている。

● 本文1 部室のそうじをさせられました。🗣️

[場面]

4月から大学生になるチンが、サッカー部に入部することについて鈴木と話している。

[使用文型]

文型 1、2

- 📌 本文に入る前に、日本の大学生活やクラブ活動などについて簡単に説明するとよい。

① 僕も大学
この「や

[語彙・表現]

れました。

ができる。

ところと、入学

話している。

鈴木一郎：4月から大学生ですね。

チン：ええ。大学に入ったら、サッカー部に入ろうと
思っているんです。

① 鈴木：へえ！僕も大学のころ、サッカーをやっていたんですよ。

チン：そうですか。

鈴木：サッカーはおもしろいけど、体育系のクラブは大変ですよ。
特に新入生は先輩にいろいろなことをさせられるから…。

チン：どんなことをさせられるんですか。

鈴木：毎日、練習の後で、先輩のユニフォームを洗わせられたり、
部室のそうじをさせられたり…。

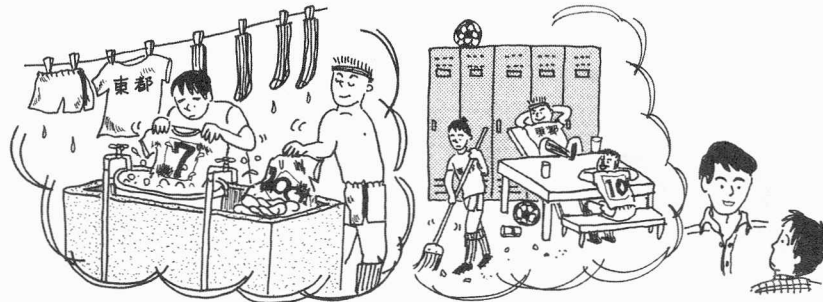
チン：へえ、新入生は大変なんですね。

鈴木：でも、楽しいこともありますよ。

クラブに入ると、日本人の友達もたくさんできるし…。

チン：そうですか。

鈴木：日本にいるうちに、いろいろな経験をしてみるといいと
思いますよ。



① 僕も大学のころ、サッカーをやっていたんですよ。

この「やる」は「する」の意味であることを確認する。

●本文2 注文してあります。

[場面]

チンが入部したサッカー部が試合に勝ち、部室でささやかな祝勝会を行う。

[使用文型]

文型3

[語彙・表現]

(サッカー部の部室で)

チン：先輩、今日の試合、本当にいい試合でしたね。
感動しました。

先輩：うん。みんな、最後までよくがんばったよ。
あ、そろそろみんなが来る時間だけど、準備できた？

① おすしは？

チン：注文してあります。もうすぐ来ると思います。

先輩：飲み物は？

チン：冷やしてあります。

① ② お皿とコップも準備してあります。

① 先輩：あれ？ おはしは？

チン：あそこに置いてあります。

先輩：じゃ、これで準備できたね。



① おすしは？
お皿とコッ
おはしは？
年齢や親疎
する。

② お皿とコッ
文型3では
を使ってい

Ⅳ 文型

1. 新入生は、

- ・本人の意
- 受身形は
- ・指導の際
- 被害や迷
- ・グループ
- かされる
- た。

➔練習a
⇨巻末「

2. 日本にいる

- ・前件で規
- ・この文型
- ったり、
- 例) 日
- お

① おすしは？

お皿とコップも準備してあります。

おはしは？

年齢や親疎関係によって、男性が多用しすぎると不自然な場合があるので、使う状況に注意する。

② お皿とコップも準備してあります。

文型3では助詞を使わない場面での練習を行うが、ここでは前の文との関係から、助詞「も」を使っている。[文型3参照]

Ⅳ 文型

1. 新入生は、先輩にいろいろなことをさせられます。

- ・本人の意志に関係なく、他からある動作を強制されることを表す使役受身形を学習する。受身形は第3 2 課文型4、第3 3 課文型1、使役形は第3 4 課文型2で学習した。
- ・指導の際は、動作を強制した人と、その動作を行った人がいること、動作を行った人には被害や迷惑の気持ちが働いていることを学習者にまず理解させる。
- ・グループ1の動詞については、例えば「行かせられる」「書かせられる」の代わりに「行かされる」「書かされる」という形も一般に使われているが、ここでは前者の形に統一した。

➡ 練習 a

⇨ 巻末 「使役受身形」参照

2. 日本にいるうちにいろいろな経験をしてみたらどうですか。

- ・前件で規定された時間的条件内で後件の動作が行われることを表す「うちに」を学習する。
- ・この文型を用いた文では、前件の時間的条件をこえてしまうと、後件の動作ができなくなったり、不都合な事態が生じるという気持ちが含まれる。

例) 日本にいるうちに京都へ行きたいです。

お客さんが来ないうちにそうじをします。

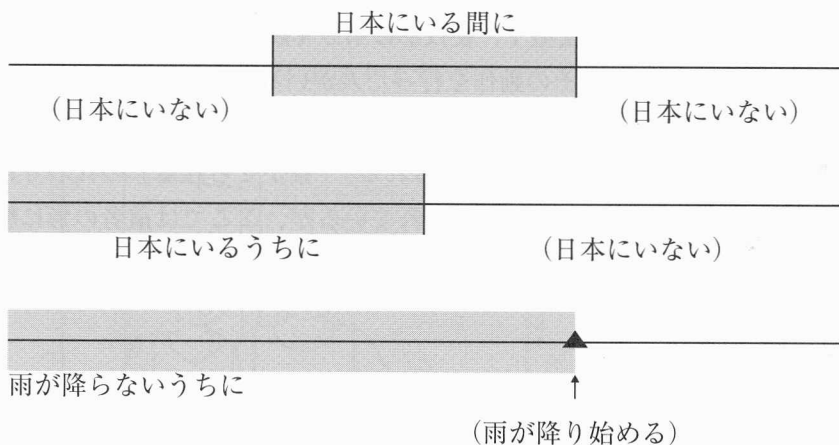
・「～うちに」に接続する形は以下の通りである。

	[肯定形]	[否定形]
い形容詞	基本体現在 (～い)	～くならない
な形容詞	～な	～にならない
動詞	基本体現在	～ない
名詞	～の	～ない

しかし、ここではすべての形を練習する必要はない。教科書の例文にあるものを中心に、実際の生活で学習者がよく使うものをひとまとまりの表現として言えるように指導する。

例) 暗くならないうちに
 雨が降らないうちに
 若いうちに など

・「～間に」は第19課文型4で学習した。「日本にいる間に～」は日本に来た時点と日本を去る時点の両方に視点があるのに対し、「日本にいるうちに～」は、日本を去っていない時点のみ視点がある。「～うちに」は「雨が降らないうちに～」のようにもともと片側しか規定できないものに多く使われる。



⇒ 巻末 「～うちに」 参照

3. 注文してあ

・準備が完
 写する「
 ・ここでの
 備が整っ

例) 注

予

・「～てあ

に「が」

例) お

お

しかし、

心に提示

A: お

B: 準

授業では

使わなく

例) 社

秘

社

秘

不用意に

➡ 練習 b

⇒ 巻末 「

V 練習

● 練習 a

・文型1で

● 練習 b

・文型3で

3. 注文してあります。

・準備が完了していることを表す「～てある」を学習する。物の状態を視覚的にとらえて描写する「～てある」は第32課文型1で学習した。

・ここでの用法は、物の状態の描写よりも、むしろ意図的な行為が完了し、次の行為への準備が整ったことを表す。その状態は、必ずしも視覚的にとらえられるものとは限らない。

例) 注文してあります。

予約してあります。

・「～てあります」の前につく助詞は、話し言葉では省略されることが多いが、省略されずに「が」や「を」になることもある。

例) お皿が準備してあります。

お皿を準備してあります。

しかし、この教科書では、取り立ての「は」で質問され、答えるという次のような形を中心に提示してある。

A: お皿は?

B: 準備してあります。

授業では、助詞が何かを学習者に問うような練習をするのではなく、以下のように助詞を使わなくてもいいような自然な会話の場面を設定して練習する。

例) 社長: ホテルの予約は?

秘書: もう、してあります。

社長: 飛行機の切符は?

秘書: 買ってあります。

不用意に助詞の部分を発話させたり作文させたりして混乱を招かないように注意する。

➡ 練習 b

⇨ 巻末 「～てある」参照

V 練習

● 練習 a

・文型1で学習した表現を使って練習する。

● 練習 b

・文型3で学習した表現を使って練習する。

資料

一、	二、	三、	四、	五、	六、	七、	八、	九、	十、
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

資料

1. 動詞・形容詞一覧.....166

2. 関連文型一覧.....171

・あげる、もらう、くれる

・意志形

・受身形

・～うちに

・形式名詞「の」

・～ことがある

・使役受身形

・使役形

・～すぎ

・～そう

・～たら

・～つもり

・～て（原因・理由）

・～である

・～ている

・～てしまう

・～ても

・～と

・～ところ

・～なら

・～になる

・～はず

・～ば

・名詞修飾

・もう／まだ

・～よう／みたい

1. 動詞・形容詞一覧

課	動詞 グループ1	動詞 グループ2	動詞 グループ3	い形容詞	な形容詞
3				青い 赤い 大きい 黄色い 黒い 小さい	
4				明るい 新しい 暑い うるさい きたない 暗い 寒い 狭い 高い 長い 広い 古い 短い 安い	きれい 静か
5	ある	いる			
6	行く 帰る 書く 聞く 吸う 飲む 読む	起きる 食べる 寝る 見る	来る 仕事(を)する 勉強(を)する	白い	嫌い 好き
7	落とす 買う 探す わかる	忘れる	買い物(を)する 洗濯(を)する そうじ(を)する 料理(を)する 連絡する	四角い 丸い	上手
8	いらっしゃる [行く] 泳ぐ 終わる	疲れる	帰国する 報告する 予約(を)する	甘い いい いい(天气が) おいしい 楽しい 近い 遠い	親切 新鮮 大変 にぎやか 不便 便利
9	言う 歌う 置く 押す 返す 騒ぐ 死ぬ 出す(宿題を) 使う 手伝う 取る 入る(ふろに) 話す 持つ 呼ぶ	入れる 遅れる 教える 教える(部屋を) 借りる	外出する 帰って来る する(ふたを) 説明(を)する		自由

課	動詞 グループ1
10	歩く 急ぐ かかる(時間が) 着く 撮る(写真を) 乗る 入る(部屋に) 持って行く
11	遊ぶ ある(興味が) いらっしゃる [いる] かく(絵を) 住む 作る なる(デザイナーに) 入る(学校に)
12	切る
13	あてはまる ある(問題が) 思う 聞く(友達に) 困る
14	やる(えさを)
15	ある(人気) 座る 通る

な形容詞
きれいな形容詞 静か
嫌い 好き
上手
親切 新鮮 大変 にぎやか 不便 便利
自由

課	動詞 グループ 1	動詞 グループ 2	動詞 グループ 3	い形容詞	な形容詞
10	歩く 急ぐ かかる (時間が) 着く 撮る (写真を) 乗る 入る (部屋に) 持って行く	預ける 降りる 出る (東京駅を) 乗り換える	休憩する 出発する 電話 (を) する		
11	遊ぶ ある (興味が) いらっしゃる [いる] かく (絵を) 住む 作る なる (デザイナーに) 入る (学校に)	入れる (私を入れて) 決める 勤める やめる	アルバイト (を) する 経営する 結婚する 散歩 (を) する 就職する 相談する 卒業する デザインする	(見) たい 早い	いろいろ
12	切る	炒める 止める 煮る のせる		温かい (ごはんが) 薄い 遅い 固い	適当
13	あてはまる ある (問題が) 思う 聞く (友達に) 困る	覚える つける (〇を) できる (友達が) 慣れる	インタビューする 欠席する	多い 厳しい さびしい 少ない (わかり) にくい 速い 難しい (わかり) やすい	安全 暇 まじめ
14	やる (えさを)	開ける 閉める	質問する スケッチ (を) する	熱い いい (気持ち) 忙しい 痛い かわいい こわい 短い (時間が) 珍しい	快適
15	ある (人気) 座る 通る	(遠) すぎる 見せる		いい (音が) おもしろい 軽い 高い (背が)	

課	動詞 グループ 1	動詞 グループ 2	動詞 グループ 3	い形容詞	な形容詞
16	ある (異状が) ある (熱が) 要る 打つ 効く 転ぶ 出す (手を) 撮る (レントゲンを) 治る 飲む (薬を) 始まる ひく (かぜを) 冷やす 降る 待つ みがく (歯を) 休む	あげる 落ちる 捨てる つける (ヒーターを) つける (薬を) 出る (せきが) 出る (鼻水が) はりかえる はれる	診察 (を) する する (けがを) する (やけどを) する (下痢を) する (寒気が) 持って来る	冷たい 激しい 悪い (気持ちが) 悪い (消化が)	危険 だいじょうぶ
17	会う ある (火事が) ある (用事が) 送る (荷物を) 誘う 出す (手紙を) 入る (梅雨に) 迎えに行く	晴れる		涼しい 蒸し暑い 悪い (気分が) 悪い (都合が)	残念 全国的
18	ある (質問が) 打つ (パソコンを) 走る 減る	答える 増える	朝ねぼう (を) する 心配する 対する (質問に対して) 遅刻 (を) する 夜ふかし (を) する	いい (体に) ない (時間が) ない (食欲が) 若い 悪い (バランスが) 悪い (顔色が) 悪い (体に) 悪い (能率が)	大切

課	動詞 グループ 1	動詞 グループ 2	動詞 グループ 3	い形容詞	な形容詞
19	預かる かぶる こわす 知る 倒す なくす なる (迷子に) はく (ズボンを) 曲がる 見つかる 迎えにいらっしゃる [迎えに行く] 汚す 割る	かける (めがねを) 着る 存じる 見かける	試着する 放送 (を) する 迎えに来る		
20	踊る 通う がんばる 進む (勉強が) 働く もらう	受ける 調べる 出る (試験に)	受験する 準備 (を) する 食事 (を) する 進学する 退学する 留学する 練習する	易しい	必要

課	動詞 グループ
21	合う (口に) 上がる (うち) 泊まる 鳴らす 脱ぐ 払う 召し上がる 渡す
22	選ぶ 飼う 習う 弾く 間に合う 申す やる
23	探す すく (おなか) (習い) たがる 頼む なくなる 引越す ほしがる やむ
24	伺う [聞く] 売り出す 贈る 進む (技術が)
25	おろす (お金を) 貸す
26	開く 伺う [行く] 動かす 動く 起こす 消す 閉まる 出す (ジュース) つく (電気が) 止まる 引く 回す 回る
27	込む さわる つく (部屋に) 包む つまる (パイ) 運ぶ ふく
28	編む 送る (人を) 片付く 違う 連れて行く 呼ぶ (うちに)

な形容詞
危険 だいじょうぶ
残念 全国的
大切
な形容詞
必要

課	動詞 グループ1	動詞 グループ2	動詞 グループ3	い形容詞	な形容詞
21	合う (口に) 上がる (うちに) 泊まる 鳴らす 脱ぐ 払う 召し上がる 渡す	かける (いすに) 片付ける そろえる 伝える	失礼する 訪問する 約束する	辛い	勝手 下手 無理
22	選ぶ 飼う 習う 弾く 間に合う 申す やる	始める	運転する する (コンタクトレンズを) 注文する	詳しい	簡単
23	探す すく (おなかが) (習い) たがる 頼む なくなる 引っ越す ほしがる やむ	取れる (ボタンが)	行って来る 買って来る 合格する	暖かい 重い すごい 強い (薬が) 眠い ほしい よろしい 悪い (目が)	すてき だめ
24	伺う [聞く] 売り出す 贈る 進む (技術が)		する (贈り物を) 発達する		盛ん 定期的
25	おろす (お金を) 貸す	くれる こわれる	コピーする		元気
26	開く 伺う [行く] 動かす 動く 起こす 消す 閉まる 出す (ジュースを) つく (電気が) 止まる 引く 回す 回る	入れる (お風呂に) 入れる (電源を) 消える 切れる つける (気を) 出る (ジュースが) 乗せる 間違える 割れる	交換 (を) する 故障する	高い (温度が)	急 自動的
27	込む さわる つく (部屋にエアコンが) 包む つまる (パイプが) 運ぶ ふく	集める ぬれる 汚れる	お願いする する (エプロンを) 提出する メモする 旅行する	危ない	
28	編む 送る (人を) 片付く 違う 連れて行く 呼ぶ (うちに)	みる (宿題を)	ごちそうする 紹介する 招待する		クラシック

2. 関連文

※一覧の●は『新』
また『初級I』第

あげる、や

●物の授受を表

私はアルン

●物の授受を表

私はおおぜ

●物の授受を表

友達が(私

●好意の授受を

母：誰か

武：京子

●好意の授受を

母：誰

良子：武

●好意の授受を

武さんにセ

●相手が目上の

西田先生か

(私は)西

●相手が目上の

先生の奥さ

先生の奥さ

意志形

●自分の意志を

経営学の免

○まだ実現して

懐中電灯を

た。

課	動詞 グループ1	動詞 グループ2	動詞 グループ3	い形容詞	な形容詞
29	いただく [もらう] くださる 立つ (役に)	かける (電話を) さしあげる 出かける	安心する 退院する 注意する 連れて来る 入院する びっくりする	心細い	
30	いたす いただく [食べる] いらっしゃる [来る] おいでになる おっしゃる おる [いる] ご覧になる 取る (部屋を) なさる 参る [行く] 参る [来る]	任せる	あいさつをする する (和食に) 拝見する		けっこう
31	受け取る 済む 楽しむ 迷う 持ち込む	聞こえる 締める できる (写真が) 乗り遅れる 見える 向ける 燃える	案内する 遠慮する 協力する 来る (時間が) 検査 (を) する チェックインする 利用する	弱い (クーラーが) 悪い (音が) 悪い (天気が)	确实 楽
32	折る かむ こぼす 刺す 叱る 続く 泣く はる 踏む	はねる	感動する 戻って来る 呼んで来る	すばらしい	
33	行う のばす	合わせる 建てる 混ぜる	見学する 研究する 出席する 生産する 誕生する 貯金する 輸出する 輸入する	細い	
34	洗う ある (体力が) 驚く 立つ とる (魚を)		活躍する 推薦する 反対する 復習 (を) する 優勝する	柔らかい 弱い (歯が)	見事
35	謝る ある (時間が)	あわてる 出る (電話に)	録音する 録画する	悪い (具合が)	複雑
36	かざる 取る (ピザを)		お見合い (を) する セットする		

2. 関連文型一覧

※一覧の●は『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』で学習するもの、○は『文化中級日本語Ⅰ』で学習するものを表す。
また「初級Ⅰ 第3課-1」とは、『新文化初級日本語Ⅰ』の第3課文型1で学習する文型という意味である。

あげる、もらう、くれる

●物の授受を表わす「あげる」[初級Ⅱ 第24課-3]

私はアルンさんにチョコレートあげました。

●物の授受を表わす「もらう」[初級Ⅱ 第24課-4]

私はおおぜいの人にお中元をもらいました。

●物の授受を表わす「くれる」[初級Ⅱ 第25課-4]

友達が(私に)プールの招待券をくれました。

●好意の授受を表わす「～てくれる」[初級Ⅱ 第28課-1]

母：誰がこの写真を撮ってくれたの？
武：京子さんが撮ってくれたんだ。

●好意の授受を表わす「～てもらう」[初級Ⅱ 第28課-2]

母：誰に送ってもらったの？
良子：武さんに送ってもらったの。

●好意の授受を表わす「～てあげる」[初級Ⅱ 第28課-4]

武さんにセーターを編んであげるつもりです。

●相手が目上の人の方に使う「くださる」「いただく」[初級Ⅱ 第29課-1]

西田先生が(私に)花をくださいました。
(私は)西田先生に花をいただきました。

●相手が目上の人の方に使う「～てくださる」「～ていただく」[初級Ⅱ 第29課-2]

先生の奥さんが洗濯をしてくださいました。
先生の奥さんに洗濯をしていただきました。

意志形

●自分の意志を述べる [初級Ⅱ 第20課-1]

経営学の勉強をしようと思っています。

○まだ実現していない状態を表す [中級Ⅰ 第3課]

懐中電灯をつけようとしたんですが、その時、店の方で激しくガラスの割れる音がしました。

○はっきり固まっていない意志を述べる [中級 I 第4課]

実は、会社をやめようかと思っているんです。

○傾向や性質を表す [中級 I 第4課]

最近の人はすぐにやめようとするんだなあ。

今の方は、自分を会社に合わせて変えようとしななんだなあ。

○意志があるのにそれができないことを表す [中級 I 第4課]

やめようにもやめられなかったしね。

受身形

●迷惑の感情を伴う受身 [初級 II 第32課-4]

後ろの人に押されました。

●感情を伴わない受身 [初級 II 第33課-1]

インスタントラーメンは1958年に日本で初めて作られました。

○「～れる」「～られる」を使う敬語 [中級 I 第2課]

先輩は大学院の試験を受けられるんですか。

○動作を受けるものに視点を置いて述べる受身 [中級 I 第5課]

「ウォークマン」という名前は、普通の名詞のように使われている。

○「A(大きいもの)にB(小さいもの)を付ける」「A(人)にB(もの)を贈る」などの受身文

[中級 I 第5課]

ウォークマンには、小さいヘッドホンが取り付けられている。

○受身文の中で、「動作をするもの」を示す助詞 [中級 I 第5課]

ウォークマンは、1979年にソニーによって開発された。

～うちに

●前件で規定された時間的条件内で後件の動作が行われることを表す [初級 II 第36課-2]

日本にいるうちにいろいろな経験を試してみたらどうですか。

○何かをしている間に、変化が起きることを表す [中級 I 第7課]

橋を渡っているうちに、江戸時代にタイムスリップしているような気分になるということです。

形式名詞

●動詞 + の

洋服を作

●動詞 + の

朝ごはん

○動詞 + の

どちらか

～ことか

●経験の有無

A : 結婚

B : | は

| い

●可能性があ

電池の方

○可能性があ

思いがけ

使役受身

●本人の意志

新入生は

○グループ1

日本で暮

形式名詞「の」

- **動詞** +の+が 好きです。[初級Ⅰ 第11課-7]
洋服を作るのが好きです。
- **動詞** +の+は **形容詞** です。[初級Ⅰ 第18課-1]
朝ごはんを食べないのは体によくありません。
- **動詞** +の+が / は / も / を / に / と ~。[中級Ⅰ 第4課]
どちらかといえば、じっとしているのが苦手なほうだ。

～ことがある

- **経験の有無について述べる** [初級Ⅱ 第22課-2]
A: 結婚式場で仕事をしたことがありますか。
B: { はい、あります。
 { いいえ、ありません。
- **可能性があることを述べる** [初級Ⅱ 第26課-3]
電池の方向を間違えると、こわれることがあります。
- **可能性があることを述べる** [中級Ⅰ 第4課]
思いがけないアイデアを出して人を驚かせることがある。

使役受身形

- **本人の意志に関係なく、他からある動作を強制されることを表す** [初級Ⅱ 第36課-1]
新入生は、先輩にいろいろなことをさせられます。
- **グループ1の動詞の使役受身形の異なる形** [中級Ⅰ 第8課]
日本で暮らし始めてからは、過剰包装に悩まされるようになった。

使役形

- 自分以外の人に何らかの行為を強制する [初級Ⅱ 第34課-2]

広美に家の手伝いをさせました。

- 丁寧に許可を求める [初級Ⅱ 第35課-4]

今日の講演を録音させていただきたいんですが…。

- 許可を表す [中級Ⅰ 第4課]

重要な仕事もなかなかさせてもらえないし…。

～すぎ

- 物事が度を越してよくないことを言う [初級Ⅰ 第15課-5]

遠すぎます。

- 「～すぎる」の名詞化 [中級Ⅰ 第8課]

ちょっと遊びすぎのような気がしますけど…。

～そう

- 伝聞の表現 [初級Ⅰ 第17課-6]

天気予報によると、明日は晴れときどき曇りだそうです。

- 物や事柄の外見からの印象を述べる (い形容詞) [初級Ⅱ 第23課-1]

涼し { そうです。
 くなさそうです。

- 物や事柄の外見からの印象を述べる (な形容詞) [初級Ⅱ 第23課-2]

便利 { そうです。
 じゃなさそうです。 / ではなさそうです。

- 物や事柄の外見からの印象を述べる (動詞) [初級Ⅱ 第23課-3]

雨が降りそうです。

- 自分の能力や状況から判断して、実現する可能性があることを表す [初級Ⅱ 第35課-1]

読めそうです。

- 自分の能力や状況から判断して、実現する可能性が少ないことを表す [初級Ⅱ 第35課-1]

読めそうにありません。

- あることが起きる直前の状態になったことを表す [中級Ⅰ 第1課]

話をする時、緊張しそうになったらリラックスするようにしている。

～たら

- 前件に仮定性が

空港についたら

- 予想しなかった

駅に着いたら、

- まだ現実に起きて

わからない言葉

- 現実の事実と違

もし、あの時

～つもり

- 自分の意志を述べ

東都大学を受

- あることをする意

10年はやめる

～て (原因)

- 「～て、～できな

重くて持てま

- 困っていることや

進路が決まら

～てある

- 人の動作の結果と

この雑誌に

- 準備が完了してい

注文してあり

～たら

- 前件に仮定性があまりなく、時間の経過にしたがって当然実現する事柄を述べる

[初級Ⅱ 第31課-3]

空港についたら、すぐにチェックインしてください。

- 予想しなかったことが起こったという気持ちを表す [初級Ⅱ 第32課-5]

駅に着いたら、もう、人がおおぜいいました。

- まだ現実起きていないことを仮定して、その後の行動を述べる [中級Ⅰ 第1課]

わからない言葉があったら、ゆっくり話してもらおう。

- 現実の事実と違うことを仮定して、意見や願望を述べる [中級Ⅰ 第1課]

もし、あの時手紙を書かなかったら、どうなっていたでしょうか。

～つもり

- 自分の意志を述べる [初級Ⅱ 第20課-2]

東都大学を受けるつもりです。

- あることをする意志がないことを表す [中級Ⅰ 第4課]

10年はやめるつもりはないって言ってたのに、どうしたの。

～て (原因・理由)

- 「～て、～できない。」という文で、後件の出来事の原因となる状態を述べる

[初級Ⅱ 第27課-5]

重くて持てません。

- 困っていることや大変なこと、うれしかったことなどの理由を表す [初級Ⅱ 第34課-3]

進路が決まらなくて心配しました。

～てある

- 人の動作の結果として物が存在する状態を視覚的にとらえて描写する [初級Ⅱ 第32課-1]

この雑誌にいろいろ書いてあります。

- 準備が完了していることを表す [初級Ⅱ 第36課-3]

注文してあります。

~ている

- 動作の進行を表す [初級 I 第10課-3]
広田さんは、今、電話をしています。
- 人の社会的な状態を表す [初級 I 第11課-2]
横浜に住んでいます。
- 人の服装を表す [初級 II 第19課-6]
赤いTシャツを着ています。
- ある出来事の結果発生した状態を表す [初級 II 第27課-1]
壁が汚れています。
- 動作や出来事の結果の状態を表す [初級 II 第35課-2]
講演会はもう始まっていますか。

- 動作の継続を表す (現在) [中級 I 第3課]
ショーケースを見えています。
- 動作や出来事の結果の状態を表す (現在) [中級 I 第3課]
ガラスが割れています。
- 動作の継続を表す (過去) [中級 I 第3課]
お客様がお二人、指輪を見ていらっしゃいました。
- 動作や出来事の結果の状態を表す (過去) [中級 I 第3課]
ガードマンが懐中電灯を持って来た時は、ショーケースが割れていました。
- 位置や地形などを表す [中級 I 第6課]
新宿は東京都23区のほぼ中央に位置しています。
- 動作の繰り返しを表す (現在・過去) [中級 I 第6課]
姉は週3回英会話教室に通っています。
甲州街道を荷馬車や牛車が走っていたんですよ。

~てしまう

- 意図しなかったことが起こってしまったことを表す [初級 II 第19課-3]
子供がいなくなっちゃったんです。
- 動作が完了したことを表す [初級 II 第35課-6]
もう読んでしまいました。

~ても

- 条件を満たし
電源を入れ
- 回数や頻度を
いくら読ん
- 逆説の仮定表
叔父さんた

~と

- 前件が成立す
薄切りの牛
- 道を説明する
ここをまっ

~ところ

- たった今との
今、終わっ
- 何かが進行し
穴が開いて
- 動作や行為な
ちょうど今

~なら

- 名詞に接続し
ピアノなら
- 動詞の現在形
安く確実に

～ても

- 条件を満たしているにもかかわらず結果が伴わない場合の条件を表す [初級Ⅱ 第26課-1]
電源を入れてもつかないんです。
- 回数や頻度を表す言葉と共に、努力をしたが成功しないことを表す [初級Ⅱ 第35課-5]
いくら読んでもわかりません。
- 逆説の仮定表現のうち予定外の事態が起きた場合 [中級Ⅰ 第4課]
叔父さんたちが若いころはそういう問題があっても、我慢していたんだけどね。

～と

- 前件が成立すると、その結果後件で述べる事柄が自然に引き起こされる用法
[初級Ⅰ 第12課-6]
薄切りの牛肉を長く煮ると、固くなります。
- 道を説明する時の慣用句的な用法 [初級Ⅱ 第19課-8]
ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがごさいます。

～ところ

- たった今その行為が終了したことを表す [初級Ⅱ 第29課-3]
今、終わったところです。
- 何かが進行している状態を表す [初級Ⅱ 第33課-3]
穴が開いていないかどうか検査をしているところです。
- 動作や行為などをする直前の状態を表す [初級Ⅱ 第35課-3]
ちょうど今始まるところです。

～なら

- 名詞に接続して、取り立ての意味を表す [初級Ⅱ 第22課-3]
ピアノなら弾けます。
- 動詞の現在形に接続して条件を表す [初級Ⅱ 第31課-1]
安く確実に行くならモノレールに乗るといいです。

～になる

●変化を表す [初級 I 第12課-5]

前はさしみが嫌いでしたが、今は好きになりました。

○経過した時間を表す [中級 I 第4課]

東都銀行に勤めて3年になるOL。

～はず

●事実や予定などから推測したり予想したりして自分の判断を述べる（「はず」の前の形を動詞の基本体現在に限る） [初級 II 第19課-5]

この近くにいるはずです

○事実や予定などから推測したり予想したりして自分の判断を述べる（「はず」の前の形に制限を加えない） [中級 I 第3課]

自動ドアは開かなかったはずです。

～ば

●前件が成立すれば必ず後件も成立する [初級 II 第22課-4]

練習すれば、弾けます。

●ある事柄を仮定し、それをもとに後件で話者の判断や態度を述べる [初級 II 第35課-8]

忙しくなければ行きます。

名詞修飾

●名詞修飾（その1） [初級 I 第13課-3]

アルンさんは大学院で経済学の勉強をしている学生です。

①文構造

名詞修飾節が述部に来るもの

アルンさんは大学院で経済学の勉強をしている学生です。

②名詞に接続する形

大学で建築の勉強をしている学生

よく勉強する学生

③被修飾名詞

「人」に準ずるもののみ

●名詞修飾（その2）

最近、朝ごはん

①文構造

名詞修飾

最近

②名詞に接続する形

朝ごはん

まだ、

昨日、

③被修飾名詞

「人」

●名詞修飾（その3）

これは母が作

①文構造

名詞修飾

これは

名詞修飾

私が現

その他

ファッ

武

良子

②名詞に接続する形

母が作

私たち

私が今

③被修飾名詞

あらゆる

●名詞修飾（その2）[初級Ⅰ 第18課-2]

最近、朝ごはんを食べない人が増えてきた。

①文構造

名詞修飾節が主部に來るもの

最近、朝ごはんを食べない人が増えてきた。

②名詞に接続する形

朝ごはんを食べない人

まだ、辞書を買っていない人

昨日、欠席した人

③被修飾名詞

「人」に準ずるもののみ

●名詞修飾（その3）[初級Ⅱ 第21課-5]

これは母が作ったお菓子です。

①文構造

名詞修飾節が述部に來るもの

これは母が作ったお菓子です。

名詞修飾節が主部に來るもの

私が明日訪問するお宅は、三鷹駅のそばです。

その他

ファッションの専門学校の文化祭で、学生が作った服を買いました。

武：どこでお茶を飲みましょうか。

良子：先週行った店へ行きませんか。

②名詞に接続する形

母が作ったお菓子

私たちが泊まるホテル（未来）

私が今勉強している学校

③被修飾名詞

あらゆるもの

の前の形を動詞

の前の形に制限

第35課-8]

○名詞修飾(その4) [中級 I 第6課]

この町づくりは、1960年に東京都が発表した「新宿副都心建設計画」によってスタートしました。

①文構造

名詞修飾節が主部に來るもの

日本の大学や専門学校に進学する外国人学生は、毎年増えています。

その他

今度使う教科書を買いに、大きい本屋へ行った。

去年、友達と北海道に行く計画を立てたが、実現しなかった。

私が小学校を卒業した年に、弟が生まれました。

私は、飛行機の時間に遅れて乗れなかった経験があります。

②名詞に接続する形

いつも行く喫茶店

今度使う教科書(未来)

昨日友達がくれた本

③被修飾名詞

あらゆるもの

○名詞修飾(その5) [中級 I 第6課]

リーさんは日本語学校で勉強している留学生です。

①文構造

名詞修飾節が述部に來るもの

リーさんは日本語学校で勉強している留学生です。

名詞修飾節が主部に來るもの

私が今勤めている会社は、小さな貿易会社です。

②名詞に接続する形

私が今勤めている会社

私が20年前に勤めていた会社

③被修飾名詞

あらゆるもの

もう/まだ

●行為が完了した

A: もう学校

B: { はい、
いいえ

●動作や状態が続

A: まだ痛い

B: いいえ、

~よう/み

●比喩を表す [初

まるで、おも

●今ある状況を根

最近忙しい

●比喩を表す (動

紙 { のように
みたいに

ロボットがま

あの時計のよ

○例を示す [中級

今みたいな

もう／まだ

●行為が完了したかどうかを尋ねる [初級Ⅰ 第11課-10]

A: もう学校を決めましたか。

B:

	はい、もう決めました。
	いいえ、まだ決めていません。

●動作や状態が続いているかどうかを尋ねる [初級Ⅰ 第16課-2]

A: まだ痛いですか。

B: いいえ、もう痛くありません。

～よう／みたい

●比喩を表す [初級Ⅱ 第31課-5]

まるで、おもちゃ

	のようです。
	みたいです。

●今ある状況を根拠にして、ある事柄について話し手の主観的な判断を述べる。

[初級Ⅱ 第32課-2]

最近忙しい

	ようです。
	みたいです。

●比喩を表す (動詞、形容詞、名詞に接続する形) [初級Ⅱ 第33課-2]

紙

	のように		薄いです。
	みたいに		

ロボットがまるで人間

	のように		歩いています。
	みたいに		

あの時計のようなものは何ですか。

○例を示す [中級Ⅰ 第2課]

今みたいな / (の) ような時は、何と云えばいいんでしょうか。

新文化初級日本語Ⅱ 教師用指導手引き書

発行日	2000年3月31日 初版 第1刷
発行所	文化外国語専門学校 〒151-8521 東京都渋谷区代々木3-22-1 電話(03)3299-2011
発行者	荻村昭典
著作・編集 編集委員	文化外国語専門学校 日本語課程 久野由宇子 国頭美紀 廣田周子 西村 学
発売元	株式会社 凡人社 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル 電話(03)3263-3959(代)
デザイン・DTP 印刷所	(有)ギルド (株)文化カラー印刷

無断転載を禁じます。

乱丁、落丁本はお取り替えいたします。

©Bunka Institute of Language 2000, Printed in Japan.



にほんごの  凡人社

定価 本体2,300円+税

9123



JAPANFOUNDATION